

第30回記念

# 大分国際 車いすマラソン大会

記念誌

THE 30TH ANNIVERSARY OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に  
役立てられています。









*The 30th  
Anniversary*

**OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR  
MARATHON**

第30回記念 大分国際車いすマラソン大会

---

記念誌

---



覇者の瞬間 ～第30回記念大会優勝者～



## 大会会長あいさつ

1981年の国際障害者年を記念して始められ、今や障がい者スポーツの世界的ビッグイベントとなった「大分国際車いすマラソン大会」は、皇太子殿下の御臨席を賜り、多くの皆様のご協力のもと、今年、第30回の記念大会を開催することができました。

海外19か国から67人、国内37都道府県から240人、合計307人の車いすアスリートが参加した今大会は、天候にも恵まれ、277人の選手が完走を果たしました。

マラソンの部男子においては、最速クラスとなるT34/53/54クラスで、スイスのマルセル・フグ選手が、フィニッシュ地点となる大分市営陸上競技場での7選手による混戦を制し、6回目の出場で初の優勝を飾りました。また、最も障がい程度の重いT51クラスでは、ドイツのステファン・ストローベル選手が従来の大会記録を14年ぶりに更新し、4年ぶり3度目の優勝を飾りました。

一方、女子でもT34/53/54クラスでアメリカのアマンダ・マクグローリー選手が、3選手によるトップ争いを制して2年ぶり2度目の優勝を果たしました。

これら以外の各クラスにおいても、記念大会にふさわしく、大会史上に残るような激しいレースが繰り広げられるなど、輝かしい成果と感動を残して無事終了することができました。

当日、沿道や競技場で熱いご声援をいただきました多くの県民の皆様をはじめ、大会の運営にご支援、ご協力をいただきました企業、学校、団体などの約3,000人にも及ぶボランティアの皆様、各関係機関の皆様に心から感謝申し上げます。

この記念誌は、第30回記念大会の様々な記録をまとめ、選手や大会を支えた皆様が心に刻んだ感動を広く伝えるために刊行しました。

改めて、この大会の30年にわたる歴史に敬意を表するとともに、この大会で育まれた皆様の熱い思いや友情が、障がいの有無や国籍、文化の違いを超えて、すべての人々が尊重され、共に生きるユニバーサル社会の実現の一助となることを祈念し、発刊のあいさつとします。



第30回記念  
大分国際車いすマラソン大会会長  
大分県知事 広瀬 勝貞

## GREETINGS

Katsusada Hirose

President  
30th Anniversary Oita International Wheelchair Marathon  
Governor of Oita Prefecture

It is our great pleasure that the "Oita International Wheelchair Marathon," which was started in commemoration of the International Year of Disabled Persons in 1981 and now has become one of the world's biggest sports events for the people with disabilities, was successfully held with the support of many people, and also with the attendance of H.I.H. The Crown Prince of Japan.

Among the total number of 307 athletes, 67 from 18 other countries and 240 from 37 prefectures from all over Japan, we were able to have 277 finishers under perfect weather.

In the men's marathon class T34/53/54 division, the fastest class, Marcel Hug participating from Switzerland for the sixth time, won his first championship, after a hotly contested race with six other athletes just before the finish line at Oita Municipal Athletic Stadium. In the marathon class T51 division, the class for those with severe disabilities, Stefan Strobel from Germany won his 3rd victory after four years, breaking the 14-year-old T51 course record.

In the women's marathon class T34/53/54 division, Amanda McGrory from the U.S.A. won her second victory after two years, breaking away from the leading pack of three competitors.

In the other divisions as well, there were many other exciting races that were worthy of the commemorative event and also became immortalized in the history of this marathon. The anniversary race ended in success, leaving behind many marvelous records and touching moments.

I would like to express my deepest appreciation to the many people cheering along the course and at the stadium, and also to the many industries, schools, groups, the approximately 3,000 volunteers and the other related organizations for their kind cooperation and support extended toward the holding of this marathon.

This commemorative issue was published to record the various accomplishments made during the 30th commemorative marathon and also to showcase the deep inspirations and impressions left on the hearts of the athletes and those who supported the event. Paying my highest respects to the 30-year history of this marathon once again, I would like to conclude my message by sincerely hoping that the experiences and friendships gained through this race will contribute to realizing a universal society where all people can live together regardless of ability or disability, respecting each other and overcoming differences of nationalities and cultures.





マラソン男子 T33/52 優勝  
上与那原 寛和 (沖縄県)  
UEYONABARU HIROKAZU



マラソン女子 T33/52 優勝  
ミシェル・スタイルウェル (カナダ)  
MICHELLE STILWELL



マラソン男子 T51 優勝  
ステファン・ストローベル (ドイツ)  
STEFAN STROBEL



ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝  
渡辺 習輔 (大分県)  
WATANABE SHUSUKE



ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝  
マニユエラ・シャー (スイス)  
MANUELA SCHAR



ハーフマラソン男子 T33/52 優勝  
佐藤 仁志 (岡山県)  
SATO HITOSHI



ハーフマラソン女子 T33/52 優勝  
木山 由加 (岡山県)  
KIYAMA YUKA

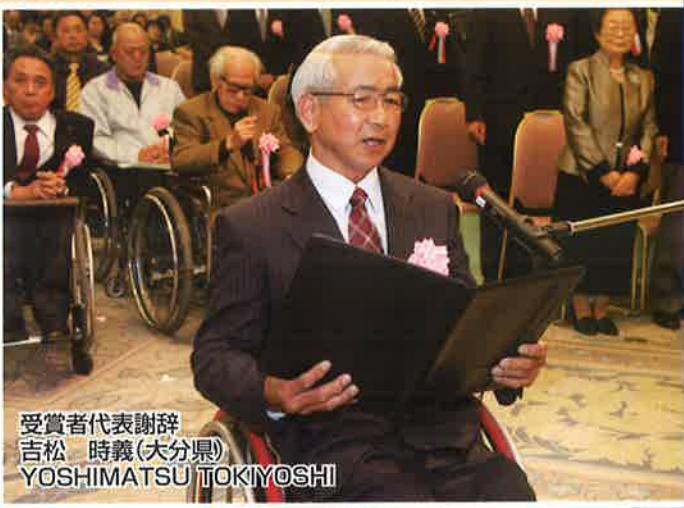


ハーフマラソン男子 T51 優勝  
浜添 要 (長崎県)  
HAMAZOE KANAME

# 大会前



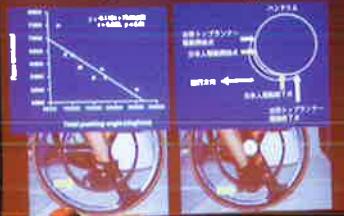
# 記念行事



## 記念式典・車いすマラソンセミナー

### 車いす駆動の基礎概念

1回駆動角度X1分間駆動回数=1分間総駆動角度

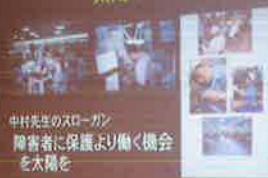


車いすマラソンセミナー

基調報告  
田島 文博(和歌山県立医科大学)  
TAJIMA FUMIHIRO

## 記念式典・車いすマラソンセミナー

### 太陽の家



牛村先生のスローガン  
障害者に保護より働く機会  
を太陽を



## 記念式典・車いすマラソンセミナー



ハインツ・フライ(ドイツ)  
HEINZ FREI



廣道 純(大分県)  
HIROMICHI JUN



山本 行文(熊本県)  
YAMAMOTO YUKIFUMI



ハインリッヒ・ケーベル(ドイツ)  
HEINRICH KÖBERLE



コーディネーター  
三井 利仁(和歌山県立医科大学)  
MITSUI TOSHIHITO

# 受付・記者会見













# 交歓の夕べ



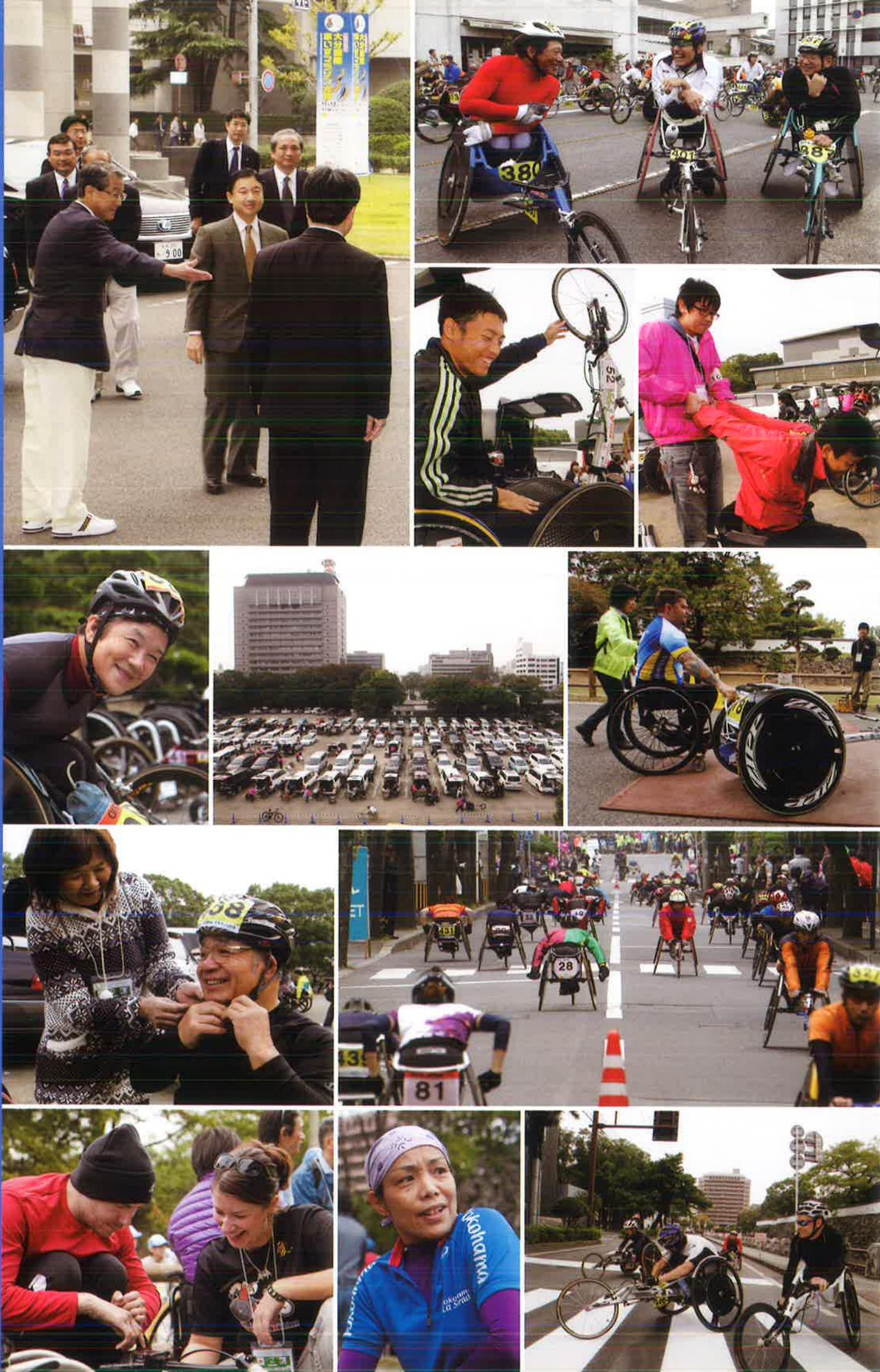


カトリック海星幼稚園





# スタート直前





The 30th  
Since 1981



# スタート





# コース



# レース



マラソン 42.195km  
ハーフマラソン 21.0975km









三佐折返し点



久原折返し点









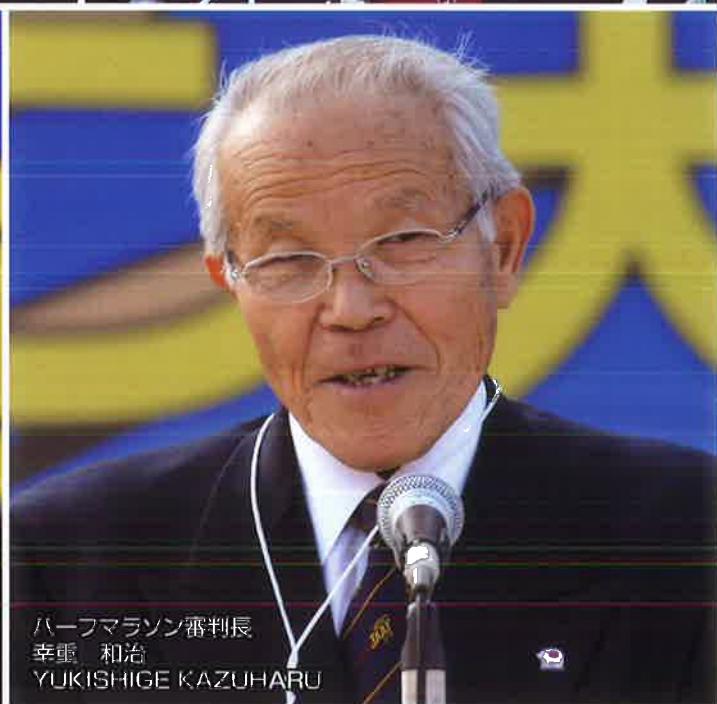


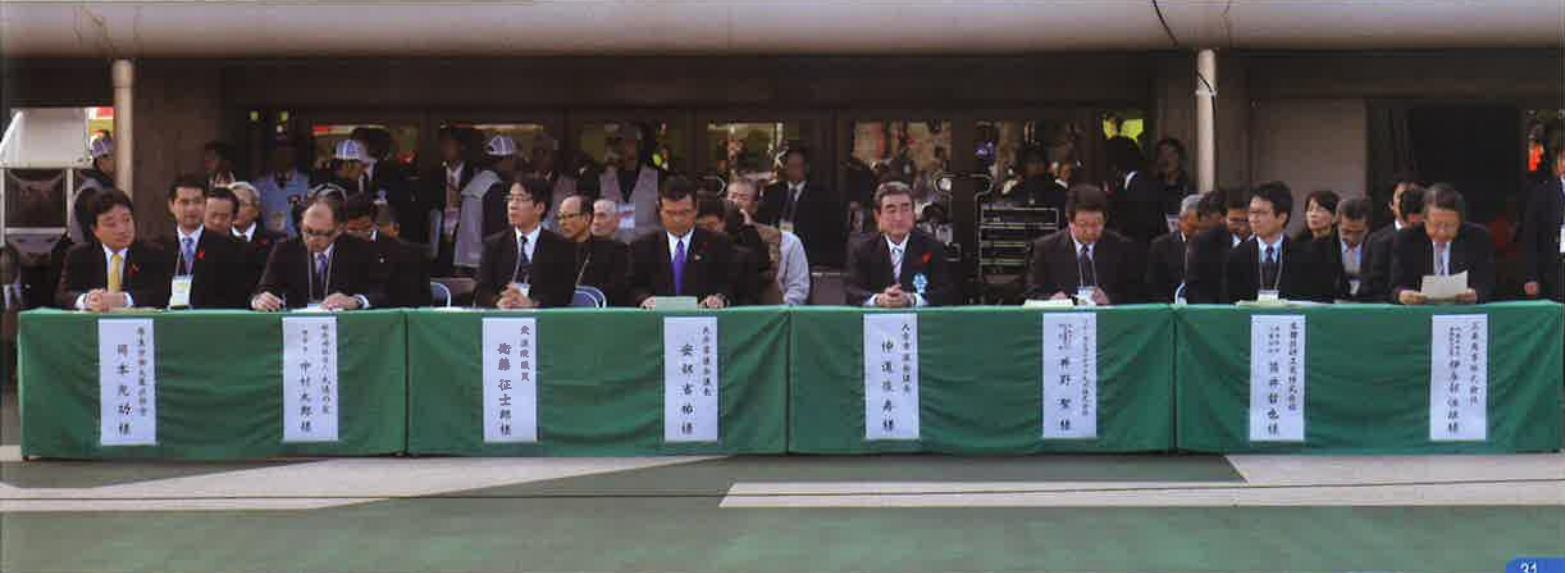


29



# 閉会式









## 皇太子殿下お言葉

大分国際車いすマラソン大会が、記念すべき第30回を迎える。その閉会式に、世界各国や国内各地から集まつた多くの選手、ボランティア、そして大分県の皆さんと共に出席できることを大変うれしく思います。

私は22年前に行われた第8回大会に出席しましたが、本日再びこの大分の地で、選手の皆さんと自己の限界に挑みながら力走される姿を目にし、四半世紀近く前に感じた感激や興奮が鮮やかに蘇りました。

車いすの走る速さとはこんなにも速いものかと驚くとともに、レース中の勝負の駆け引きの難しさや面白みを感じたことをよく記憶しています。

今回参加された方の中には、これまで何回もこの大会に参加された方もおられると伺っております。

30年間のそれぞれのレースで活躍した選手の姿は、毎年、障がいのある多くの方々への心の励みとなり、困難に立ち向かうエネルギーを与えてきたと確信しています。

また同時に、トップアスリートの驚異的なスピードや、重い障がいのある選手が精一杯の力を振り絞って歩みを進める姿は、沿道や競技場、ひいては世界各国の多くの人々にも、これまで勇気と感動を与え続けてきましたと感想しています。

ここに、30年の長きにわたり、大会を支えてこられた大会関係者の方々や、数多くのボランティアの皆さんの努力に対して、心から敬意を表します。

この大会が今後更に発展を続け、選手の皆さんのが更なる高みを目指してここ大分に集うことを、また、この大会が、選手を始め関係者の方々と、地元の方々とが友情をはぐくむ場としても、さらに大きく羽ばたくことを、心から希望し、私のあいさつといいます。

### The Closing Address by H.I.H The Crown Prince for the 30th Anniversary Oita International Wheelchair Marathon

On the auspicious occasion of the 30th Commemorative Oita International Wheelchair Marathon, it is my great pleasure to be able to attend its closing ceremony together with the many athletes from every corner of Japan and abroad, volunteers and the people of Oita Prefecture.

I attended the 8th event of this marathon 22 years ago. Today, here in Oita, at the sight of all the athletes pushing their limits, I clearly recall the inspiration and excitement I felt almost a quarter century ago.

While being surprised at the speed of the racing chairs going so fast, I remember very well that I was impressed by both the difficulties and pleasures of the racing techniques being used by the athletes during the race.

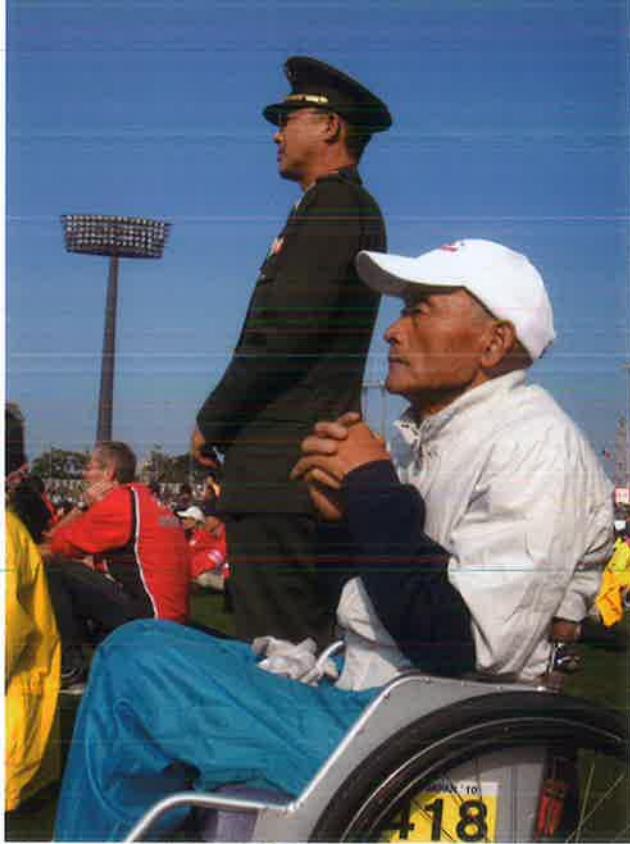
I understand that some competitors participating today have attended this marathon many times.

I believe that athletes have competed in each race during these 30 years have given many people with disabilities the inspiration and energy to face their hardships.

At the same time, the sights of both top-ranking athletes competing at astonishing speed and athletes with serious disabilities desperately pushing their racing chairs with all their might, have continuously encouraged and touched the many people along the course and also at the stadium, and consequently, the people around the world.

I offer my heartfelt respect to all the people concerned and to the many volunteers for their contribution in supporting this marathon for such a long time of thirty years.

I would like to conclude my address by expressing my sincere hope that this marathon will continue to grow into an event where athletes can gather together to pursue higher goals, and also that it will blossom further into a greater event as a chance for competitors, all the people involved and the people of Oita to nurture their friendship.



# 協力者・ボランティア



大分県障害者スポーツ指導者協議会



国内選手付添ボランティア





陸上自衛隊第41普通科連隊



大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do



36 車いす修理班







# 記念事業





# 大分国際車いすマラソン大会 30年の歩み

[1981-2010]

第30回記念  
大分国際車いすマラソン大会  
**写真・エッセイ  
コンテスト入賞作品**  
【写真の部】

## 最優秀賞

「ゴールを目指してスタート」  
杉瀬 豊氏（大分市）



**優秀賞** 「力走」  
實山 俊作氏（大分市）



**優秀賞** 「声援」  
中津留 俊典氏（大分市）

# The 1st Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第1回大会



太陽の家(別府市)で開催された開会式



ラインアップの様子



記念すべき第1回目のスタート！



初代優勝者ゲオルグ・フロイント(オーストリア:左)、  
2位のジム・クナウブ(アメリカ:右)

- 1981年11月1日(日)
- 14か国・地域／117名

## 大会トピック

- 国際障害者年の記念事業として開催
- 世界で初めての車いすだけの国際大会として開催
- ハーフマラソンのみ実施

# The 2nd Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第2回大会



地元の神楽が激励

- 1982年10月24日(日)
- 13か国／118名

## 大会トピック

- ハーフマラソンのみ実施
- リック・ハンセン選手（カナダ）が初めて1時間切る58分30秒で総合優勝

# The 3rd Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第3回大会



初の（フル）マラソン、スタートを待つ選手たち



国際ストーク・マンデビル車椅子スポーツ連盟のスクール  
トン事務局長(右)と大会生みの親 故中村 裕博士(左)

- 1983年11月13日(日)
- 14か国・地域／118名

- (フル)マラソンの部を加え、国際ストーク・マンデビル車椅子スポーツ連盟の公認大会となる
- 山本行文選手(大分県)がマラソン男子初の国内1位に輝く
- 大分市営陸上競技場が改修工事のため、競技場前の路上でフィニッシュ

大会トピック



# The 4th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第4回大会



中村博士の急逝を惜しむかのような雨もスタート直前に上がった



マラソン女子総合優勝 キャンディス・ケーブル（アメリカ：左）、  
2位 モニカ・ベテルスロム（スウェーデン：中央）、3位 幸塚  
直子（石川県：右）

## 大会トピック

- 1984年11月11日(日)
- 22か国・地域／166名

- 大会生みの親である中村裕博士（社会福祉法人太陽の家理事長：当時）が逝去  
(1984年7月23日・享年57)
- アンドレ・ヴィジェ選手（カナダ）がマラソン男子で2時間の壁を破る1時間48分  
25秒と世界記録を更新（当時）し総合優勝

# The 5th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第5回大会



皇太子同妃両殿下（現在の天皇皇后両陛下）御臨席



スタート地点の応援の様子



- 1985年11月10日(日)
- 20か国・地域／185名

- 皇太子同妃両殿下（現在の天皇皇后両陛下）御臨席
- 山本行文選手（熊本県）がマラソン男子で日本人初の総合4位に入賞

大会トピック

# The 6th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第6回大会



3輪タイプの車いす（レーサー）が初登場



第4～7回と4連覇をなしつづけたアンドレ・ヴィジェ（カナダ：左）と、ハインツ・フライ（スイス：中）、山本行文（熊本県：右）による、折返し点での攻防



日本人初のハーフマラソン男子総合優勝 林誠二（大阪府）

## 大会トピック

- 1986年11月2日(日)
- 19か国・地域／197名
- アンジェラ・イエリティ選手（カナダ）がマラソン女子で2時間の壁を破る1時間58分51秒で総合優勝
- 林誠二選手（大阪府）が日本人としてハーフマラソン初の総合優勝

# The 7th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第7回大会



「マットソン・テクニック」で一世を風靡したジャノヴァ・マットソン（スウェーデン：先頭）



ハーフマラソン女子総合優勝 坂内留美（東京都）

- 1987年11月1日(日)
- 20か国・地域／211名

- ハーフマラソンだけに適用していたクラス分けをマラソンにも適用（4クラス）
- アンドレ・ヴィジエ選手（カナダ）がマラソン男子で1時間44分18秒と世界記録を更新（当時）し総合4連覇

大会トピック

# The 8th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第8回大会



徳仁親王殿下（現在の皇太子殿下）



ポール・クラーク（カナダ：左）とアンドレ・ヴィジエ（カナダ：右）とのデッドヒート



## 大会トピック

● 1988年11月6日(日)

● 31か国・地域／271名

● 徳仁親王殿下（現在の皇太子殿下）御臨席

● 参加資格年齢を18才から16才に引き下げる

● ポール・クラーク選手（カナダ）がマラソン男子で1時間38分27秒と世界記録を更新（当時）し初の総合優勝、アンドレ・ヴィジエ選手（カナダ）の5連覇を阻む

# The 9th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第9回大会



常陸宮同妃両殿下



長嶋茂雄氏（元巨人軍監督）も激励に



マラソン女子 世界記録（当時）を出し優勝 ジャネット・ジャンセン（オランダ）

- 1989年11月5日(日)
- 25か国・地域／304名

- 常陸宮同妃両殿下御激励
- ジャネット・ジャンセン選手（オランダ）がマラソン女子で1時間48分45秒で総合優勝
- 他の国際大会同様のクラス分けを採用（5クラス）

## 大会トピック

# The 10th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第10回大会



視覚障がい者タンデムサイクリング



ハーフマラソン男子総合優勝 ロベルト・フィグル（ドイツ）



マラソン男子総合で初優勝 ハインツ・フライ（スイス）



秋篠宮同妃両殿下御臨席

## 大会トピック

- 1990年10月28日(日)
- 37か国・地域／441名
- 秋篠宮同妃両殿下御臨席
- 大会功労者に感謝状贈呈、10回連続出場選手を表彰
- ハインツ・フライ選手（スイス）がマラソン男子で初の総合優勝
- 山口悟志選手（大阪府）が山本行文選手（熊本県）のマラソン男子国内8連覇を阻む

# The 11th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第11回大会



選手を御激励になる高円宮殿下



ハーフマラソン男子で2度目の総合優勝 サウル・メンドーサ  
(メキシコ)

- 1991年11月4日(日)
- 33か国・地域／419名

- 高円宮殿下御激励
- 群馬県選手の出場により47都道府県すべてが参加

大会トピック

# The 12th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第12回大会



車いすマラソンセミナー



マラソン女子総合優勝 リリー・アングレニー（ドイツ）



ハーフマラソン男子総合優勝 ジェイコブ・ヘイルヴェイル  
(アメリカ)

## 大会トピック

- 1992年11月1日(日)
- 30か国・地域／430名
- 国内選手で大会史上最多となる43都道府県・362名が出場
- 山本行文選手（熊本県）がマラソン男子で通算8回目の国内1位

# The 13th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第13回大会



2年ぶり3回目のマラソン男子総合優勝  
ハインツ・フライ（スイス）  
ハインツ・フライ選手（スイス）がマラソン男子で1時間34分35秒で総合優勝、前人未踏の10連覇が始まる。



- 1993年10月31日(日)
- 32か国・地域／425名

- ハインツ・フライ選手（スイス）がマラソン男子で1時間34分35秒で総合優勝、前人未踏の10連覇が始まる

大会トピック

# The 14th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第14回大会



マラソン、ハーフマラソンで3分間の時間差スタート採用



マラソン男子総合1～3位

## 大会トピック

- 1994年10月30日(日)
- 27か国・地域／402名

- 3分間の時間差スタート採用（ハーフマラソンが3分後にスタート）
- 室塚一也選手（北海道）が1時間39分09秒と日本記録を更新（当時）レマラソン男子で日本人初の総合3位入賞

# The 15th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第15回大会



開会式の様子



マラソン女子で日本人初の総合優勝 畑中和（兵庫県）

- 1995年10月29日(日)
- 42か国・地域／433名

## 大会トピック

- 清子内親王殿下（当時）御臨席
- 大会史上最多の42ヶ国・地域からエントリー
- 畑中和選手（兵庫）が、マラソン女子で日本人初の総合優勝
- 野沢英二選手（青森県）がハーフマラソン男子で国内3連覇

# The 16th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第16回大会



路上でのフィニッシュの様子



マラソン男子で日本人初の総合2位入賞 廣道純（兵庫県）

- 1996年11月10日(日)
- 33か国・地域／409名

## 大会トピック

- 大分市営陸上競技場が改修工事のため、競技場前の路上でフィニッシュ
- 廣道純選手（兵庫県）がマラソン男子で日本人初の総合2位入賞

# The 17th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第17回大会



小型無線発信機（RCチップ）導入



初のインターネット中継

- 1997年11月2日(日)
- 28か国・地域／433名

- 畠中和選手(兵庫県)がマラソン女子で1時間39分40秒と世界記録を更新(当時)し、2回目の総合優勝
- 大会ホームページを開設、初のインターネット中継を実施
- フィニッシュ判定に小型無線発信機(RCチップ)を導入

## 大会トピック



# The 18th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第18回大会

選手宣誓  
工藤金次郎（徳島県）



寛仁親王同妃両殿下



## 大会トピック

- 1998年11月1日(日)
- 27か国・地域／434名
- 寛仁親王同妃両殿下御臨席
- OBS大分放送が初のラジオ実況中継を実施

# The 19th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第19回大会



特別ゲスト レーナ・マリアさん



マラソン男子 世界記録で総合7連覇  
フライ(スイス)  
ハインツ・



ハーフマラソン男子総合優勝 藤川泰博(兵庫県)



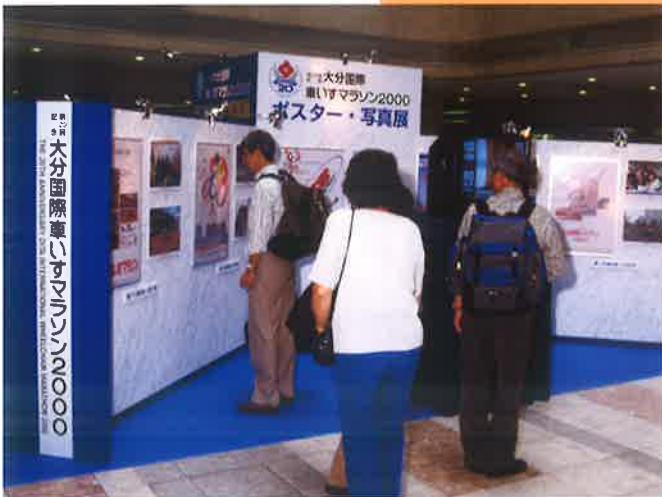
- 1999年10月31日(日)
- 26か国・地域／382名

## 大会トピック

- スウェーデンのゴスペルシンガー、レーナ・マリアさんを開会式の特別ゲストに迎え、ミニ・コンサートを行う
- ハインツ・フライ選手(スイス)がマラソン男子で1時間20分14秒と世界記録を更新し総合7連覇

# The 20th Anniversary Race

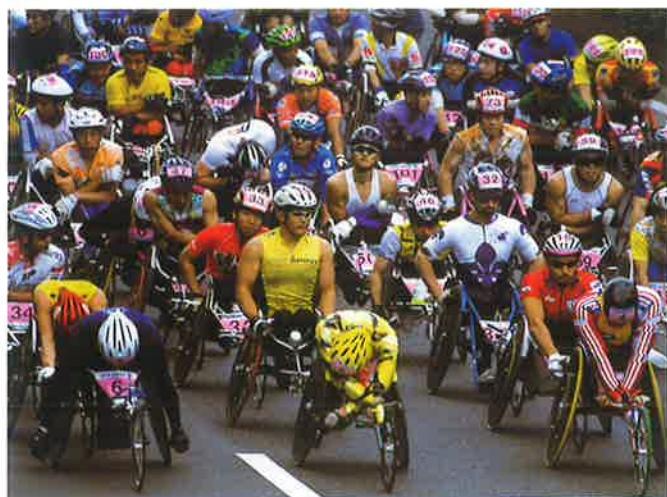
OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第20回記念大会



記念事業の一環として、羽田・関西空港等で写真展を開催



開会式で松島トモ子さんと阿田光照さんが車いすダンスを披露



## 大会トピック

- 2000年11月12日(日)
- 30か国・地域／417名
- 寛仁親王殿下御臨席
- 大会功労者へ感謝状贈呈
- 20回連続出場者と外国人最多出場のハインツ・フライ選手（スイス）に記念品授与
- マラソン男子で大会8連覇、通算10度目の優勝を飾ったハインツ・フライ選手（スイス）に対し、大分県から外国人名誉県民証が授与される

# The 21st Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第21回大会



マラソン女子で世界記録  
土田和歌子（東京都）  
90

- 2001年11月11日(日)
- 28か国・地域／412名

## 大会トピック

- マラソン女子で土田和歌子選手（東京都）が1時間38分32秒と世界記録を更新し初の総合優勝
- キッズボランティアとして、県内の小学生219名がレース当日のボランティアの活動状況について見学

# The 22nd Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第22回大会



大会史上初の雨の中のレース スタート直前の選手たち



マラソン男子で総合 10 連覇を達成 ハインツ・フライ（スイス）



大会を支えるボランティア

- 2002年10月20日(日)
- 27か国・地域／370名

## 大会トピック

- 大会史上初の雨の中でのレース
- ハインツ・フライ選手（スイス）が1時間25分46秒でマラソン総合10連覇、通算12回目の優勝

# The 23rd Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第23回大会

大分川河川敷  
練習の様子



ハーフマラソン男子 大会記録で総合優勝 渡辺習輔（大分県）

## 大会トピック

- 2003年11月16日(日)
- 20か国／348名

- マラソン男子でジョエル・ジャノ選手（フランス）が初の総合優勝、ハインツ・フライ選手（スイス）の11連覇を阻む
- ハーフマラソン男子で渡辺習輔選手（大分県）が44分37秒と大会記録を更新し2度目の優勝

# The 24th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第24回大会



市民交流型の開会式へと転換



パレードの道中 市民とのふれあい



## 大会トピック

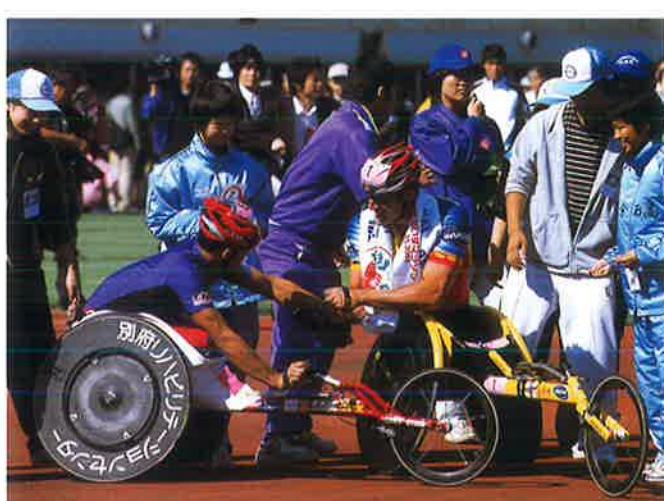
- 2004年10月31日(日)
- 18か国／319名
- 開会式を一新、ガレリア竹町100周年とタイアップし、ドーム広場で開催
- 総合表彰を廃止、クラス呼称を変更（クラス1→T51、クラス2→T52、クラス3→T53/54）し、クラス別のレースを前面に打ち出す
- OAB大分朝日放送がテレビの録画中継放送を実施

# The 25th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第25回大会



選手との交流風景（庄内子供神楽）



互いの健闘をたたえ合う エレンスト・ヴァン・ダイク  
(南アフリカ：右)、笹原廣喜(大分県：左)

- 2005年10月30日(日)
- 20か国／320名

## 大会トピック

- マラソン参加選手に日本身体障害者陸上競技連盟への登録を義務づけ
- 受付・クラス分けの会場を大分県庁舎本館1階へ変更、健康診査（メディカルチェック）を廃止
- 交歓のタベをウェルカムパーティとし、パレードに引き続き若草公園で開催
- T 53/54 男子（マラソン・ハーフマラソンとも）の表彰を10位までから3位までに変更

# The 26th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第26回大会



マラソン男子 T53/54 優勝 笹原廣喜（大分県）

## 大会トピック

- 2006年10月29日(日)
- 16か国／293名
- マラソンの部において国際車いす・切断者スポーツ連盟(IWAS)公認のクラス分けを実施
- マラソン男子T53/54で笹原廣喜選手(大分県)が1時間24分15秒と日本記録を更新(当時)し同クラスで日本人初の優勝
- 第11回ふるさとイベント大賞選考委員特別賞を受賞

# The 27th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON

第27回大会



マラソン男子 T53/54 優勝 エレンスト・ヴァン・ダイク  
(南アフリカ)

多くのボランティアスタッフの皆さん

- 2007年10月28日(日)
- 15か国／261名

- 国際パラリンピック委員会（IPC）の公認大会となる
- マラソン男子 T51 でハインリッヒ・クーベール選手（ドイツ）が5年ぶりの優勝

大会トピック

# The 28th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第28回大会



ウォームアップ



マラソン女子 T52 優勝 八巻智美（福島県：右）、表彰式後にボランティアと談笑

## 大会トピック

● 2008年11月9日(日)

● 15か国／281名

● 雨大により、開会式後のパレードを中止し、開会式と同じ会場（ガレリア竹町ドーム広場）で交歓の夕べを開催

● マラソン女子 T52 で八巻智美選手（福島県）が2時間7分28秒と2年連続で世界記録を更新し、同クラス4連覇を達成

# The 29th Race

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR MARATHON  
第29回大会



選手記者会見



マラソン男子 T53 / 54 で 2 年連続 14 度目の優勝  
ハインツ・フライ (スイス)

- 2009年10月25日(日)
- 15か国／264名
- スタート直前に雨が降り出し、急きょ会場の設営を雨天対応へと変更  
閉会式・表彰式を2年連続で大分市営陸上競技場内で実施
- マラソン女子T52でミシェル・スタイルウェル選手(カナダ)が初マラソン初優勝
- マラソン男子T53/54でハインツ・フライ選手(スイス)が2年連続となる通算  
14度目の優勝

大会トピック

The 30th  
Anniversary

OITA INTERNATIONAL  
WHEELCHAIR  
MARATHON

大分国際車いすマラソン大会

# 資料編

# 第30回記念大分国際車いすマラソン大会 結果概要

## ●気象条件（大分陸上競技協会／午前11時発表）

・天候 くもり ・気温 18.3℃ ・風向 東北東 ・風速 0.9m／秒 ・湿度 76%

## ●レース概況

第30回記念大分国際車いすマラソン大会は、11月14日(日)午前11時、皇太子殿下の御臨席を賜り、大分県庁前をスタート、大分市営陸上競技場をフィニッシュとする国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コースで行われた。

今回、海外は19の国から67名、国内は37都道府県から240名、計307名の選手が出走。天候にも恵まれ、マラソン109名、ハーフマラソン168名、計277名が完走した。

マラソン男子では、最速クラスのT34／53／54でマルセル・フグ選手(スイス)が、大分市営陸上競技場内での7名による混戦を制し、初の優勝となった。T33／52は、上与那原寛和選手(沖縄県)が2位の選手とわずか1秒差の接戦を制し、2年ぶり2度目の優勝を果たした。最も障がいの重いクラスであるT51では、ステファン・ストローベル選手(ドイツ)が大会記録を更新し、4年ぶり3度目の優勝を飾った。

一方、マラソン女子では、T34／53／54でアマンダ・マクグローリー選手(アメリカ)が、3名による混戦を制し、2年ぶり2度目の優勝を飾った。また、T33／52は、ミシェル・スタイルウェル選手(カナダ)が2連覇を果たした。

## ●記録等

### 【マラソンの部】

#### 〔男 子〕

T51優勝	ステファン・ストローベル (ドイツ)	2° 32' 36" (大会記録)
T33／52優勝	上与那原 寛和 (沖縄県)	1° 50' 22"
T34／53／54優勝	マルセル・フグ (スイス)	1° 23' 28"

#### 〔女 子〕

T51	出走者なし	
T33／52優勝	ミシェル・スタイルウェル (カナダ)	2° 30' 52"
T34／53／54優勝	アマンダ・マクグローリー (アメリカ)	1° 44' 38"

国内 1 位	洞ノ上 浩太 (福岡県)	1° 23' 30"
県内 1 位	笹原 廣喜 (大分県)	1° 38' 13"

### 【ハーフマラソンの部】

#### 〔男 子〕

T51優勝	濱添 要 (長崎県)	1° 31' 31"
T33／52優勝	佐藤 仁志 (岡山県)	1° 10' 14"
T34／53／54優勝	渡辺 習輔 (大分県)	45' 11"

#### 〔女 子〕

T51	出走者なし	
T33／52優勝	木山 由加 (岡山県)	1° 12' 11"
T34／53／54優勝	マニュエラ・シャー (スイス)	54' 33"

# 国・地域、都道府県別の出走者数

The Number of Participants of Countries and Territories

## 国内出走者

Japanese Participants

都道府県名 Prefectures	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
1 北海道	3		1		4
青森県					
岩手県					
2 宮城県	1		2		3
秋田県					
山形県					
福島県					
3 茨城県	1				1
4 栃木県	1				1
5 群馬県			1		1
6 埼玉県	2		2		4
7 千葉県	1		1		2
8 東京都	4				4
9 神奈川県	2	2	1	1	6
10 新潟県	1		2		3
富山県					
11 石川県			1		1
12 福井県	1		5	1	7
13 山梨県	1		1		2
14 長野県	2		1		3
15 岐阜県			2		2
16 静岡県	4		1		5
17 愛知県	7		9	2	18
18 三重県	1				1
滋賀県					
19 京都府	3		6		9
20 大阪府	3		10		13
21 兵庫県	4		8	3	15
奈良県					
和歌山県					
22 鳥取県			4		4
23 島根県	1		3		4
24 岡山県	1		5	2	8
25 広島県	2		4	1	7
26 山口県	3		3	2	8
27 徳島県			2		2
香川県					
28 愛媛県	2		5		7
29 高知県	4		1		5
30 福岡県	5		5		10
31 佐賀県			4		4
32 長崎県	6		2		8
33 熊本県	3		8		11
34 大分県	5		25	1	31
35 宮崎県	2		10		12
36 鹿児島県	1		2		3
37 沖縄県	4		7		11
計	81	2	144	13	240

## 海外出走者

Foreign Participants

国または地域名 Countries and Territories	初 New	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
		男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
1 オーストラリア AUSTRALIA		2		6		8
2 バーレーン BAHRAIN				3		3
3 ブラジル BRAZIL				1		1
4 カナダ CANADA		1	2	1		4
5 中国 CHINA				3		3
6 コスタリカ COSTARICA		1				1
7 フランス FRANCE		2				2
8 ドイツ GERMANY		3				3
9 カザフスタン KAZAKHSTAN		1				1
10 韓国 KOREA		3				3
11 メキシコ MEXICO		5				5
12 フィリピン PHILIPPINES				2		2
13 ポルトガル PORTUGAL		1				1
14 シンガポール SINGAPORE		1				1
15 南アフリカ SOUTH AFRICA		1				1
16 スペイン SPAIN		3				3
17 スイス SWITZERLAND		3	1	2	1	7
18 タイ THAILAND		3				3
19 アメリカ U.S.A.		8	1	4	2	15
計 Total		38	4	22	3	67

出走者 Participants	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
国内 Japanese Participants 37都道府県	81	2	144	13	225	15
		83		157		240
海外 Foreign Participants 19か国	38	4	22	3	60	7
		42		25		67
合計 Total 20か国	119	6	166	16	285	22
		125		182		307

完走者 Finishers	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
国内 Japanese Participants 37都道府県	70	2	131	12	201	14
		72		143		215
海外 Foreign Participants 19か国	33	4	23	2	56	6
		37		25		62
合計 Total 20か国	103	6	154	14	257	20
		109		168		277

# マラソンの部 表彰者／Prize Winners of marathon

## クラス別

### (1) 男子T51

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	2° 32' 36"	125	ステファン・ストローベル STEFAN STROBEL	33	ドイツ GERMANY

### (2) 女子T51

出走者なし

### (3) 男子T33／52

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 50' 22"	13	上与那原 寛和 UEYONABARU HIROKAZU	39	沖縄県 JAPAN
2	1° 50' 23"	41	高田 稔浩 TAKADA TOSHIHIRO	45	福井県 JAPAN
3	1° 59' 23"	27	サンティアゴ・サンツ SANTIAGO SANZ	30	スペイン SPAIN

### (4) 女子T33／52

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	2° 30' 52"	95	ミシェル・スタイルウェル MICHELLE STILWELL	36	カナダ CANADA

### (5) 男子T34／53／54

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 23' 28"	12	マルセル・フグ MARCEL HUG	24	スイス SWITZERLAND
2	1° 23' 30"	5	洞ノ上 浩太 HOKINOUE KOTA	36	福岡県 JAPAN
3	1° 23' 30"	2	山本 浩之 YAMAMOTO HIROYUKI	44	福岡県 JAPAN

### (6) 女子T34／53／54

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 44' 38"	53	アマンダ・マクグローリー AMANDA MCGRORY	24	アメリカ U.S.A.
2	1° 44' 40"	11	サン德拉・グラフ SANDRA GRAF	40	スイス SWITZERLAND
3	1° 44' 44"	39	ダイアン・ロイ DIANE ROY	39	カナダ CANADA

## 国内1位(マラソン)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 23' 30"	5	洞ノ上 浩太 HOKINOUE KOTA	36	福岡県 JAPAN

## 県内1位(マラソン)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 38' 13"	64	笹原 廣喜 SASAHARA HIROKI	36	大分県 JAPAN

# ハーフマラソンの部 表彰者／Prize Winners of half marathon

## クラス別

### (1) 男子T51

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 31' 31"	462	濱添 要 HAMAZOE KANAME	38	長崎県 JAPAN
2	1° 40' 39"	467	平山 健悟 HIRAYAMA KENGO	23	福岡県 JAPAN
3	1° 41' 45"	468	甲斐 邦生 KAI KUNIO	40	大分県 JAPAN

### (2) 女子T51

出走者なし

### (3) 男子T33／52

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 10' 14"	382	佐藤 仁志 SATO HITOSHI	29	岡山県 JAPAN
2	1° 12' 05"	381	松本 直幸 MATSUMOTO NAOYUKI	31	福岡県 JAPAN
3	1° 12' 07"	407	小出 公典 KOIDE KIMINORI	37	大分県 JAPAN

### (4) 女子T33／52

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	1° 12' 11"	404	木山 由加 KIYAMA YUKA	26	岡山県 JAPAN
2	1° 27' 46"	461	クリステン・メサー KRISTEN MESSER	23	アメリカ U.S.A.

### (5) 男子T34／53／54

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	45' 11"	302	渡辺 習輔 WATANABE SHUSUKE	42	大分県 JAPAN
2	45' 50"	306	佐矢野 利明 SAYANO TOSHIAKI	22	大分県 JAPAN
3	45' 51"	304	廣道 純 HIROMICHI JUN	36	大分県 JAPAN

### (6) 女子T34／53／54

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories
1	54' 33"	333	マニュエラ・シャー MANUELA SCHAR	25	スイス SWITZERLAND
2	1° 01' 50"	347	小西 恵子 KONISHI KEIKO	32	兵庫県 JAPAN
3	1° 03' 41"	390	サン德拉・ラッシュ SANDRA RUSH	49	アメリカ U.S.A.

# マラソン クラス別順位／Rankings for Marathon in each class

## ●T51 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	2° 32' 36"	125	ステファン・ストローベル	ドイツ
—	未完走	127	ハインリッヒ・クーベール	ドイツ

世界記録：ハインリッヒ・クーベール (ドイツ)

日本記録：井上 聰 (愛媛県)

大会記録：ステファン・ストローベル (ドイツ)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
—	未完走	136	井上 聰	愛媛県
—	未完走	137	長崎 裕也	埼玉県

2° 23' 08" 1996 ペルリン

2° 30' 32" 2006 サン・アントニオ

2° 32' 36" 2010 第30回記念大分国際 ※更新

## ●T33／52 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1° 50' 22"	13	上与那原 寛和	沖縄県
2	1° 50' 23"	41	高田 稔浩	福井県
3	1° 59' 23"	27	サンティアゴ・サンツ	スペイン
4	2° 07' 37"	55	ピチャヤ・クラッタナシリ	タイ

世界記録：トーマス・ガイアシュベラー (オーストリア)

日本記録：上与那原 寛和 (沖縄県)

大会記録：サンティアゴ・サンツ (スペイン)

1° 40' 07" 2008 北京パラリンピック

1° 40' 10" 2008 北京パラリンピック

1° 43' 46" 2007 第27回大分国際

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
5	2° 18' 19"	69	イ・ヒョンジュン	韓国
6	2° 30' 12"	83	小幡 健	北海道
—	未完走	97	阿南 正史	大分県

## ●T33／52 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	2° 30' 52"	95	ミシェル・スタイルウェル	カナダ

世界記録：八巻 智美 (福島県)

日本記録：八巻 智美 (福島県)

大会記録：八巻 智美 (福島県)

2° 07' 28" 2008 第28回大分国際

2° 07' 28" 2008 第28回大分国際

2° 07' 28" 2008 第28回大分国際

## ●T34／53／54 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1° 23' 28"	12	マルセル・フグ	スイス
2	1° 23' 30"	5	洞ノ上 浩太	福岡県
3	1° 23' 30"	2	山本 浩之	福岡県
4	1° 23' 30"	3	エレンスト・ヴァン・ダイク	南アフリカ
5	1° 23' 31"	1	ハインツ・フライ	スイス
6	1° 23' 33"	15	花岡 伸和	千葉県
7	1° 23' 34"	7	ロジャー・ブイグボ	スペイン
8	1° 31' 04"	9	副島 正純	福岡県
9	1° 31' 22"	14	樋口 政幸	長野県
10	1° 31' 22"	8	デニス・レミュニエール	フランス
11	1° 31' 23"	4	アーロン・ゴーディアン	メキシコ
12	1° 31' 23"	16	久保 恒造	北海道
13	1° 31' 23"	22	ピエール・フェアーバンク	フランス
14	1° 31' 30"	10	ミシェル・フィルトウ	カナダ
15	1° 31' 55"	6	ジョルディ・マデラ	スペイン
16	1° 31' 55"	19	サウル・メンドーサ	メキシコ
17	1° 34' 24"	21	松永 仁志	岡山県
18	1° 34' 26"	23	ブレット・マッカリー	オーストラリア
19	1° 37' 25"	24	上田 隆司	兵庫県
20	1° 37' 25"	33	西本 和広	広島県

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
21	1° 37' 30"	28	アウベルト・ペレイラ	ポルトガル
22	1° 37' 35"	35	吉田 竜太	東京都
23	1° 38' 06"	36	渡邊 敏貴	東京都
24	1° 38' 06"	29	コーネル・フィリガー	スイス
25	1° 38' 06"	66	岩下 啓三	熊本県
26	1° 38' 07"	40	浜田 和成	大阪府
27	1° 38' 07"	37	吉野 誠二	兵庫県
28	1° 38' 07"	32	山口 悟志	愛媛県
29	1° 38' 08"	44	田中 秀夫	山口県
30	1° 38' 13"	64	笹原 廣喜	大分県
31	1° 38' 41"	31	塙田 清高	埼玉県
32	1° 38' 59"	50	澤村 聰一	京都府
33	1° 39' 36"	52	西田 宗城	大阪府
34	1° 39' 52"	30	山賀 英二	新潟県
35	1° 41' 53"	77	長田 弘幸	北海道
36	1° 43' 03"	18	アルフォンソ・サルゴサ	メキシコ
37	1° 44' 22"	17	エクトル・エルナンデス	メキシコ
38	1° 44' 24"	62	真下 和也	京都府
39	1° 44' 24"	115	マシュー・ポーターフィールド	アメリカ
40	1° 44' 25"	49	伊藤 浩司	高知県

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県/国/地域 Countries/Territories
41	1° 44' 25"	60	高館 龍磨	宮崎県
42	1° 44' 25"	46	橋爪 淳	神奈川県
43	1° 44' 26"	45	西原 健一	高知県
44	1° 44' 26"	59	小林 大	三重県
45	1° 44' 27"	99	ジェイコブ・ヘイルヴェイル	アメリカ
46	1° 44' 28"	47	藤川 泰博	兵庫県
47	1° 44' 31"	43	山崎 正一	高知県
48	1° 44' 33"	58	鈴木 俊光	静岡県
49	1° 44' 52"	26	吉田 高志	大阪府
50	1° 46' 34"	65	伊東 浩之	長崎県
51	1° 50' 51"	54	ブラッドリー・レイ	アメリカ
52	1° 50' 52"	91	ユ・ヒヨンデ	韓国
53	1° 50' 54"	68	安川 第五郎	福岡県
54	1° 50' 57"	48	植田 一弥	静岡県
55	1° 50' 59"	61	ホン・スファ	韓国
56	1° 51' 38"	84	ラウレンス・モリナ	コスタリカ
57	1° 51' 52"	71	川合 龍	栃木県
58	1° 52' 27"	51	永易 久和	神奈川県
59	1° 52' 28"	57	青木 浩	長野県
60	1° 52' 28"	76	イアン・ローデ	オーストラリア
61	1° 52' 29"	56	藤原 修	大分県
62	1° 53' 18"	82	マシュー・デイヴィス	アメリカ
63	1° 53' 19"	98	前野 耕一郎	高知県
64	1° 55' 10"	133	青野 真佐男	愛知県
65	1° 55' 53"	63	グラント・ペルスイオーム	アメリカ
66	1° 57' 55"	105	及川 幸司	宮城県
67	1° 57' 56"	73	吉松 時義	大分県
68	1° 58' 39"	80	三浦 智晴	大分県
69	2° 00' 42"	78	炭谷 延幸	福岡県
70	2° 01' 23"	85	古谷 栄司	山口県
71	2° 02' 27"	86	中田 達也	京都府
72	2° 03' 30"	90	飯塚 裕治	島根県
73	2° 03' 31"	70	松永 洋一	長崎県
74	2° 08' 08"	79	馬本 節男	広島県

世界記録：ハインツ・フライ (スイス)

日本記録：副島 正純 (福岡県)

大会記録：ハインツ・フライ (スイス)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県/国/地域 Countries/Territories
75	2° 08' 09"	106	ピーター・ホーキンス	アメリカ
76	2° 09' 42"	132	吉松 豪次郎	静岡県
77	2° 10' 04"	101	富川 文男	山口県
78	2° 10' 04"	103	小嶋 俊則	愛知県
79	2° 10' 13"	109	野々村 知幸	愛知県
80	2° 10' 45"	119	木下 稔	長崎県
81	2° 12' 00"	118	ウイリアム・タン	シンガポール
82	2° 12' 32"	108	黒田 章	熊本県
83	2° 12' 33"	102	巾野 隆	静岡県
84	2° 17' 02"	111	川路 昭男	鹿児島県
85	2° 18' 32"	93	中嶋 知春	宮城県
86	2° 18' 32"	117	大城 盛昭	沖縄県
87	2° 20' 14"	116	宇栄原 和雄	沖縄県
88	2° 23' 49"	112	菊谷 清	長崎県
89	2° 23' 56"	104	岩田 昇	愛知県
90	2° 35' 02"	131	ティム・セーシュタット	ドイツ
91	2° 35' 17"	113	ポール・エルウェイ	アメリカ
92	2° 40' 31"	129	嘉松 一男	長崎県
93	2° 48' 58"	130	イフゲイニー・テューキン	カザフスタン
94	2° 52' 05"	122	柴田 雅年	愛知県
95	2° 52' 22"	124	中神 康浩	熊本県
96	2° 56' 18"	128	今泉 武	茨城県
—	未完走	20	安岡 チョーク	東京都
—	未完走	34	川田 幾夫	兵庫県
—	未完走	38	マルティン・ペラスコ	メキシコ
—	未完走	74	ブーイン・コムヌアン	タイ
—	未完走	75	サクダ・クムタ	タイ
—	未完走	87	立松 秀泰	愛知県
—	未完走	88	エドゥイン・フィゲロア	アメリカ
—	未完走	89	池原 秀雄	愛知県
—	未完走	92	田中 誠治	山梨県
—	未完走	107	前田 純一	長崎県
—	未完走	120	松川 幸市	沖縄県
—	未完走	126	高桑 健	東京都

1° 20' 14" 1999 第19回大分国際

1° 21' 23" 2008 パドヴァ

1° 20' 14" 1999 第19回大分国際

## ●T34/53/54 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 44' 38"	53	アマンダ・マクグローリー	アメリカ
2	1° 44' 40"	11	サン德拉・グラフ	スイス
3	1° 44' 44"	39	ダイアン・ロイ	カナダ

世界記録：土田 和歌子 (東京都)

日本記録：土田 和歌子 (東京都)

大会記録：土田 和歌子 (東京都)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県/国/地域 Countries/Territories
4	1° 59' 41"	67	中山 和美	神奈川県
5	2° 07' 42"	81	高寄 瑞貴	神奈川県

1° 38' 32" 2001 第21回大分国際

1° 38' 32" 2001 第21回大分国際

1° 38' 32" 2001 第21回大分国際

# ハーフマラソン クラス別順位／Rankings for Half Marathon in each class

## ●T51 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1° 31' 31"	462	濱添 要	長崎県
2	1° 40' 39"	467	平山 健悟	福岡県
3	1° 41' 45"	468	甲斐 邦生	大分県
4	1° 42' 49"	508	森脇 隆	兵庫県
5	1° 43' 05"	472	ジュレミー・フィントン	アメリカ
6	1° 53' 21"	466	辻川 剛	大阪府

日本記録：三浦 尊 (愛知県)  
 大会記録：三浦 尊 (愛知県)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
—	未完走	473	大出 積	大分県
—	未完走	506	坂井 輝昭	広島県
—	未完走	507	清水 佑太	愛媛県
—	未完走	509	黒島 祥伍	大分県
—	未完走	510	比嘉 康二	人分県
—	未完走	511	五反田 法行	大分県

1° 04' 09" 1999 第19回大分国際  
 1° 04' 09" 1999 第19回大分国際

## ●T33／52 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1° 10' 14"	382	佐藤 仁志	岡山県
2	1° 12' 05"	381	松本 直幸	福岡県
3	1° 12' 07"	407	小出 公典	大分県
4	1° 13' 51"	398	ビーター・エインジェル	オーストラリア
5	1° 15' 49"	435	尾島 宏治	大分県
6	1° 16' 50"	384	松尾 充浩	大阪府
7	1° 17' 22"	426	藤重 純也	京都府
8	1° 17' 34"	431	関谷 真一	宮崎県
9	1° 20' 01"	428	岩上 豪一	鳥取県
10	1° 20' 46"	434	山田 強	愛知県
11	1° 21' 06"	416	今井 義隆	大阪府
12	1° 21' 43"	429	川久保 一馬	佐賀県
13	1° 22' 41"	443	三浦 貴士	大分県
14	1° 25' 07"	367	レイド・マルノイ	バーレーン

日本記録：上与那原 寛和 (沖縄県)  
 大会記録：上与那原 寛和 (沖縄県)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
15	1° 26' 23"	433	アラン・アシュフォード	オーストラリア
16	1° 28' 47"	452	田瀬 寿一	大分県
17	1° 29' 16"	447	比嘉 三男	沖縄県
18	1° 30' 40"	446	高見 浩	岡山県
19	1° 30' 53"	464	棄原 泰喜	熊本県
20	1° 31' 54"	456	洲鎌 敏美	沖縄県
21	1° 35' 07"	455	工藤 金次郎	徳島県
22	1° 39' 43"	469	西村 泰芳	福岡県
23	1° 40' 05"	505	一本木 一裕	岐阜県
24	1° 41' 08"	502	久道 良夫	宮城県
25	1° 42' 02"	501	松永 優一	大分県
—	未完走	500	渡嘉敷 直秀	沖縄県
—	未完走	504	米山 和弘	福岡県

49' 38" 2008 長野  
 53' 59" 2006 第26回大分国際

## ●T33／52 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1° 12' 11"	404	木山 由加	岡山県
2	1° 27' 46"	461	クリステン・メサー	アメリカ

日本記録：八巻 智美 (福島県)  
 大会記録：ジェニー・ルンドブラッド (スウェーデン)

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
—	未完走	498	仲元 ゆかり	兵庫県

1° 03' 09" 2008 長野  
 58' 03" 2002 第22回大分国際

## ●T34／53／54 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	45' 11"	302	渡辺 習輔	大分県
2	45' 50"	306	佐矢野 利明	大分県
3	45' 51"	304	廣道 純	大分県
4	46' 28"	301	西原 宏明	京都府
5	49' 27"	305	リチャード・コールマン	オーストラリア
6	49' 28"	307	高原 圭司	岡山県
7	49' 30"	308	リチャード・ニコルソン	オーストラリア
8	51' 28"	331	高野 逸生	宮崎県
9	51' 28"	323	嶋田 俊幸	福井県
10	51' 29"	315	山本 行文	熊本県
11	52' 08"	314	用田 竹司	京都府
12	53' 10"	329	村田 昌之	兵庫県
13	53' 28"	312	永尾 嘉章	兵庫県
14	53' 31"	321	山本 秀明	広島県
15	53' 33"	327	村上 勝也	佐賀県
16	53' 34"	319	原 雅弘	高知県
17	54' 26"	316	岸本 輝明	兵庫県

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
18	54' 27"	313	福場 輝昭	山口県
19	54' 28"	309	金児 知哉	長野県
20	54' 28"	317	安達 新一	熊本県
21	54' 28"	341	ハロルド・リラガン	フィリピン
22	54' 28"	322	竹重 和昭	山口県
23	54' 37"	420	トライヴィス・ドットソン	アメリカ
24	55' 10"	326	下村 新也	熊本県
25	55' 11"	328	有馬 良信	宮崎県
26	56' 14"	339	松浦 正治	宮崎県
27	56' 41"	324	坂元 幸雄	大分県
28	56' 46"	386	ビーター・パーク	アメリカ
29	57' 10"	325	ビンス・カビシア	イスラエル
30	57' 20"	320	カルロス・オリベイラ	ブラジル
31	57' 44"	365	鬼村 正人	島根県
32	57' 51"	334	池田 康広	京都府
33	58' 10"	480	ホオー・ツータイ	中国
34	58' 11"	481	リン・イオウフー	中国

順位 Rank	記録 Time	ナンバー Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
35	58' 20"	330	吉川 勇	大分県
36	58' 21"	357	小川 敬	宮崎県
37	58' 57"	345	服部 保作	静岡県
38	59' 10"	311	斎藤 實	埼玉県
39	59' 12"	385	ポール・アシュレイ	オーストラリア
40	59' 13"	355	友岡 昭二	愛知県
41	59' 37"	361	高瀬 優輔	福井県
42	59' 38"	363	和田 直也	京都府
43	59' 41"	350	日野浦 紳	広島県
44	59' 46"	358	山下 次男	宮崎県
45	1° 00' 31"	406	松尾 健次	佐賀県
46	1° 00' 36"	383	荻堂 盛助	沖縄県
47	1° 01' 09"	335	小西 龍次	兵庫県
48	1° 01' 13"	342	那須 広明	鳥取県
49	1° 01' 48"	338	フゴー・ミュラー	イスラエル
50	1° 01' 49"	340	川口 幸治	千葉県
51	1° 01' 50"	487	國米 和則	大阪府
52	1° 02' 06"	378	片倉 政人	沖縄県
53	1° 02' 11"	375	塩地 優	大分県
54	1° 02' 37"	373	弘岡 正樹	神奈川県
55	1° 02' 42"	349	渡辺 栄一	新潟県
56	1° 03' 56"	376	佐藤 隆信	大分県
57	1° 04' 03"	369	網本 浩明	山口県
58	1° 04' 17"	343	ファニト・ミンガレニ	フィリピン
59	1° 04' 27"	354	鎌田 成利	徳島県
60	1° 04' 35"	337	渡邊 昭次	大分県
61	1° 04' 49"	493	チェン・シンリエン	中国
62	1° 04' 57"	396	阿部 一雄	愛知県
63	1° 05' 17"	478	マイケル・ミルズ	アメリカ
64	1° 05' 18"	360	能島 孝洋	岡山県
65	1° 06' 23"	356	外山 賢司	新潟県
66	1° 06' 58"	346	城間 圭亮	沖縄県
67	1° 07' 09"	394	高田 智康	大阪府
68	1° 07' 13"	374	平野 勝博	熊本県
69	1° 07' 14"	353	原田 耕一	大分県
70	1° 07' 14"	477	岩井 清孝	大阪府
71	1° 07' 15"	391	外山 智功	宮崎県
72	1° 07' 17"	380	後 義春	福井県
73	1° 07' 18"	395	加須屋 正和	石川県
74	1° 07' 56"	400	坂口 茂行	熊本県
75	1° 07' 57"	488	佐野 純一郎	京都府
76	1° 08' 02"	348	田川 義則	長崎県
77	1° 08' 12"	370	橋本 修二	愛媛県
78	1° 08' 27"	408	宮田 実	福岡県
79	1° 09' 17"	424	山田 卓平	島根県
80	1° 09' 51"	366	名田 雅稔	兵庫県
81	1° 10' 44"	448	田中 浩貴	兵庫県

日本記録：副島 正純 (福岡県)  
 大会記録：渡辺 習輔 (大分県)

## ●T34/53/54 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	54' 33"	333	マニュエラ・シャー	イスラエル
2	1° 01' 50"	347	小西 恵子	兵庫県
3	1° 03' 41"	390	サンドラ・ラッシュ	アメリカ
4	1° 04' 22"	362	竹下 いづみ	神奈川県
5	1° 06' 43"	379	宮本 美紀	岡山県
6	1° 08' 42"	372	正中 かおり	兵庫県
7	1° 10' 56"	483	有屋田 智香	大分県

日本記録：畠中 和 (兵庫県)  
 大会記録：土田 和歌子 (東京都)

順位 Rank	記録 Time	ナンバー Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
82	1° 11' 00"	486	川尻 信二	佐賀県
83	1° 11' 18"	410	ジャワド・アルワディ	バーレーン
84	1° 11' 23"	440	奥山 幸之助	岡山県
85	1° 12' 04"	423	藤田 啓彦	福井県
86	1° 12' 08"	393	津嶋 廣美	宮崎県
87	1° 12' 13"	387	酒井 俊二	愛知県
88	1° 12' 14"	399	高安 修	沖縄県
89	1° 14' 08"	405	杉浦 武幸	愛知県
90	1° 15' 10"	422	デイナ・ハールボソン	カナダ
91	1° 16' 54"	418	山田 武一	鳥取県
92	1° 17' 22"	413	石原 三男	島根県
93	1° 18' 02"	411	森 勝利	広島県
94	1° 18' 30"	425	岡部 誠	山梨県
95	1° 18' 47"	409	イアン・ゲイニー	オーストラリア
96	1° 18' 56"	427	野中 守	大分県
97	1° 19' 22"	499	吉田 俊彦	宮崎県
98	1° 20' 09"	421	河原 健太朗	愛知県
99	1° 20' 27"	492	竹内 信広	熊本県
100	1° 21' 12"	403	中島 聖治	大阪府
101	1° 21' 18"	439	岡田 勇	埼玉県
102	1° 21' 28"	444	田中 成明	愛媛県
103	1° 21' 50"	489	有馬 将平	愛知県
104	1° 23' 52"	454	松本 千太郎	大分県
105	1° 25' 21"	402	坪井 樹	群馬県
106	1° 25' 40"	445	藤原 大記	愛知県
107	1° 26' 04"	352	アッバス・モシェイマ	バーレーン
108	1° 27' 55"	458	矢野 光孝	宮崎県
109	1° 28' 19"	417	永野 勝志	鹿児島県
110	1° 29' 42"	415	木部 純	大分県
111	1° 31' 11"	459	中島 隆之	岡山県
112	1° 31' 22"	432	伊藤 虎吉	愛媛県
113	1° 31' 24"	438	玉井 亨	岐阜県
114	1° 35' 28"	368	加地 剛	大阪府
115	1° 35' 59"	453	升上 政一	北海道
116	1° 37' 00"	482	北野 博	福井県
117	1° 38' 47"	476	安野 祐平	鳥取県
118	1° 41' 37"	465	福角 宣弘	大阪府
119	1° 43' 05"	463	外山 實	宮崎県
120	1° 43' 16"	485	小倉 國夫	愛知県
121	1° 46' 08"	457	西田 豊	鹿児島県
122	2° 00' 13"	475	宇賀治 孝一	大分県
—	未 完走	336	杉尾 良一	大分県
—	未 完走	351	城 隆志	大分県
—	未 完走	388	木下 正隆	熊本県
—	未 完走	401	田村 亮	兵庫県
—	未 完走	449	大濱 正浩	大阪府

41' 56" 2008 リスボン  
 44' 37" 2003 第23回大分国際

順位 Rank	記録 Time	ナンバー Number Card	氏 Name	都道府県／国／地域 Countries/Territories
8	1° 11' 34"	389	伊達 喜代子	福井県
9	1° 21' 09"	414	加治 良美	愛知県
10	1° 26' 21"	490	大庭 由紀乃	愛知県
11	1° 35' 50"	451	伊藤 安江	山口県
12	1° 49' 06"	470	二井 華恵	広島県
13	1° 51' 40"	479	加藤 由貴	山口県

48' 56" 2000 福井ハーフ  
 49' 36" 2000 第20回大分国際

## 【大会スケジュール】

時 刻	11月12日(金)	11月13日(土)	11月14日(日)
9:00			00 ウォームアップ
30			
10:00			30 選手整列開始 40 交通規制開始 57 スタート地点整列完了
30			
11:00	00 コース下見		00 マラソンスタート 03 ハーフマラソンスタート
30			45 ハーフトップフィニッシュ見込
12:00		00 選手受付・クラス分け (大分県庁舎)	20 マラソントップフィニッシュ見込
30		45	
13:00		00 選手記者会見 (大分県庁舎)	10 ハーフフィニッシュ地点閉鎖 00 マラソンフィニッシュ地点閉鎖
30		00	
14:00			20 閉会式 (大分市営陸上競技場)
30			10
15:00		30	
30			
16:00	00 記念式典 (大分県庁舎)	00 開会式～パレード (大分市ガレリア竹町ドーム広場)	
30	50		
17:00	00 車いすマラソンセミナー (大分県庁舎)	交歓のタベ	
30		00	
18:00			
30			
19:00			

# 【記念行事】

世界最高峰の車いすマラソン大会の30回目の開催を記念する行事を大分県庁舎新館で開催した。

## 1 記念式典 平成22年11月12日（金）16:00～16:50

（目的）世界最高峰の車いすマラソン大会の30回目の開催を記念して式典を開催し、大会に貢献していただいた団体や連続出場選手を表彰するとともに、これまでの歴史を振り返り、本大会のさらなる発展をめざす。

（プログラム）

記念ビデオ上映「第30回記念大分国際車いすマラソン大会 30年の軌跡」

- ・開式のことば
- ・主催者あいさつ 大会会長 大分県知事 広瀬 勝貞
- ・来賓あいさつ 大分県議会議長 安部 省祐
- ・大会功労者感謝状授与

### 【30回永続功労（12団体・個人）】

大分県障害者スポーツ指導者協議会 大分国際車いすマラソン通訳ボランティアCan-do  
大分市交通指導員連合会 有限会社大分タキ 学校法人平松学園大分東明高等学校  
医療法人恵愛会大分中村病院 大分陸上競技協会 木部 清美 白石 白雲齋  
社会福祉法人太陽の家 日本赤十字社大分県支部 陸上自衛隊第41普通科連隊

### 【20回以上功労（13団体）】

株式会社大分銀行 大分県信用組合 国立大学法人大分大学医学部  
大分市情報学習センター映像サークル大分ビデオクラブ オムロン株式会社  
ソニー株式会社 本田技研工業株式会社 三菱商事株式会社 株式会社デンソー  
株式会社トキハ 日本マクドナルド株式会社 株式会社豊和銀行  
学校法人後藤学園楊志館高等学校

- ・連続出場選手表彰状授与

### 【30回連続出場選手（7名）】

藤川 泰博（兵庫県） 吉松 時義（大分県） 吉川 勇（大分県） 原田 耕一（大分県）  
宇賀治 孝一（大分県） 津嶋 廣美（宮崎県） 外山 實（宮崎県）  
(以上都道府県・ナンバーカード順)

### 【25回以上出場選手10名】

工藤 金次郎（徳島県）29回 杉尾 良一（大分県）29回 永尾 嘉章（兵庫県）27回  
森 勝利（広島県）27回 松本 千太郎（大分県）27回 松永 洋一（長崎県）26回  
富川 文男（山口県）25回 山口 悟志（愛媛県）25回 宮田 実（福岡県）25回  
伊東 浩之（長崎県）25回 (以上出場回数・都道府県順)

### 【外国人最多出場選手】

ハインツ・フライ（スイス）24回

- ・閉式のことば

## 2 車いすマラソンセミナー 平成22年11月12日（金）17:00～18:30

（目的）記念行事の一環で車いすマラソンセミナーを開催し、より質の高い情報交換及び提言発信の機会を設ける。

（プログラム）

- ・開会あいさつ
- ・基調報告

「車いすマラソンを速く走る秘訣、教えます！！」

和歌山県立医科大学 リハビリテーション科 教授 田島 文博

- ・パネルディスカッション

「トップランナーからのメッセージ！OITAから世界へ・・・」

パネリスト（大会参加選手・50音順）

ハインツ・フライ（スイス） ハインリッヒ・クーベール（ドイツ）

廣道 純（大分県） 山本 行文（熊本県）

コーディネーター

和歌山県立医科大学 げんき開発研究所 主任 三井 利仁

- ・閉会あいさつ

（以上敬称略）

## 【開会式次第】

平成22年11月13日(土) ガレリア竹町ドーム広場

順序	式 次 第	時 刻	備 考
1	協賛企業紹介	15：55～	
2	開式通告	16：00	ファンファーレ（大分県警察音楽隊）
3	大会副会長あいさつ	16：01	大会副会長 大分県副知事 二日市 具正
4	地元市長あいさつ	16：07	大会副会長 大分市長 釘宮 磐
5	主催者・来賓紹介	16：13	
6	ウエルカムソング	16：16	TAEKO with OMRON DIALOGUE CHOIR
7	選手宣誓	16：21	選手代表 ハインツ・フライ（スイス）
8	閉式通告	16：24	

## 【開会式関連イベント】

イ べ ン ト	場 所	時 間	備 考
パレード	右記コース	16：25 ～16：55	ガレリア竹町ドーム広場～赤レンガ通商店街 ～セントポルタ中央町商店街～竹町通商店街
交歓の夕べ	若草公園	16：55 ～18：00	歓迎あいさつ 大分県障がい者体育協会 会長 首藤 忍 協賛企業紹介 アトラクション（カトリック海星幼稚園、もちまき、 TAEKO with OMRON DIALOGUE CHOIR） 歓談、食事

## 【スタート次第】

平成22年11月14日(日) 大分県庁前

順序	式 次 第	時 刻	備 考
1	競技係員・協力者集合	8：30	
2	ウォームアップ開始	9：00	
3	競技役員集合	10：00	大分陸上競技協会審判員（大分市庁舎中庭）
4	ウォームアップ終了	10：30	
5	選手整列開始	10：30	
6	スタート地点交通規制開始	10：40	
7	選手整列完了	10：45	
8	スタート地点選手誘導開始	10：50	大分東明高校吹奏楽部による先導
9	選手ラインアップ完了	10：57	
10	マラソンスタート	11：00	スターター：大分市長 釘宮 磐
11	ハーフマラソンスタート	11：03	スターター：厚生労働大臣政務官 岡本 充功

## 【閉会式次第】

平成22年11月14日(日)大分市営陸上競技場

順序	式 次 第	時 刻	備 考
1	式典係員・協力者集合	13:20	
2	選手団・役員集合開始	14:00	
3	選手団・役員集合完了	14:15	
4	式典準備完了	14:15	
5	開式通告	14:20	
6	成績発表 (ハーフマラソンの部)	14:21	ハーフマラソン審判長 大分陸上競技協会 幸重 和治
7	表彰 (ハーフマラソン) 男子T51(1位~3位) 女子T33/52,男子T33/52(1位~3位) 女子T34/53/54(1位~3位) 男子T34/53/54(1位~3位)	14:26	表彰者 大会役員・来賓の方々
8	成績発表 (マラソンの部)	14:36	マラソン審判長 大分陸上競技協会 後藤 昌一
	表彰 (マラソン)	14:41	表彰者
9	男子T51(1位) 女子T33/52,男子T33/52(1位~3位) 女子T34/53/54(1位~3位) 男子T34/53/54(1位~3位)		大会役員・来賓の方々
10	表彰 (大分県知事賞) マラソン国内、県内 1位	14:58	大分県知事 広瀬 勝貞
11	大会会長あいさつ	15:00	大会会長 大分県知事 広瀬 勝貞
12	皇太子殿下お言葉	15:05	
13	国旗・県旗・大会旗降納	15:09	
14	閉会宣言	15:10	
15	閉式通告	15:10	大会実行委員長 大分県福祉保健部長 高橋 勉
16	入賞選手インタビュー・写真撮影		
17	選手退場	15:20	

## 【記念事業】

第30回記念大分国際車いすマラソン大会の開催を広く周知し、大会開催の気運を高めていく目的で、多くの関係者の方々とともに、次の事業を県内各地で行った。

### 1 「おでかけワークショップ」（平成22年5月～平成23年3月）

障がい者スポーツ先進県・大分の素晴らしさを、次の世代を担う小中学生に伝えていくため、県内各地の小中学校（約60校）を会場に、車いすマラソン選手等による講演、レーサー（競技用車いす）の試乗体験及び車いすマラソンを中心とした障がい者スポーツの写真展等を開催した。

その後、本取組を通じて大会の観戦を希望した小中学校を、レース当日（11月14日）に大分市営陸上競技場へ招待した。

### 2 「写真・エッセーコンテスト」

30年の歴史を刻んできた大分国際車いすマラソン大会にちなんだ写真・エッセーを事前に広く募集し、県民の関心を喚起するとともに、集まった写真等を大会前後に大分市内で展示し、第30回記念大会の開催に向け気運を高めた。

（展示期間）平成22年9月21日（火）～27日（月）

（展示会場）大分市アートプラザ アートホール

（展示内容）①写真の部・・・・・・コンテスト応募作品（入賞13作品含む全126作品）

　障がい者スポーツ写真家 越智貴雄氏の作品 等

②エッセーの部・・・・入賞5作品

③第1回～第30回の大会ポスター及び大分合同新聞の記事

### 3 その他の記念イベント等

（1）「プレイベント」の開催

（平成22年10月3日（日） 大分市 トキハわさだタウン）

（選手トークショー、写真展ほか関連イベント開催）

（2）子ども科学体験実証施設「O-Labo」内協賛企画展

（平成22年11月11日（木）～14日（日） 大分市 ガレリア竹町商店街）

（レーサーの展示（※（株）ホンダ太陽協力）、写真展、過去の大会映像の紹介）

（3）記念バナー、横断幕の設置

（平成22年10月～11月 大分市・別府市の関係商店街及び商業施設）

（4）県内の主要公共施設に記念大会用の臨時看板等設置

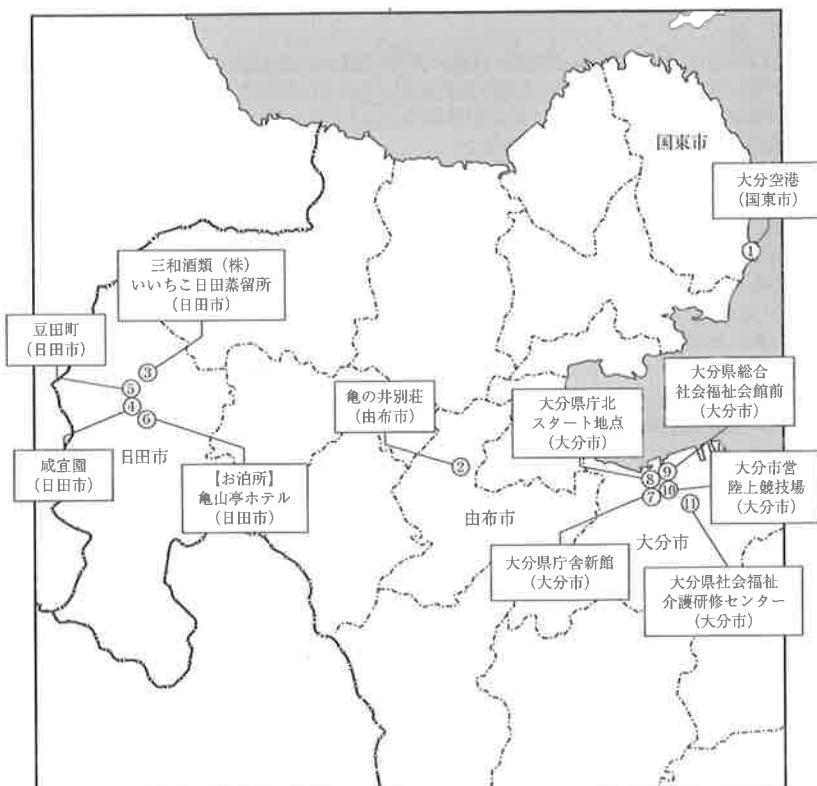
（平成22年10月～11月 大分空港及び大分駅内）

（大分空港：車いすマラソン選手オブジェを設置、大分駅：写真展を同時開催）

（5）大分県内の児童福祉施設等を車いすマラソン選手が訪問、交流

（平成22年11月～12月 大分県内4施設）

## 【行啓箇所図】



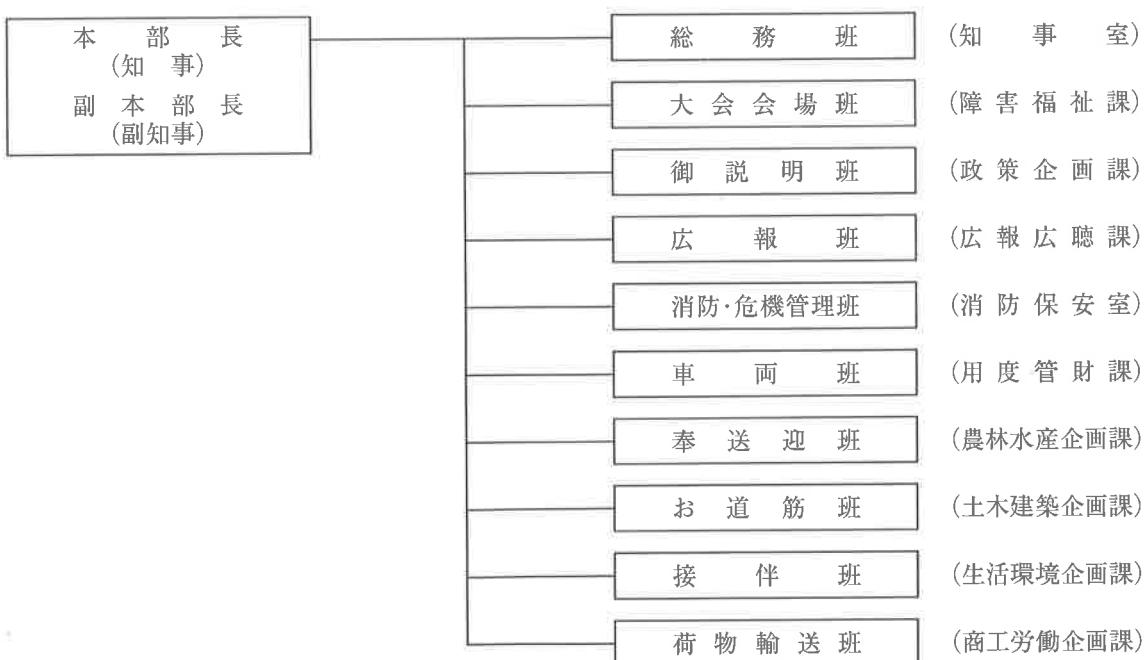
【第1日 11月13日（土）】

- ①大分空港
- ②亀の井別荘
- ③三和酒類（株）いいちこ日田蒸留所
- ④咸宜園
- ⑤豆田町
- ⑥お泊所（亀山亭ホテル）

【第2日 11月14日（日）】

- ⑥お泊所（亀山亭ホテル）
- ⑦大分県庁舎新館
- ⑧大分県庁北スタート地点
- ⑨大分県総合社会福祉会館前
- ⑩大分市営陸上競技場
- ⑪大分県社会福祉介護研修センター
- ⑫大分空港

## 【大分行啓事務本部組織図】



班	職
総務班 大会会場班 御説明班 広報班 消防・危機管理班 車両班 奉送迎班 お道筋班 接伴班 荷物輸送班	知事室 障害福祉課 政策企画課 広報広聴課 消防保安室 用度管財課 農林水産企画課 土木建築企画課 生活環境企画課 商工労働企画課

# 第30回記念大分国際車いすマラソン大会実施要綱

## 1 目的

この大会は、日本国内及び外国・地域の身体に障がいのある方が車いすマラソンを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く県民が障がいのある方についての関心と理解を深めることを目的とする。

## 2 名称

第30回記念大分国際車いすマラソン大会

## 3 主催

大分県、財団法人日本障害者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会、日本身体障害者陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、財団法人自治総合センター、大分県障がい者体育協会

## 4 公認

国際パラリンピック委員会

(この大会は、IPC Athletics Approved Event として公認を受けている。マラソンについては、IPC Athletics 選手ライセンス登録が完了し、かつ、国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、IPC Athletics の公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、IPC Athletics の公認対象ではない。)

## 5 主管

大分陸上競技協会

## 6 後援

外務省、厚生労働省、大分県教育委員会、大分市教育委員会、財団法人大分県体育協会、社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、社団法人大分県理学療法士協会、NHK大分放送局、株式会社大分放送、株式会社テレビ大分、OAB大分朝日放送、株式会社エフエム大分

## 7 協賛

オムロン株式会社、ソニー株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、新日本製薬株式会社、株式会社大分銀行、株式会社ベスト電器、株式会社ビー・ピー・シー、南九州コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社富士通エフサス、株式会社九電工、大分みらい信用金庫、株式会社ジョイフル、キヤノン株式会社、富士通株式会社、株式会社アソウ・ヒューマニーセンター、モキチアンドパートナーズ株式会社

## 8 協力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、国立大学法人大分大学、国立別府重度障害者センター、医療法人社団恵愛会大分中村病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県障害者スポーツ指導者協議会、KLMオランダ航空会社、株式会社日本航空、全日本空輸株式会社、九州旅客鉄道株式会社

## 9 日時

平成22年11月12日(金)

16時00分～16時50分 記念式典(大分県庁舎新館14階)  
17時00分～18時30分 車いすマラソンセミナー(大分県庁舎新館14階)

平成22年11月13日(土)

11時00分～12時40分 コース下見(大分城址公園発着)  
12時00分～15時30分 選手受付・クラス分け(大分県庁舎本館1階)  
16時00分～ 18時00分 パレード・交歓の夕べ(若草公園)

平成22年11月14日(日)

9時00分～10時20分 手荷物・生活用車いすの受付(大分城址公園)  
9時00分～10時20分 競技用車いすの検定(大分文化会館北側)  
9時00分～10時30分 ウォームアップ(大分市役所北側)  
10時30分～10時50分 プレラインアップ(大分市役所東側)  
11時00分 マラソンスタート(大分県庁前)  
11時03分 ハーフマラソンスタート(大分県庁前)  
14時20分～ 閉会式・表彰(大分市営陸上競技場)

## 10 実施種目及びコース

マラソン(42.195km) 大分市内(日本陸上競技連盟公認コース)  
ハーフマラソン(21.0975km) 大分市内(日本陸上競技連盟公認コース)

## 11 参加資格

(1) マラソン参加選手にあっては、以下の者とする。

①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本身体障害者陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者

②外国・地域選手については、車いす使用者で、かつ各の国際パラリンピック委員会に加盟した団体、またはそれに該当する団体に登録した者で、主催者が認定した者

(2) ハーフマラソン参加選手にあっては、以下の者とする。

①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者

②外国・地域選手については、車いす使用者で主催者が認定した者

(3) 上記については、平成22年11月14日現在、満14歳以上の者とする。

## 12 競技規則

2010-2011 IPC ATHLETICS競技規則、平成22年度日本身体障害者陸上競技連盟競技規則及び別に定める本大会競技規則による。

## 13 クラス分け

(1) マラソン、ハーフマラソンとも以下のクラスに分ける。

T51、T33/52、T34/53/54(3クラス)

(2) クラス分けが必要な選手については、受付において判定する。

なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、IPC Athletics の国際クラスとしては承認されるものではない。

## 14 ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

## 15 表彰

(1) 表彰は、マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に1位から3位までとする。

(順位決定には、IPC Athleticsにおける公認や選手登録の有無は影響しない。)

(2) マラソンの部においては、一定以上の成績をあげた選手に対して、賞金を授与する。金額については、各クラス1位の選手を50万円とし、その他の対象選手及び賞金額については、別に定める。

## 16 申込方法

参加申込書に必要事項を明記し、顔写真2枚を添付の上、平成22年8月31日(火)までに大会事務局あて送付すること(当日消印有効。なお、メールによる申込みの場合は、顔写真の画像ファイルを1枚添付すればよい)。

## 17 競技中の事故

競技中に事故が発生した場合には、応急の処置については主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする(健康保険証を持参すること)。

また、傷害保険の加入については、主催者において行う。

## 18 雨天時の取扱い

雨天時においても原則として競技を実施する。

## 19 健康管理

出走における健康管理については、自己責任とする。

## 20 個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は、個人情報保護に関する法令を遵守する。

なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

## 21 大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害福祉課内、大分県障がい者体育協会に置く。

所在地 (〒870-8501) 大分市大手町3丁目1番1号

電話番号 097-533-6006

FAX 097-506-1740

大分国際車いすマラソン大会事務局メールアドレス

[kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp](mailto:kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp)

大分国際車いすマラソン大会ホームページURL(アドレス)

<http://www.kurumaisu-marathon.com/>

## 第30回記念大分国際車いすマラソン大会競技規則

- 1 本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
- 2 マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし時間差は3分とする(男女共通)。
- 3 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 4 本大会では、種目(マラソン・ハーフマラソン)、クラス又は性別の異なる選手の背後を追走する行為(ドラフティング)を禁止する。
- 5 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 6 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。
- 7 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられるものとする。ただし、競技者に有利になるような介助は受けたはならない。
- 8 競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
- 9 競技者は、走行中、腕章をつけた明確に識別できる公式医務員及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
- 10 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならぬ。
- 11 クラス分けについては、別紙クラス分け表による。
- 12 関門の制限時間を次のとおり設ける。  
(マラソンの部)  
5km地点………30分00秒 15km地点………1時間00分00秒  
30km地点…2時間00分00秒 フィニッシュ地点…3時間00分00秒  
(ハーフマラソンの部)  
5km地点………27分00秒 10km地点………57分00秒  
15km地点…1時間27分00秒 フィニッシュ地点…2時間07分00秒  
制限時間を超えた競技者は、直ちに収容車に収容する。
- 13 水の供給については、次のとおりとする。
  - (1) 水供給所を次のとおり設ける。  
マラソンの部…10km、20km、30km、40km地点付近  
ハーフマラソンの部…10km、20km(マラソン40km地点と兼ねる)地点付近
  - (2) 主催者が用意するものは水だけとし、清涼飲料水は準備しない。
  - (3) 競技者は、主催者が設けた場所以外で他人から飲食物やスponジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員の介助を受けてよい。
- 14 車いすについては、2010-2011 IPC ATHLETICS競技規則及び平成22年度日本身体障害者陸上競技連盟競技規則の規定を適用する。
- 15 本大会では、ドーピング検査を実施する。

### 【参考】

#### 「車いすトラック競技に関する規定」

(2010-2011 IPC ATHLETICS競技規則から抜粋)

- 車いすは最低でも2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
- 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出でてはならず、また2つの後輪の車軸を結んだ幅より広く突き出でてはならない。車いす本体の地面からの高さは最高50cmとする。
- 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出でてはならない。
- 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70cm、50cmを超えてはならない。
- 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。片腕で車いすを操作する競技者については、診断書及び大会へのエントリー用紙に記載されていれば、この規則を変更することができる。
- 車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。
- 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。
- 800m以上のすべてのレースでは、競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。
- トラック及び道路競技ではミラーの使用を禁止する。
- 車いすは招集場で測定され、競技開始前にその場を離れることはできない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始または終了後に競技役員が再検査することがある。
- 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなくてはならない。
- 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
- 競技役員は、何よりも車いす及びそれを使用する競技者の安全性に責任を持たなくてはならない。

## 【別紙】 クラス分け表

### T51

- 肘の屈筋及び手首の背屈筋が機能する。肘の伸筋は機能するが(筋力3以下)手首の掌屈筋は機能しない。肩関節が弱い場合がある(神経機能残存レベル C 6)。

### T33/52

#### T33

- 中程度四肢麻痺か三肢麻痺か重度な片麻痺で車いす使用。上肢のみで車いす駆動。利き腕はほぼ正常である。上肢の痙性の程度は2+である。
- クラス3と4を区別するために、車いすの駆動時の体幹運動と手指機能は重要である。もし、選手が駆動動作に早い体幹運動を行う際に非常に劣った能力や、又は著しい非対称的な上肢動作、前進加速を妨げるような握りやリリースを示す場合、彼らはクラス3である。

#### T52

- 肘の屈筋と伸筋、手首の背屈筋及び手の掌屈筋が機能する。大胸筋が機能する。手内筋の萎縮あり(神経機能残存レベル C 7 / 8)。
- 車いす常用。筋力や運動性の低下。片上肢または両上肢に痙性あり。

### T34/53/54

#### T34

- 両麻痺(diplegia)で車いすを上肢で駆動する。体幹のバランスや上肢機能良好。体幹の痙性の程度は2から1。上肢はときどき正常に見える。
- 手の細かな動きの影響を受けるかもしれないが、選手は、早いつかみ動作とリリースで、長く、力強いストロークを行うことが可能である。車いす駆動の推進の間、これらの細かな運動は、必須でない。前後方向への強い体幹運動は、車いす駆動動作の腕のストローク動作をサポートする。これらの運動が起こらないならば、体幹はよくバランスが保たれて、腕の動作のために安定した土台を形成する。車いすがカープする時、体幹はバランスを崩さずに車いすに続く。

#### T53

- 両上肢機能正常又はほぼ正常。腹筋と下部背筋の機能がない。(神経機能残存レベル T 1 ~ T 7)。

#### T54

- 両上肢正常。通常体幹の回旋ができる、腹筋が機能する(神経機能残存レベル T 8 ~ S 2)。又は準ずる機能障害のあるもの。両下肢の筋力が合計70点以下。
- 両大腿切断・片大腿切断・両下腿切断・片下腿切断(足関節離断含む)。

(※)詳しいことは、IPC ATHLETICS CLASSIFICATION HANDBOOK 2006をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。

<http://ipc-athletics.paralympic.org/Classification/>

## 【大会役員】(Executive Committee Members)

大会会長	大分県知事	勝	貞正夫
副会長	大分県副知事	具	造磐健源
副会長	財団法人日本障害者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会	勲	忍男
副会長	日本身体障害者陸上競技連盟	徳	二則馬
副会長	大分市長	会長	貞正健郎
副会長	大分合同新聞社	長	行樹郎
副会長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	代表取締役社長	二利美夫
副会長	大分県障がい者体育協会	会長	一彦悟
顧問	オムロン株式会社	会長	隆昭
顧問	大分陸上競技協会	代表取締役社長	三勉
顧問	大分県教育委員会	会長	美明治源夫
顧問	大分市教育委員会	教長	行義基
顧問	財団法人大分県体育協会	育長	夫伸男
顧問	社団法人大分県身体障害者福祉協会	長	明司
顧問	社会福祉法人大分合同福祉事業団	理長	美司
顧問	社会福祉法人太陽の家	事長	美治源夫
顧問	大分県警察本部	本部長	行義基
顧問	陸上自衛隊第41普通科連隊	連隊長	二利美夫
参考	大分県土木建築部	部長	一彦悟
参考	大分県警察本部交通部	部長	隆昭
参考	大分市土木建築部	部長	三勉
参考	財団法人日本障害者スポーツ協会	理事・技術委員長	美明治源夫
参考	財団法人日本障害者スポーツ協会	理事・医学委員長	行義基
参考	大分合同新聞社	取締役副社長	二利美夫
参考	大分合同新聞社	常務取締役	一彦悟
参考	大分合同新聞社	取締役編集局長	隆昭
参考	大分合同新聞社	職能連絡会議本部委員長	三勉
参考	大分合同新聞社	事業局長	美明治源夫
参考	国立別府重度障害者センター	所長	行義基
委員長	大分県福祉保健部	部長	二利美夫
副委員長	大分県福祉保健部	審議監	一彦悟
副委員長	大分市福祉保健部	部長	隆昭
副委員長	大分合同新聞社事業局	次長	三勉
副委員長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	常務理事	美明治源夫
副委員長	大分陸上競技協会	理事長	行義基
委員	大分県教育庁体育保健課	課長	二利美夫
委員	大分県障がい者体育協会	理事長	一彦悟
委員	大分県警察本部交通部交通規制課	課長	隆昭
委員	大分県警察本部交通部交通機動隊	隊長	三勉
委員	大分中央警察署	署長	美明治源夫
委員	大分東警察署	署長	行義基
委員	大分市福祉保健部障害福祉課	課長	二利美夫
委員	大分市教育委員会事務局スポーツ・健康教育課	課長	一彦悟
委員	大分合同新聞社事業部	次長	隆昭
委員	大分陸上競技協会	総務部長	三勉
委員	大分県障害者スポーツ指導者協議会	会長	美明治源夫
委員	国立別府重度障害者センター	運動療法士長	行義基
委員	社会福祉法人太陽の家	健康推進課長	二利美夫
委員	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	福祉リハ部	一彦悟
委員	大分国際車いすマラソン通訳ボランティアCan-do	代表	隆昭
委員	財団法人日本障害者スポーツ協会	医学委員	三勉

## 【国際パラリンピック委員会】(IPC-Athletics)

Technical Delegate(技術代表) 三井 利仁  
 Classifier(クラス分け委員) 坂本 恵子

# 【競技役員】(Race Officials)

(◎は主任、○は副主任)

総務	務員	濱本 俊夫 羽田野 明美 小俣 秀之 首藤 英俊 橋本 和秀 後藤 昌一 ◎稲津 喜英 ◎下城 重喜 ◎田中 義博 決勝審判員 計時員 スタッフ 記録道 競技者 国外競技者 外気象 アバランサ 役員 庶務 表場用收容医 ドーピング検査係 ク拉斯分け 車いす検定係 補助員	田崎 弘宣 石橋 壽利 糸長 晴治 橋松 真明 河野 信治 関 幸生 (日本身体障害者陸上競技連盟) 和治(ハーフ) 仙藏(マラソンB) 栗林 敏勝(ハーフB) 大庭 富紀 石井マサ子 石井 正見 渕 俊伸 増村 栄彦 添田 順子 西中須智美 甲斐 忠行 西 親則 松崎 安男 井上 啓司 阿南 和美 大神 孝雄 鹿島田勝春 阿部 光佳 遠坂 洋行 小間 敏子 石川 康寿 高橋孝一郎 田中 嘉弘 宗秋(ハーフ) 高波 静一 船越 武典 藤丸 俊之(決勝・計時補助員20名) 磐(大分市長) 岡本 充功 (厚生労働大臣政務官) 西村 義弘 今石 幸雄 ○中島 益章(ハーフ) 山本 豊 長瀬 寛 元彦(マラソン) 東 富雄(記録) 河野 照和(記録) 大西 竜一(カメラ) 稻垣 清市 ○足立 達哉 神田 収 宅野 成喜 甲斐 浩嗣 丸尾 直彦 羽田野二郎 ○三代 寿子 栗林寿美子 財津 広記 村本 隆司 井上 準治 古庄 英之 鳥倉 秀聖 高場ひとみ 佐野 敏廣 川野 賢明 瀧石 裕一 (補助員3名) 若杉 豊 高橋 明美 國廣 征男 長光 一則 生野 都 大分県立病院 社会福祉法人太陽の家 厚生連鶴見病院 農協共済別府リハビリテーションセンター 永富脳神経外科病院 伊東 清信 ○川野奈緒美 中村 健治 森松 高弘 汐月 友典 三宅美智子 小原 貴敬 日本身体障害者陸上競技連盟クラス分け委員 橋本 和秀(日本身体障害者陸上競技連盟)(兼) 幸生(日本身体障害者陸上競技連盟)(兼) 石井知由美 大分府高等学校(27名) 大分上野丘高等学校(16名) 楊志館高等学校(14名) 大分雄城台高等学校(10名) 大分東明高等学校(10名)
----	----	--	--

## 閑門役員

マラソン 5 km	◎仲摩 昇 大矢 久雄 吉川 正文 ◎三代 照良 堀田 幸忠	○川下喜代人 岡田真一郎 日名子義生 石井 博	志賀 良信 財津美紀夫 (補助員4名) 柳井 國明 (補助員4名)	中 間 点	◎柴北 育昌 ○中村 小野	野田 一重 川津 一 (補助員2名)
ハーフ 5 km	◎生野 都 大分県立病院 社会福祉法人太陽の家	大分大学医学部 厚生連鶴見病院	25km	◎梶原 清美 ○中村 小野	政子 明美 橋本 瑞美 (補助員2名)	
王子折返し点	◎宮成 昭義	立藤 整	山口 美利 (補助員4名)	久原折返し点	◎仲摩 勝春 堤 佳世	柴島 貴司 (補助員2名)
マラソン 10 km	◎堤 紘一 井上 達夫 永尾 利栄	○濱崎義日出 江藤 好隆 吉田 重俊	宮崎 保敏 志賀 哲哉 (補助員4名)	30km	◎笠村 紗允 ○阿南 山本	憲治 秀能 俊彦(補助員2名)
ハーフ 10 km	◎村上 孝生 高瀬 渡辺 渡辺 利彦	○諸田 義信 財津 高喜	成松好一郎 (補助員4名)	35km	○板井 新一 高瀬 哲生	○東本 廣津 坂巻 謙子 川野 浩 (補助員2名)
三佐折返し点	◎戸曾 正博 小田 恵一 高山 定	尾越 嘉臣	山本 修 (補助員2名)	40km	◎今野 利洋 阿南 光典	○橋本 壇 孝之 伸也 首藤 徹 梶原 五男 (補助員2名)
マラソン 15 km	◎菅田 俊介 高山 定	○甲斐 強 松浦 良一	上久保 晃 長峰 徳幸 (補助員2名)	10km	◎宮脇 清夫 ○諫山 新美	○佐藤 慎司 ○村西 宮崎 慎二 勝哉 横浜 正 山口 将司 (補助員3名)
ハーフ 15 km	◎河野 富穂 古田 義彦 松門字金雄	○山口 計 河野 勉	松浦 利美 柴田 金吾 (補助員2名)	20km (マラソン)	○上川 初美 溝口 誠志	○野々上 照男 永井 義隆 染矢 瞳 権田 夏美 (補助員3名)
マラソン 20 km	◎猪原 孝一 川野 恵子	○須磨 長禧 尾熊 昭二	井上淳之助 村中佐都子 (補助員2名)	30km	○後藤 信徳 橋木野愛理	○板井 一哲 近藤 誠 山本 利光 中島 純一 (補助員3名)
ハーフ 20 km	◎幸 文教 宮川喜久生	○渡辺 弘 伊藤由紀子	佐藤 晃 森 誠一 (補助員2名)	40km	○久寿米木雄二 小野 千里 松山 隆晴	○武内 三朗 川野 智美 拂川 真寿 (補助員3名)

## 給水係

10km	◎宮脇 清夫 ○諫山 新美	○佐藤 慎司 ○村西 宮崎 慎二 勝哉 横浜 正 山口 将司 (補助員3名)
20km (マラソン)	○上川 初美 溝口 誠志	○野々上 照男 永井 義隆 染矢 瞳 権田 夏美 (補助員3名)
30km	○後藤 信徳 橋木野愛理	○板井 一哲 近藤 誠 山本 利光 中島 純一 (補助員3名)
40km	○久寿米木雄二 小野 千里 松山 隆晴	○武内 三朗 川野 智美 拂川 真寿 (補助員3名)

## 途中審判

●長浜 交差	●津留 交差	●商業高校前 交差	●中島十条 交差	●新川 交差	●浜町 交差	●春日浦 交差	●王子町 交差	●新日鐵前 交差
●点大重幹男 ●点中島勝憲 ●点工藤英信 ●点宿利雄二 ●点河津里美 ●点阿部翔 ●点柳井幸子 ●点長尾麻梨奈 ●点後藤大輔	●点大重幹男 ●点中島勝憲 ●点吉原純司 ●点伊東拓哉 ●点後藤猛志 ●点中浦楓 ●点吉村孝義 ●点酒井宏 ●点岩永雄介	●点杉本飛鳥 ●点杉本和之 ●点吉原純司 ●点伊東拓哉 ●点中浦楓 ●点吉村孝義 ●点酒井宏 ●点岩永雄介	●点三海橋西交差点 ●点三海橋東交差点 ●点三佐田交差点 ●点下鶴崎交差点 ●点住化南門交差点 ●点徳島ガード下交差点 ●点大野川大橋入口交差点 ●点大分医療センター入口交差点 ●点竹下入口交差点 ●点久原入口交差点 ●点大在公共埠頭入口交差点	●点三海橋西交差点 ●点三海橋東交差点 ●点三佐田交差点 ●点下鶴崎交差点 ●点住化南門交差点 ●点徳島ガード下交差点 ●点大野川大橋入口交差点 ●点大分医療センター入口交差点 ●点竹下入口交差点 ●点久原入口交差点 ●点大在公共埠頭入口交差点	御手洗利彦 正行 長谷部俊喜 大塚充洋 後藤和久 奥下美保 薬師寺昇 橋本忠義 小山建 中島英利 内田貞美 池部聖人 川津雅昭 江田重寿	月野隼人 長谷部俊喜 大塚充洋 後藤和久 奥下美保 薬師寺昇 橋本忠義 小山建 中島英利 内田貞美 池部聖人 川津雅昭 江田重寿		
●点大重幹男 ●点中島勝憲 ●点吉原純司 ●点伊東拓哉 ●点後藤猛志 ●点中浦楓 ●点吉村孝義 ●点酒井宏 ●点岩永雄介	●点大重幹男 ●点中島勝憲 ●点吉原純司 ●点伊東拓哉 ●点後藤猛志 ●点中浦楓 ●点吉村孝義 ●点酒井宏 ●点岩永雄介	●点三海橋西交差点 ●点三海橋東交差点 ●点三佐田交差点 ●点下鶴崎交差点 ●点住化南門交差点 ●点徳島ガード下交差点 ●点大野川大橋入口交差点 ●点大分医療センター入口交差点 ●点竹下入口交差点 ●点久原入口交差点 ●点大在公共埠頭入口交差点	●点三海橋西交差点 ●点三海橋東交差点 ●点三佐田交差点 ●点下鶴崎交差点 ●点住化南門交差点 ●点徳島ガード下交差点 ●点大野川大橋入口交差点 ●点大分医療センター入口交差点 ●点竹下入口交差点 ●点久原入口交差点 ●点大在公共埠頭入口交差点	御手洗利彦 正行 長谷部俊喜 大塚充洋 後藤和久 奥下美保 薬師寺昇 橋本忠義 小山建 中島英利 内田貞美 池部聖人 川津雅昭 江田重寿	月野隼人 長谷部俊喜 大塚充洋 後藤和久 奥下美保 薬師寺昇 橋本忠義 小山建 中島英利 内田貞美 池部聖人 川津雅昭 江田重寿			
●点大重幹男 ●点中島勝憲 ●点吉原純司 ●点伊東拓哉 ●点後藤猛志 ●点中浦楓 ●点吉村孝義 ●点酒井宏 ●点岩永雄介	●点大重幹男 ●点中島勝憲 ●点吉原純司 ●点伊東拓哉 ●点後藤猛志 ●点中浦楓 ●点吉村孝義 ●点酒井宏 ●点岩永雄介	●点三海橋西交差点 ●点三海橋東交差点 ●点三佐田交差点 ●点下鶴崎交差点 ●点住化南門交差点 ●点徳島ガード下交差点 ●点大野川大橋入口交差点 ●点大分医療センター入口交差点 ●点竹下入口交差点 ●点久原入口交差点 ●点大在公共埠頭入口交差点	●点三海橋西交差点 ●点三海橋東交差点 ●点三佐田交差点 ●点下鶴崎交差点 ●点住化南門交差点 ●点徳島ガード下交差点 ●点大野川大橋入口交差点 ●点大分医療センター入口交差点 ●点竹下入口交差点 ●点久原入口交差点 ●点大在公共埠頭入口交差点	御手洗利彦 正行 長谷部俊喜 大塚充洋 後藤和久 奥下美保 薬師寺昇 橋本忠義 小山建 中島英利 内田貞美 池部聖人 川津雅昭 江田重寿	月野隼人 長谷部俊喜 大塚充洋 後藤和久 奥下美保 薬師寺昇 橋本忠義 小山建 中島英利 内田貞美 池部聖人 川津雅昭 江田重寿			

## その他

日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導者(大分県障害者スポーツ指導者協議会)

# 国・地域別参加者数 1

国・地域名 COUNTRIES&TERRITORIES	第1回				第2回				第3回				第4回				第5回				第6回							
	ハーフマラソン				マラソン				ハーフマラソン				マラソン				ハーフマラソン				マラソン							
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	男	女	小計	男	女	男	女	小計	男	女	男	女	小計	男	女	男	女	小計		
アルゼンチン	ARGENTINA																											
オーストラリア	AUSTRALIA	1	1						1					4	1		5	2		1		3	4	1		5		
オーストリア	AUSTRIA	3	3	1	1	1	1							1					1									
バーレーン	BAHRAIN				2	2										2		2		4		4						
バルバドス	BARBADOS																											
ベルギー	BELGIUM				2	2			2					2	2		1	3	3			3	1			1		
ブラジル	BRAZIL																1	1		1		1						
ブルネイ	BRUNEI																											
カンボジア	CAMBODIA																											
カナダ	CANADA						1	1	5					5	6	1		7	5		3	8	7	1		8		
中国	CHINA																2	2		2		2		2		2		
コロンビア	COLOMBIA																											
コスタリカ	COSTARICA																											
チェコ	CZECH																											
チェコスロバキア	CZECHOSLOVAKIA																											
デンマーク	DENMARK																					1		1				
エクアドル	ECUADOR																											
エルサルバドル	EL SALVADOR																											
斐ジー	FIJI	3	3	2	2																							
フィンランド	FINLAND																											
フランス	FRANCE															1		1	1		1	1		1		1		
ドイツ	GERMANY				2	2	1							1	1			1				1		1		1		
イギリス	GREAT BRITAIN															3	1		4	2		2		1	1	2		
香港	HONG KONG													2	2		2	3	5	2		3	5		2	2		
インドネシア	INDONESIA				3	3															1	1						
イラン	IRAN																											
アイルランド	IRELAND																											
イスラエル	ISRAEL																											
イタリア	ITALY																											
カザフスタン	KAZAKHSTAN																											
韓国	KOREA	3	3	2	2				3		3					4		4	1	2	3		2		2			
クウェート	KUWAIT	2	2						3		3					5		5		7	7	1		5		6		
キルギス	KYRGYZ																											
レバノン	LEBANON																											
マカオ	MACAO	3	3					2	2		4		1		3		4		4	4		5		5				
マレーシア	MALAYSIA																				1	1	1			1		
モーリシャス	MAURITIUS																											
メキシコ	MEXICO																											
モンゴル	MONGOLIA																											
モロッコ	MOROCCO																											
ミャンマー	MYANMAR																											
ナミビア	NAMIBIA																											
オランダ	NETHERLANDS															1			1									
ニューカレドニア	NEW CALEDONIA																	1	1	2	1	3	1	5	1	4	5	
ニュージーランド	NEW ZEALAND	3	1	4	3	3												1	1		2	1	3	1	5	1	4	5
ニカラグア	NICARAGUA																											
ノルウェー	NORWAY	2	2							1		1	1															
オマーン	OMAN																											
パキスタン	PAKISTAN																											
パナマ	PANAMA																											
パプアニューギニア	PAPUA NEW GUINEA																											
ペルー	PERU																											
フィリピン	PHILIPPINES																											
ポーランド	POLAND																											
ポルトガル	PORUGAL																											
カタール	QATAR																											
ロシア	RUSSIA																											
シンガポール	SINGAPORE	2	2															2	2		4	4		4	4			
スロバキア	SLOVAK																											
南アフリカ	SOUTH AFRICA																											
スペイン	SPAIN																											
スリランカ	SRI LANKA	1	1	1	1	2					1		1					1	1									
スウェーデン	SWEDEN	5	5	4	2	6										2	1		3					1			1	
スイス	SWITZERLAND	1	1				2							2	3			3	2	1		3	2			2		
チャイニーズタイペイ	CHINESE TAIPEI																											
タンザニア	TANZANIA																											
タイ	THAILAND																											
トンガ	TONGA																											
チュニジア	TUNISIA																											
ウガンダ	UGANDA																											
ソビエト	U.S.S.R.																											
アラブ首長国連邦	U.A.E																											
アメリカ	U.S.A	9	4	13	1	1	2	2		1	5		1	1	1		3				1	1	1			1		
ベトナム	VIET NAM																											
ジンバブエ	ZIMBABWE																											
海外 計	75カ国・地域	38	5	43	24	3	27	14	2	14	1	31	26	6	25	3	60	20	1	33	5	59	20	3	24	3	50	
日本	JAPAN	72	2	74	86	5	91	40	1	42	4	87																

## 国・地域別参加者数2

国・地域名 COUNTRIES&TERRITORIES	第7回				第8回				第9回				第10回				第11回				
	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女		
アルゼンチン	ARGENTINA					1	1	2							1			1		1	
オーストラリア	AUSTRALIA	3			3	1			1	1			1	7	1	8	12			12	
オーストリア	AUSTRIA					1			1	2			2	2		2	1			1	
バーレーン	BAHRAIN					1		1		3		3									
バルバドス	BARBADOS																				
ベルギー	BELGIUM	1			1								1		1	2	1		1	3	
ブラジル	BRAZIL	2	1	3	2	2	6	1		2	3	1	1	2	4			1	1		
ブルネイ	BRUNEI					1		1									2		2		
カンボジア	CAMBODIA																				
カナダ	CANADA	6	1	7	8			8	5		5	4			4	3	1	1	4		
中国	CHINA		3	1	4		1	1	2		2	2	4		2	2	4		2	2	
コロンビア	COLOMBIA					4		4	8												
コスタリカ	COSTARICA																				
チェコ	CZECH																				
チェコスロバキア	CZECHOSLOVAKIA																				
デンマーク	DENMARK	1		1	1	1	2			1	1	1	1	1	2	1	1	1	2		
エクアドル	ECUADOR																				
エルサルバドル	EL SALVADOR					1		1													
斐ジー	FJJI										2	2		1	1						
フィンランド	FINLAND																				
フランス	FRANCE					1		1	2			2									
ドイツ	GERMANY	1		1	3	1		4	1			1	1	1	2	2	1		3		
イギリス	GREAT BRITAIN	2		2				2			2	7			7	1			1		
香港	HONG KONG	1	1	2		1	2	3		1	2	3		1	1	2	4		1	1	
インドネシア	INDONESIA					1	1	2													
iran	IRAN										2	2						3		3	
アイルランド	IRELAND												1								
イスラエル	ISRAEL												1		1	1				1	
イタリア	ITALY										1		1								
カザフスタン	KAZAKHSTAN																				
韓国	KOREA	5	5	2	2			2			2	2			2	2		2		2	
クウェート	KUWAIT	1	4	5	2			2													
キルギス	KYRGYZ																				
レバノン	LEBANON																				
マカオ	MACAO	2	2		5	5			4	1	5			5	1	6		5	1	6	
マレーシア	MALAYSIA																	4	2	6	
モーリシャス	MAURITIUS																				
メキシコ	MEXICO	2	2	2	6	4	12	2		3	3	8	3		2	1	6		4	2	
モンゴル	MONGOLIA																				
モロッコ	MOROCCO																				
ミャンマー	MYANMAR																				
ナミビア	NAMIBIA																	2		2	
オランダ	NETHERLANDS								4	1		5	1	1		2	1			1	
ニューカaledニア	NEW CALEDONIA																				
ニュージーランド	NEW ZEALAND	1		1	1	1	2	1	1		2	2	4	6	1	2	3				
ニカラグア	NICARAGUA																				
ノルウェー	NORWAY							2	2												
オマーン	OMAN																				
パキスタン	PAKISTAN																				
パナマ	PANAMA																				
パプアニューギニア	PAPUA NEW GUINEA																				
ペルー	PERU												1		1		1		1		
フィリピン	PHILIPPINES	1		1	6		7								1	1					
ポーランド	POLAND																				
ポルトガル	PORTUGAL														1	1		1		1	
カタール	QATAR																				
ロシア	RUSSIA																				
シンガポール	SINGAPORE	5	1	6			1	1			2	1	3		7	1	8		2	1	
スロバキア	SLOVAK																				
南アフリカ	SOUTH AFRICA																1			1	
スペイン	SPAIN													2	1	3					
スリランカ	SRI LANKA						1		1					1	1	2		3		3	
スウェーデン	SWEDEN	2		2	3		1		4	3			3	2			2				
スイス	SWITZERLAND	3	1	4	1	1	1		3	1			1	6	1	7	2		2		
チャイニーズタイペイ	CHINESE TAIPEI												4	1		5		6	1	7	
タンザニア	TANZANIA						1		1												
タイ	THAILAND						1		1				2				2				
トンガ	TONGA												1	1		1	1	2			
チュニジア	TUNISIA																				
ウガンダ	UGANDA																				
ソビエト	U.S.S.R													2			2	4	1	5	
アラブ首長国連邦	U.A.E																				
アメリカ	USA	2		2	1		2	1	4	8	1	7	2	18	10	1	10	5	26	5	
ベトナム	VIET NAM																	3		8	
ジンバブエ	ZIMBABWE						1			1											
海外 計	75ヶ国・地域	25	4	22	3	54	31	2	44	14	91	34	2	30	14	80	65	6	43	17	131
日本	JAPAN	66	3	84	4	157	71	1	101	7	180	92	2	117	13	224	130	5	155	20	310
合 計	76ヶ国・地域	91	7	106	7	211	102	3	145	21	271	126	4	147	27	304	195	11	198	37	441
																	168	8	216	27	419

# 国・地域別参加者数3

国・地域名 COUNTRIES&TERRITORIES	第12回				第13回				第14回				第15回				第16回						
	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計			
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女				
アルゼンチン	ARGENTINA	1			1			3	3	1			1		1		1		2	2			
オーストラリア	AUSTRALIA	4			4	8			8	1			1	2	1		3	2	1		3		
オーストリア	AUSTRIA	1			1								1		1		1				1		
バーレーン	BAHRAIN																						
バルバドス	BARBADOS																						
ベルギー	BELGIUM		1	1				1	1			1	1	1	1		2	1			1		
ブラジル	BRAZIL		1	1	2							2	1	3			1	1		1	1		
ブルネイ	BRUNEI																						
カンボジア	CAMBODIA							2	2			1		1			1	1		1	1		
カナダ	CANADA	3			3	1				1	1	1		2	2	1		3					
中国	CHINA		2	1	3			2	1	3			1	1	2		1	1	2		2		
コロンビア	COLOMBIA											1									2		
コスタリカ	COSTARICA																				2		
チェコ	CZECH											1				1	1						
チェコスロバキア	CZECHOSLOVAKIA	1			1																		
デンマーク	DENMARK																	1	1				
エクアドル	ECUADOR																						
エルサルバドル	EL SALVADOR																						
斐ジー	FJII		2	2				2	2								2	2		2	2		
フィンランド	FINLAND																						
フランス	FRANCE	2			2	2				2	1			1	1			1	1		1		
ドイツ	GERMANY	1			1			1	1		1	1		2	1			1	1		1		
イギリス	GREAT BRITAIN	2			2	4	1			5	1			1	1								
香港	HONG KONG		2	2	4			2	1	3							1	1		1	1		
インドネシア	INDONESIA																						
iran	IRAN																						
アイルランド	IRELAND																						
イスラエル	ISRAEL																						
イタリア	ITALY															1		1	1		1		
カザフスタン	KAZAKHSTAN											1			1	1		1	1		1		
韓国	KOREA	1	1		3	3				2		2		1	1		1	1	5	6			
クウェート	KUWAIT																						
キルギス	KYRGYZ															1	1						
レバノン	LEBANON																						
マカオ	MACAO	4	1	5													3	1	4				
マレーシア	MALAYSIA																1	1		1	1		
モーリシャス	MAURITIUS																						
メキシコ	MEXICO							1	2	3	1	2	3	6		3	4	7	2	3	3		
モンゴル	MONGOLIA																			1	1		
モロッコ	MOROCCO																						
ミャンマー	MYANMAR																	1	1				
ナミビア	NAMIBIA							1	1			1	1										
オランダ	NETHERLANDS																						
ニューカaledニア	NEW CALEDONIA	2	2													1		1					
ニュージーランド	NEW ZEALAND	1	1	3						3						1		1	1	1	2		
ニカラグア	NICARAGUA																						
ノルウェー	NORWAY																						
オマーン	OMAN							2	2														
パキスタン	PAKISTAN							1	1			2	2			1	1						
パナマ	PANAMA																						
パプアニューギニア	PAPUA NEW GUINEA																						
ペルー	PERU															2	2		1	1			
フィリピン	PHILIPPINES	4	4					1	1							1		1		1			
ポーランド	POLAND															1		1					
ポルトガル	PORTUGAL	1	1					1	1			1	1	1			1		1	1			
カタール	QATAR	2	2																				
ロシア	RUSSIA	3		3																			
シンガポール	SINGAPORE	1	1	2				2	2							1		1					
スロバキア	SLOVAK																						
南アフリカ	SOUTH AFRICA	1			1	1				1	1			1	1			1					
スペイン	SPAIN															1	1		2	2			
スリランカ	SRI LANKA							2	2			1	1			2	1	3		2	2		
スウェーデン	SWEDEN		1	1				1		2	1			3	2		1	3	2		2		
スイス	SWITZERLAND	1			1	5				5	2			2	3		3	6			6		
チャイニーズタイペイ	CHINESE TAIPEI	2	1		3			2	1	3			2		2						1		
タンザニア	TANZANIA																						
タイ	THAILAND	1			1	1		3		4	1			1	2		2	4	4		4		
トンガ	TONGA									1	1												
チュニジア	TUNISIA																						
ウガンダ	UGANDA																1	1	1		1		
ソビエト	U.S.S.R.																						
アラブ首長国連邦	U.A.E									2	2												
アメリカ	U.S.A	4	8	12	5	7	12	2	7	9	6		9	1	16	2	6		8				
ベトナム	VIET NAM		1	1			1	1		1	1			2	2			1	1				
ジンバブエ	ZIMBABWE									1				1			1	1			1		
海外 計		75か国・地域	26	2	33	7	68	32	3	43	3	81	17	2	26	5	50	31	3	39	10	83	
日本	JAPAN		136	4	199	23	362	143	3	183	15	344	148	4	186	14	352	161	3	176	10	350	
合 計		76か国・地域	162	6	232	30	430	175	6	226	18	425	165	6	212	19	402	192	6	215	20	433	
																			190	4	197	18	409

# 国・地域別参加者数 4

国・地域名 COUNTRIES&TERRITORIES	第17回				第18回				第19回				第20回				第21回				
	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女		
アルゼンチン	ARGENTINA		1	1	2			1	1	2			2	4		1	1	4	5	1	6
オーストラリア	AUSTRALIA	2	1		3	2				2	2		2	4		4	4				4
オーストリア	AUSTRIA																				
バーレーン	BAHRAIN																	3	3		
バルバドス	BARBADOS																1	1		1	1
ベルギー	BELGIUM																				
ブラジル	BRAZIL	1			1								1	1					6	6	
ブルネイ	BRUNEI																				
カンボジア	CAMBODIA																				
カナダ	CANADA	1	1	1	3	3	2	1	6	3			3	4	2	1	1	8	7	2	10
中国	CHINA	1		3	2	6		4	2	6		3	1	4		3	1	4		3	1
コロンビア	COLOMBIA																				
コスタリカ	COSTARICA																				
チェコ	CZECH																				
チェコスロバキア	CZECHOSLOVAKIA																				
デンマーク	DENMARK							1		1					1	1		2	1		1
エクアドル	ECUADOR																				
エルサルバドル	EL SALVADOR	1			1	2			2				1	1							
フィジー	FJII		2		2			2		2			1	1							
フィンランド	FINLAND																				
フランス	FRANCE	8	1		9	2			2	5			5	2		2	6	1	7		7
ドイツ	GERMANY	1			1	1	1		2	1			1	1	1	2	3	1		4	
イギリス	GREAT BRITAIN															1	1				1
香港	HONG KONG																				
インドネシア	INDONESIA																				
イラン	IRAN																				
アイルランド	IRELAND																				
イスラエル	ISRAEL																				
イタリア	ITALY	1	1		2											1	1	1	1	1	2
カザフスタン	KAZAKHSTAN						1		1								1	1		1	
韓国	KOREA		7	7	3		1	4	3	1	4					5	5	1	7	3	8
クウェート	KUWAIT																				3
キルギズ	KYRGYZ																				3
レバノン	LEBANON																				
マカオ	MACAO		3	1	4	1		1	1	3											
マレーシア	MALAYSIA	2			2								1	1				2	2		
モーリシャス	MAURITIUS	1			1																
メキシコ	MEXICO	1		6	3	10	2		3	1	6	2			2	1	1	7	2	11	9
モンゴル	MONGOLIA																			1	1
モロッコ	MOROCCO																				
ミャンマー	MYANMAR																				
ナミビア	NAMIBIA																				
オランダ	NETHERLANDS	1			1																
ニューカaledニア	NEW CALEDONIA															1	1				
ニュージーランド	NEW ZEALAND	2		1	3	1			1								1	1		2	
ニカラグア	NICARAGUA																				
ノルウェー	NORWAY																				
オマーン	OMAN																				
パキスタン	PAKISTAN	1		1																	
パナマ	PANAMA														1	1					
パプアニューギニア	PAPUA NEW GUINEA																1	1			
ペルー	PERU						1		1							1	1	1	1		
フィリピン	PHILIPPINES	1	2	1	4			1	1								1	1	1	1	
ポーランド	POLAND														3	3	2	2	1	1	
ポルトガル	PORTUGAL														1	1					
カタール	QATAR																				
ロシア	RUSSIA						1	2	1	4	3	1	4	2		1	3				
シンガポール	SINGAPORE														1						
スロバキア	SLOVAK																				
南アフリカ	SOUTH AFRICA	1			1										1				1		1
スペイン	SPAIN			4	4			5	5				5	5			5	1	6		5
スリランカ	SRI LANKA		2		2			1	2	3			3	3			4	1	5		
スウェーデン	SWEDEN	2	1		1	4	1		1	2		1	1	2		1	1	2	3	2	1
イスス	SWITZERLAND	6	1	1	8	4	1			5	2	1	1	4	3	1	4	1	1	1	3
チャイニーズタイペイ	CHINESE TAIPEI							1	1			2	2	2		1	1		2	1	3
タンザニア	TANZANIA																				
タイ	THAILAND	4			4	4			4	2			2	2			2	4			4
トンガ	TONGA																				
チュニジア	TUNISIA																				
ウガンダ	UGANDA							1		2							1	1			
ソビエト	USSR																				
アラブ首長国連邦	U.A.E																				
アメリカ	U.S.A.	8		6	14	2		7	9	3	7		10	3	9	12	4	7		11	
ベトナム	VIET NAM																				
ジンバブエ	ZIMBABWE	1			1								1		1	1	1				
海外 計	75か国・地域	46	6	40	8	100	32	5	31	9	77	30	1	31	3	65	28	7	47	7	109
日本	JAPAN	147	3	168	15	333	165	3	173	16	357	134	3	165	15	317	136	4	172	16	328
合 計	76か国・地域	193	9	208	23	433	197	8	204	25	434	164	4	196	18	382	164	11	219	23	417

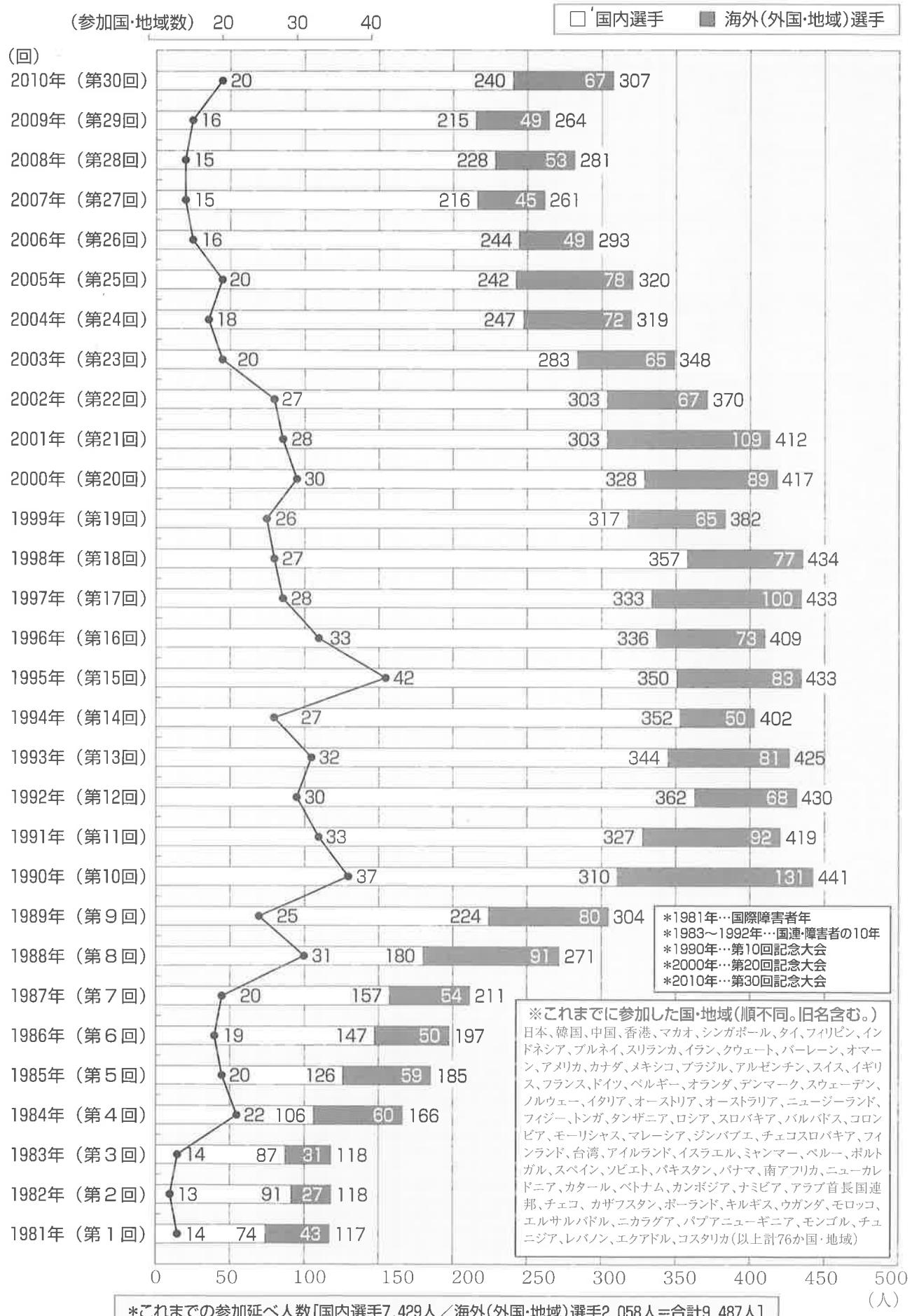
# 国・地域別参加者数 5

国・地域名 COUNTRIES&TERRITORIES	第22回					第23回					第24回					第25回					第26回					
	マラソン		ハーフマラソン			小計	マラソン		ハーフマラソン			小計	マラソン		ハーフマラソン			小計	マラソン		ハーフマラソン			小計		
	男	女	男	女	男		男	女	男	女	男		男	女	男	女	男		男	女	男	女	男	女		
アルゼンチン	ARGENTINA																									
オーストラリア	AUSTRALIA			1		1	1				1	3		6	1	10	2		6	2	10	3		7	1	11
オーストリア	AUSTRIA	1				1	1				1															
バーレーン	BAHRAIN			3		3																				
バルバドス	BARBADOS			1		1				1	1					1		1								2
ベルギー	BELGIUM																									
ブラジル	BRAZIL																									
ブルネイ	BRUNEI																									
カンボジア	CAMBODIA																									
カナダ	CANADA	3		1	4	5	1			6	6	2			8	4	1	3		8	2	1				3
中国	CHINA			4		4			4		4				2	2	4		2	1	3					3
コロンビア	COLOMBIA	1			1	1				1																
コスタリカ	COSTARICA																									
チェコ	CZECH																									
チエコスロバキア	CZECHOSLOVAKIA																									
デンマーク	DENMARK	1			1	1				1																
エクアドル	ECUADOR																									
エルサルバドル	EL SALVADOR	2			2																					
斐イジー	FIJI																									
フィンランド	FINLAND																									
フランス	FRANCE	6			6	9				9	6				6	5				5	3					3
ドイツ	GERMANY	3			3	3				3	2	1			3	2	1			3	2	1				3
イギリス	GREAT BRITAIN	1			1	1				1	1				1	1				1	2	1				1
香港	HONG KONG																									
インドネシア	INDONESIA																									
イラン	IRAN																									
アイルランド	IRELAND																									
イスラエル	ISRAEL																									
イタリア	ITALY	1			1	1				1	1				1	1	1			2	1					1
カザフスタン	KAZAKHSTAN																									
韓国	KOREA					4			5		9	4		4		8	8		3	1	12	3		3		6
クウェート	KUWAIT			3		3												4		4						
キルギス	KYRGYZ																									
レバノン	LEBANON																									1
マカオ	MACAO																									
マレーシア	MALAYSIA																									
モーリシャス	MAURITIUS																									
メキシコ	MEXICO	1	1	2	1	5	2	2	2	6	1		1	1	3				1	1	1					2
モンゴル	MONGOLIA															1	1									
モロッコ	MOROCCO																									
ミャンマー	MYANMAR																									
ナミビア	NAMIBIA																									
オランダ	NETHERLANDS																									
ニューカaledニア	NEW CALEDONIA																									
ニュージーランド	NEW ZEALAND	1			1	1				1	1		1		2	1				1						
ニカラグア	NICARAGUA																									
ノルウェー	NORWAY																			2						2
オマーン	OMAN																									
パキスタン	PAKISTAN																									
パナマ	PANAMA																									
パプアニューギニア	PAPUA NEW GUINEA																									
ペルー	PERU																									
フィリピン	PHILIPPINES																									
ポーランド	POLAND			1		1																				
ポルトガル	PORTUGAL																									
カタール	QATAR																									
ロシア	RUSSIA	2			2																					
シンガポール	SINGAPORE																									
スロバキア	SLOVAK																									
南アフリカ	SOUTH AFRICA	1			1	1				1	1				1	1		1	1		1	1				1
スペイン	SPAIN		5		5				5		5	1		3		4	3		2		5	3				3
スリランカ	SRI LANKA																									
スウェーデン	SWEDEN	1			1	2			1		1	2			1	1	2									
スイス	SWITZERLAND	3	1		4	3	1	1	1	5	1	2			3	2		1	3	2		2			4	
チャイニーズタイペイ	CHINESE TAIPEI		1	1	2																					
タンザニア	TANZANIA																									
タイ	THAILAND	1				1																				
トンガ	TONGA																									
チュニジア	TUNISIA	1				1																				
ウガンダ	UGANDA																									
ソビエト	U.S.S.R.																									
アラブ首長国連邦	U.A.E																									
アメリカ	U.S.A.	4	1	4	1	10	2		3	2	7	8		3	3	14	5		3	3	11	2	1		1	4
ベトナム	VIET NAM																									
ジンバブエ	ZIMBABWE																									
海外 計	75か国・地域	33	3	26	5	67	36	5	21	3	65	36	4	24	8	72	40	3	26	9	78	24	4	16	5	49
日本	JAPAN	123	3	162	15	303	104	6	161	12	283	101	4	131	11	247	1									

# 国・地域別参加者数 6

国・地域名 COUNTRIES&TERRITORIES	第27回					第28回					第29回					第30回					総 計							
	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計	マラソン		ハーフマラソン		小計			
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女		男	女	男	女				
アルゼンチン	ARGENTINA																				2		12	1	15			
オーストラリア	AUSTRALIA	2	5		7		6		6		3		3		6	2		6		8	83	4	45	4	136			
オーストリア	AUSTRIA										2		2		1		1				17		4		21			
バーレーン	BAHRAIN																			3			26		26			
バルバドス	BARBADOS																						5		5			
ベルギー	BELGIUM																					12		10		22		
ブラジル	BRAZIL																						3		3		3	
ブルネイ	BRUNEI																								5		5	
カンボジア	CAMBODIA																									5		5
カナダ	CANADA	2	1			3	4	2			6	3	2	1		6	1	2	1		4	104	24	13	3	144		
中国	CHINA		1	3		4		1	3		4					2	1	3		3	1	2	63	26	92			
コロンビア	COLOMBIA																				9		4		13			
コスタリカ	COSTARICA						1														2				2			
チェコ	CZECH																				2				2			
チェコスロバキア	CZECHOSLOVAKIA																				3				3			
デンマーク	DENMARK	1	1			2															6	7		5	18			
エクアドル	ECUADOR						1														1				1			
エルサルバドル	EL SALVADOR																				5		1		6			
斐ジー	FIJI																						21		21			
フィンランド	FINLAND																				1				1			
フランス	FRANCE						1				1									2	67	1	2		70			
ドイツ	GERMANY	2	1			3	3				3	1					1	3			3	42	10	5		57		
イギリス	GREAT BRITAIN	1				1															33	2	1	2	38			
香港	HONG KONG																				2	1	15	19	37			
インドネシア	INDONESIA																				5	1			6			
iran	IRAN																				5				5			
アイルランド	IRELAND																				1				1			
イスラエル	ISRAEL																				2				2			
イタリア	ITALY																				9	7			16			
カザフスタン	KAZAKHSTAN																				1	6			6			
韓国	KOREA	4		3	1	8	8	1	2		11	4		1		5	3				3	47	1	83	2	133		
クウェート	KUWAIT																				4		36		40			
キルギス	KYRGYZ																				1				1			
レバノン	LEBANON																				1				1			
マカオ	MACAO																				4	49	7		60			
マレーシア	MALAYSIA																				2	5			7			
モーリシャス	MAURITIUS																				1				1			
メキシコ	MEXICO	1		1		2	1				1	1				1	5				5	33	5	57	29	124		
モンゴル	MONGOLIA																					2				2		
モロッコ	MOROCCO																				1				1			
ミャンマー	MYANMAR																				5				5			
ナミビア	NAMIBIA																				2				2			
オランダ	NETHERLANDS																				8	2			10			
ニューカレドニア	NEW CALEDONIA																				2				4			
ニュージーランド	NEW ZEALAND																				20	2	27	2	51			
ニカラグア	NICARAGUA																					1				1		
ノルウェー	NORWAY																				3	3			6			
オマーン	OMAN																				4				4			
パキスタン	PAKISTAN																				6				6			
パナマ	PANAMA																				1				1			
パプアニューギニア	PAPUA NEW GUINEA																				1				1			
ペルー	PERU																				2				8			
フィリピン	PHILIPPINES															2	2				2	4		21	27			
ポーランド	POLAND																				1				8			
ポルトガル	PORTUGAL	1				1															1	4		6	10			
カタール	QATAR																				2				2			
ロシア	RUSSIA																				11	4	1		16			
シンガポール	SINGAPORE	1				1										1	1	1			1	2		32	6			
スロバキア	SLOVAK																				2		1		3			
南アフリカ	SOUTH AFRICA	1				1					1	1				1	1				1	17						
スペイン	SPAIN	4			2		1				3	3				3	3				3	21		44	2			
スリランカ	SRI LANKA																				1		26	5	32			
スウェーデン	SWEDEN																				24	12	11	15	62			
スイス	SWITZERLAND	2	2	4	2	1	1				4	3		2		5	3	1	2	1	7	76	10	20	2	108		
チャイニーズタイペイ	CHINESE TAIPEI																				6	2	17	5	30			
タンザニア	TANZANIA																					1			1			
タイ	THAILAND															4	2	6	3		3	38		10		48		
トンガ	TONGA																						3	1	4			
チュニジア	TUNISIA																					1			1			
ウガンダ	UGANDA																				2		2	1	5			
ソビエト	U.S.S.R.																				6	1			7			
アラブ首長国連邦	U.A.E																								2			
アメリカ	U.S.A	3			1	4	6	2			1	9	5	1		1	7	8	1	4	2	15	112	11	123	30	276	
ベトナム	VIET NAM																							6		6		
ジンバブエ	ZIMBABWE																				7				7			
海外 計	75か国・地域	25	4	14	2	45	30	7	15	1	53	28	3	16	2	49</												

## 参加者数の推移



# 歴代優勝者とその記録

	マラソン				ハーフマラソン			
	男子		女子		男子		女子	
	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位
第1回	—	—	—	—	ゲオルグ・フロイント	宇田津 幸男	マーシャ・ビバード	中村 広美
	—	—	—	—	オーストリア	大阪府	アメリカ	鹿児島県
	—	—	—	—	1° 01' 46"	1° 12' 42"	1° 21' 43"	1° 45' 20"
第2回	—	—	—	—	リック・ハンセン	松井 順一	モニカ・ペテルストロム	坂元 りつ子
	—	—	—	—	カナダ	長野県	スウェーデン	大阪府
	—	—	—	—	58' 30"	1° 08' 05"	1° 13' 26"	1° 35' 56"
第3回	グレコール・ゴンベック	山本 行文	キャンディス・ケーブル	—	ポール・アン・ウインケル	永尾 嘉章	幸塚 直子	—
	西ドイツ	大分県	アメリカ	—	ベルギー	兵庫県	石川県	—
	2° 07' 54"	2° 22' 20"	2° 35' 48"	—	1° 05' 24"	1° 17' 57"	1° 27' 53"	—
第4回	アンドレ・ヴィジエ	山本 行文	キャンディス・ケーブル	幸塚 直子	メシャリ・アル・オタビ	永尾 嘉章	ピン・チヨー	岩田 いつ子
	カナダ	大分県	アメリカ	石川県	クウェート	兵庫県	香港	愛知県
	1° 48' 25"	2° 00' 47"	2° 21' 09"	2° 38' 14"	58' 33"	1° 06' 33"	1° 21' 28"	1° 27' 24"
第5回	アンドレ・ヴィジエ	山本 行文	ガブリエル・シルト	—	ケルエル・マルチネス	宮居 昌彦	シャロン・フレネット	多智 利枝
	カナダ	大分県	スイス	—	メキシコ	和歌山県	アメリカ	東京都
	1° 49' 46"	2° 00' 48"	2° 46' 42"	—	59' 39"	1° 07' 36"	1° 14' 58"	1° 24' 35"
第6回	アンドレ・ヴィジエ	山本 行文	アンジェラ・イエリティ	多智 利枝	林 誠二	—	カレン・ウィルソン	岩田 いつ子
	カナダ	熊本県	カナダ	東京都	大阪府	—	イギリス	愛知県
	1° 45' 36"	1° 50' 05"	1° 58' 51"	3° 02' 16"	1° 00' 47"	—	1° 20' 38"	1° 22' 51"
第7回	アンドレ・ヴィジエ	山本 行文	アンジェラ・イエリティ	岩田 いつ子	サウル・メンドーサ	伊藤 平太	坂内 留美	—
	カナダ	熊本県	カナダ	愛知県	メキシコ	佐賀県	東京都	—
	1° 44' 18"	1° 53' 36"	2° 04' 31"	2° 42' 22"	56' 20"	1° 02' 16"	1° 19' 09"	—
第8回	ポール・クラーク	山本 行文	コニー・ハンセン	—	マヌエル・カサス	竹村 克明	イグリボラリツエン	坂内 留美
	カナダ	熊本県	デンマーク	—	メキシコ	埼玉県	デンマーク	東京都
	1° 38' 27"	1° 42' 42"	2° 05' 28"	—	55' 22"	1° 04' 06"	1° 09' 20"	1° 15' 40"
第9回	ムスタファ・バディ	山本 行文	ジャネット・ジャンセン	坂内 留美	ラジャ・シン	山田 和宏	イグリボラリツエン	畠中 和
	フランス	熊本県	オランダ	東京都	シンガポール	岡山県	デンマーク	兵庫県
	1° 40' 45"	1° 43' 21"	1° 48' 45"	2° 49' 09"	52' 58"	1° 01' 58"	58' 57"	1° 06' 45"
第10回	ハイツ・フライ	山口 悟志	ジャネット・ジャンセン	長谷川 尚美	ロベルト・フィグル	須田 伸太郎	デイアン・ソドマ	伊藤 由美
	スイス	大阪府	オランダ	兵庫県	ドイツ	山形県	アメリカ	東京都
	1° 39' 35"	1° 47' 07"	1° 47' 09"	1° 51' 31"	48' 26"	57' 06"	1° 00' 03"	1° 07' 10"
第11回	ハイツ・フライ	川島 誉	コニー・ハンセン	畠中 和	サウル・メンドーサ	中田 達也	イグリボラリツエン	伊藤 由美
	スイス	和歌山県	デンマーク	兵庫県	メキシコ	京都府	デンマーク	東京都
	1° 35' 46"	1° 45' 44"	1° 47' 45"	2° 02' 10"	49' 42"	55' 19"	1° 01' 54"	1° 07' 49"
第12回	クリップ・チャボット	山本 行文	リリー・アングレニー	畠中 和	ジェイコブ・ヘイルヴェイル	山見 誠治	モニカ・ペテルストロム	藤原 志保
	南アフリカ	熊本県	ドイツ	兵庫県	アメリカ	福岡県	スウェーデン	静岡県
	1° 35' 47"	1° 43' 29"	1° 48' 35"	1° 54' 28"	53' 47"	53' 47"	57' 06"	1° 06' 24"
第13回	ハイツ・フライ	中村 博之	モニカ・ペテルストロム	畠中 和	ホルヘ・ルナ・ゼベダ	野沢 英二	南野 教子	—
	スイス	大阪府	スウェーデン	兵庫県	メキシコ	青森県	福岡県	—
	1° 34' 35"	1° 39' 56"	1° 52' 06"	1° 56' 34"	47' 04"	50' 32"	1° 08' 02"	—
第14回	ハイツ・フライ	室塚 一也	シャンタル・ブティクレー	南野 教子	ジム・C・マーティンソン	野沢 英二	ド・ガルシア・エストラーダ	藤原 志保
	スイス	北海道	カナダ	福岡県	アメリカ	青森県	メキシコ	静岡県
	1° 30' 54"	1° 39' 09"	2° 01' 58"	2° 27' 35"	48' 07"	53' 05"	1° 05' 14"	1° 07' 52"
第15回	ハイツ・フライ	室塚 一也	畠中 和	—	エリック・ナイツエル	野沢 英二	コニー・ハンセン	櫻田 陽子
	スイス	北海道	兵庫県	—	アメリカ	青森県	デンマーク	神奈川県
	1° 22' 38"	1° 30' 54"	1° 44' 36"	—	46' 32"	49' 59"	55' 19"	59' 05"
第16回	ハイツ・フライ	廣道 純	ルイーズ・サヴァージュ	畠中 和	エリック・ナイツエル	西田 啓	土田 和歌子	—
	スイス	兵庫県	オーストラリア	兵庫県	アメリカ	長崎県	東京都	—
	1° 24' 24"	1° 31' 12"	1° 45' 03"	1° 48' 08"	47' 12"	47' 16"	55' 30"	—
第17回	ハイツ・フライ	室塚 一也	畠中 和	—	アロン・ゴルディアン	野沢 英二	奥山 京子	—
	スイス	北海道	兵庫県	—	メキシコ	青森県	山形県	—
	1° 24' 49"	1° 31' 34"	1° 39' 40"	—	45' 57"	51' 41"	54' 40"	—
第18回	ハイツ・フライ	室塚 一也	モニカ・ペテルストロム	土田 和歌子	エトラン・エルナンデス	渡辺 幹司	アリアデン・エルナンデス	高良 依子
	スイス	北海道	スウェーデン	東京都	メキシコ	大分県	メキシコ	沖縄県
	1° 26' 55"	1° 34' 51"	1° 51' 36"	1° 56' 34"	46' 37"	46' 40"	56' 16"	1° 00' 01"
第19回	ハイツ・フライ	室塚 一也	畠中 和	—	藤川 泰博	—	グニラ・ワレングレン	川島 由美
	スイス	北海道	兵庫県	—	兵庫県	—	スウェーデン	愛知県
	★1° 20' 14"	1° 31' 55"	1° 44' 31"	—	46' 50"	—	51' 30"	57' 09"
第20回	ハイツ・フライ	室塚 一也	畠中 和	—	エトラン・エルナンデス	藤田 英二	土田 和歌子	—
	スイス	北海道	兵庫県	—	メキシコ	山口県	東京都	—
	1° 22' 03"	1° 30' 32"	1° 42' 53"	—	46' 40"	46' 41"	* 49' 36"	—
第21回	ハイツ・フライ	廣道 純	土田 和歌子	—	渡辺 習輔	—	長澤 麻子	—
	スイス	大分県	東京都	—	大分県	—	山梨県	—
	1° 22' 20"	1° 29' 38"	* 1° 38' 32"	—	45' 01"	—	1° 02' 16"	—
第22回	ハイツ・フライ	廣道 純	土田 和歌子	—	ポール・ナナリー	寒川 進	ジェニール・ンドラッド	小峯 直美
	スイス	大分県	東京都	—	オーストラリア	京都府	スウェーデン	愛知県
	1° 25' 46"	1° 30' 20"	1° 44' 39"	—	47' 04"	47' 05"	58' 03"	1° 03' 30"
第23回	ジョエル・ジャノ	クルンゲル・ブランショ	土田 和歌子	—	渡辺 習輔	—	ジェニール・ンドラッド	小峯 直美
	フランス	大分県	東京都	—	大分県	—	スウェーデン	愛知県
	1° 25' 43"	1° 29' 59"	1° 40' 01"	—	* 44' 37"	—	1° 00' 59"	1° 03' 16"

★世界記録

\*大会記録

# 歴代優勝者とその記録

## マラソン

	男 子			女 子			国内1位
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54	
第 24 回	完走者なし	吉本 茂	エレンスト・ヴァン・ダイク	出走者なし	リサ・マリー・フランクス	ダイアン・ロイ	笹原 廣喜
		長野県	南アフリカ		カナダ	カナダ	大分県
	2° 04' 07"	1° 28' 03"		2° 10' 27"	1° 52' 25"	1° 28' 31"	
第 25 回	ステファン・ストローベル	伊藤 智也	エレンスト・ヴァン・ダイク	出走者なし	八巻 智美	ダイアン・ロイ	笹原 廣喜
	ドイツ	三重県	南アフリカ		福島県	カナダ	大分県
	2° 39' 46"	2° 00' 02"	1° 26' 37"	2° 19' 36"	1° 46' 07"	1° 26' 41"	
第 26 回	ステファン・ストローベル	伊藤 智也	笹原 廣喜	出走者なし	八巻 智美	畠中 和	笹原 廣喜
	ドイツ	三重県	大分県		福島県	兵庫県	大分県
	2° 36' 24"	1° 52' 36"	1° 24' 15"	2° 17' 49"	1° 39' 28"	1° 24' 15"	
第 27 回	ハイリッヒ・ケーベル	サンティアゴ・サンツ	エレンスト・ヴァン・ダイク	出走者なし	八巻 智美	土田 和歌子	山本 浩之
	ドイツ	スペイン	南アフリカ		福島県	東京都	福岡県
	2° 40' 09"	* 1° 43' 46"	1° 23' 22"	2° 09' 50"	1° 38' 55"	1° 23' 22"	
第 28 回	完走者なし	上与那原 寛和	ハンソイツ・フライ	出走者なし	八巻 智美	アマンダ・マグローリー	副島 正純
		沖縄県	スイス		福島県	アメリカ	福岡県
		1° 47' 17"	1° 26' 06"	★ 2° 07' 28"	1° 43' 33"	1° 27' 36"	
第 29 回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ	ハンソイツ・フライ	出走者なし	シェル・スタイルウェル	土田 和歌子	山本 浩之
		スペイン	スイス		カナダ	東京都	福岡県
		1° 47' 37"	1° 25' 46"	2° 21' 16"	1° 39' 35"	1° 26' 12"	
第 30 回	ステファン・ストローベル	上与那原 寛和	マンセル・フグ	出走者なし	シェル・スタイルウェル	アマンダ・マグローリー	洞ノ上 浩太
	ドイツ	沖縄県	スイス		カナダ	アメリカ	福岡県
	* 2° 32' 36"	1° 50' 22"	1° 23' 28"	2° 30' 52"	1° 44' 38"	1° 23' 30"	

## ハーフマラソン

	男 子			女 子			
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54	
第 24 回	濱添 要	吉野 真旨	渡辺 習輔	出走者なし	クリステン・メサー	川島 由美	
	大分県	兵庫県	大分県		アメリカ	兵庫県	
	1° 49' 31"	1° 07' 04"	46' 05"		2° 07' 16"	54' 33"	
第 25 回	濱添 要	森島 英樹	渡辺 習輔	完走者なし	要田 美紀	川島 由美	
	長崎県	兵庫県	大分県		東京都	兵庫県	
	1° 34' 05"	1° 11' 16"	47' 17"		1° 16' 16"	54' 56"	
第 26 回	濱添 要	上与那原 寛和	吉田 高志	完走者なし	要田 美紀	リュー・ウェンユン	
	長崎県	沖縄県	大分県		東京都	中国	
	1° 32' 51"	* 53' 59"	45' 06"		1° 13' 29"	53' 55"	
第 27 回	濱添 要	森島 英樹	吉田 高志	完走者なし	佐藤 由加	宮本 美紀	
	長崎県	兵庫県	大分県		岡山県	岡山県	
	1° 32' 56"	1° 05' 53"	45' 24"		1° 12' 57"	1° 00' 55"	
第 28 回	濱添 要	浜上 悟	渡辺 習輔	完走者なし	佐藤 由加	高崎 瑞喜	
	長崎県	石川県	大分県		岡山県	東京都	
	1° 36' 26"	1° 04' 00"	46' 51"		1° 12' 37"	1° 02' 12"	
第 29 回	濱添 要	松本 直幸	西原 宏明	出走者なし	木山 由加	リュー・ウェンユン	
	長崎県	福岡県	京都府		岡山県	中国	
	1° 36' 29"	1° 07' 38"	45' 21"		1° 11' 58"	55' 17"	
第 30 回	濱添 要	佐藤 仁志	渡辺 習輔	出走者なし	木山 由加	マニュエラ・シャー	
	長崎県	岡山県	大分県		岡山県	スイス	
	1° 31' 31"	1° 10' 14"	45' 11"		1° 12' 11"	54' 33"	

★世界記録

\*大会記録



# 偉大な選手名鑑



ゲオルグ・フロイント(オーストリア)  
GEORG FREUND (Austria)

第1回大会男子総合優勝  
(ハーフマラソン)



マーシャ・ビバード(アメリカ)  
MARCIA BEVARD (U.S.A.)

第1回大会女子総合優勝  
(ハーフマラソン)



グレゴール・ゴロンベック(西ドイツ)  
GREGOR GOLOMBEK (West Germany)

第3回大会マラソン男子総合優勝  
(初のフルマラソン)



キャンデス・ケーブル(アメリカ)  
CANDACE CABLE (U.S.A.)

第3回大会マラソン女子総合優勝  
(初のフルマラソン)



幸塚直子(石川県)  
KOUZUKA NAOKO (Japan)

日本人初優勝  
(第3回大会ハーフマラソン女子総合優勝)



山本行文(熊本県)  
YAMAMOTO YUKIFUMI (Japan)

マラソン男子総合で8度の国内1位  
(第3~9回、12回大会)  
最高位は総合4位(第5、6回大会)



故 アンドレ・ヴィジエ(カナダ)  
ANDORE VIGER (Canada)

マラソン男子総合4連覇  
(第4~7回大会)



林誠二(大阪府)  
HAYASHI SEIJI (Japan)

ハーフマラソン男子日本人初優勝  
(第6回大会)



ハインツ・フライ(スイス)  
HEINZ FREI (Switzerland)

マラソン男子総合10連覇、14度の優勝  
(第10、11、13~22、28、29回大会)  
世界記録保持者



室塚一也(北海道)  
MUROZUKA KAZUYA (Japan)

マラソン男子総合で日本人として初の3位  
入賞(第14回大会)  
6度の国内1位(第14、15回、17~20回大会)



畠中和(兵庫県)  
HATANAKA KAZU (Japan)

マラソン女子総合及びT53/54で  
5度優勝(第15、17、19、20、26回大会)



廣道純(大分県)  
HIROMICHI JUN (Japan)

マラソン男子総合で日本人として初の2位  
入賞(第16回大会)  
3度の国内1位(第16、21、22回大会)



土田和歌子(東京都)  
TSUCHIDA WAKAKO (Japan)

マラソン女子総合及びT53/54で5度優勝  
(第21~23回、27、29回大会)  
日本記録保持者



笹原廣喜(大分県)  
SASAHARA HIROKI (Japan)

マラソン男子T53/54で日本人初優勝  
(第26回大会)  
3度の国内1位(第24~26回大会)



八巻智美(福島県)  
YAMAKI TOMOMI (Japan)

マラソン女子T52で5度の優勝  
(第23回、25~28回大会)  
世界記録保持者



エレンスト・ヴァン・ダイク(南アフリカ)  
ERNST VAN DYK (South Africa)

マラソン男子T53/54で3度の優勝  
(第24、25、27回大会)



# 初めて賞金を導入

## 新たな時代到来

19面に続く

1981年の「国際障害者年」を記念して始まった大分国際車いすマラソン大会（大分県、日本障害者ス

過去29回に計76カ国・地域から延べ9180人のランナーが出場。超一流選手が集う世界最大規模の大会に成長し、国内の車いすマ

# 前へ

第30回 大分国際車いすマラソン

ボーツ協会・日本パラリンピック委員会、大分合同新聞など主催）は11月14日、大分市で30回目の号砲が鳴り響く。

大会は社会福祉法人「太陽の家」（別府市）の創設者、故・中村裕博士が提唱、世界初となる車いす単独の国際レースとしてスタートした。

ラソンでは唯一、国際パラリンピック委員会の公認レースとしても脚光を浴びる。

今秋の第30回記念大会には国内外から約350人がエントリー。フルマラソンに初の賞金（優勝50万円など）が設けられ、参加者の年齢下限が16歳から14歳に引き下げられるなど、新たな時代の到来を告げる節目のレースにもなる。

大分県で生まれ、世界へと羽ばたき続ける国際大会。ランナーや関係者の思いを伝える。（24回続き）



第30回記念大分国際車いすマラソン大会は11月14日に開かれる  
(写真は昨年の第29回大会で、雨の中を熱走する選手たち)

# 「今」を生きる力

前へ

第30回大分国際自転車いすマラソン

一面から綴く

「幸せ」って何だろう。最近  
よく耳にする言葉がある。

めぐらへくぐれは進します

（写真：吉松時義）

第一部「象徴」①

## すべての人にチャンス



【プロフィール】オムロン大尉（別府市）の初代工場長。現在は「太陽の家」理事、自身は日本財團上級技術顧問会長。宇佐市出身。

（写真：

吉松時義）

Qはまくらしきう

バッく人生が脚りた。

\* 来月14日。記念すべき30回目

の開幕が秋夜に響く。

世界で飾つてアフリカ

もあれば、重慶慶音のランナ

ーも走る。「太陽」はすべての

流れ、仲間との出会い、治療の医療

後の達成感。

今年もまだ42歳。

「幸せ」がやつて来る。

（敬称略）

ラソンは勝利。勝負にこだわるべきだ！ 中村裕博（手）としのぎアーチ・プロイント選手（オーストリリア）が別王者に。

平成22年10月10日(日) 大分合同新聞朝刊

第一部「象徴」②

前へ

第30回大分国際自転車いすマラソン

今、樂つていません。だから、夫婦が一緒に増えた。夫婦での街歩きで知らない人が少なくなったが、自分には自分がついた。城間圭亮、14歳。中学生3年生は11歳で登校する。



【プロフィール】奈良県立大和高田高等学校卒業。自転車いすマラソン大会優勝者。

最年少ランナー 城間圭亮(14)

美ら海(ちゅらうみ)に延びる海岸道路をひた走る。時折、下地蔵コロナ(左)だけが見られる。月14日が待ち遠しい。

大会。「レース」は日本語か、どうやら「出たい」

考えただけで胸が躍る。

\*

年に試乗したのがきっかけ。年から参加年齢の下限が16歳になった。「怖か?」など、「から日齢に干ばつだ。

早く走れて面白かった」と「出られるぞ。大分に行く

下地蔵(右)は驚く。「いいよ誰だけや止むだ

つセブスあるな」

最年少ランナーはハーフ

年の12月、アコギーの地

ソシグで金メダルを取つ

すぐに技術を吸収した。そ

に出発する。「将来はパリ

大会「おのねまつり」

元大会「おのねまつり」

で、苦労を経て走れる父さ

け」。その想いは「学級に

じう運賀を盛るなら」、社説頭

行の「お嬢だいた」、うつも胸

に同じ年代のライバルがはな

くなつた。

そこは少年の心を燃やさない

は小学校5年生の3学期。

県内の「運」も兼ね備えている。

大分大会は、第30回記念の今

（敬称略）

第3回大会(1983年) 国際ストーク・マンデビル由险子子園改選の公認車となる。フルマラソンが導入され、西日本伊豆本県、当時はまだ県広域)が国内1位の栄光をつかんだ。

大会の歩み

平成22年10月11日(月) 大分合同新聞朝刊



## 第一部 象徴 ⑤



第30回大分国際車いすマラソン

誰にも負けてたくない。  
ひだりむぎな感じだけではなく、運  
なき運を切り開いてきた。された先輩者が、1998年の  
大分大会で3度のフルマラ  
ン全国1位(第3回ま  
聖火リレーの最終走者を生さ  
れて)で優勝。障害者スポーツ界で「山本行文」の名を知ら  
ない人はいないだろう。

現在、日本身体障害者選手会にいたい。  
医療運営課長事務官。55歳になつた  
"ミスター車いす"。と呼ば  
た今でも「原点」は変わつて  
分のねがちです。

## 「大分は五輪をしのべ」

### 先輩者 山本 行文(55)

大学の講義や海外での講演活動に馳わる。  
「出張者はどこかに楽しんで走つてしまい。

【アプロフィル】第6回大会で日本人として初めて2時間の壁を越えた。妻・吉さん(49)は元池詠がランティア。今大会は7年ぶりにハイア出席予定。熊本市在住。

自衛官だった。渡米場で採石作業中、土砂崩れで脊椎を骨折した。その後は常に腰痛で毎日車いすで第一回大会に出場。転院し、脳梗塞で第2回大会で命に別れを喰らった。今年は第30回記念大会だ。

「出張してよく世界民間組織の活動を見たり、車いすで世界選手権の観戦や海外での講演活動に馳わる。血が騒ぐことがある。

【アプロフィル】第6回大会で日本人として初めて2時間の壁を越した。妻・吉さん(49)は元ハイア出席予定。熊本市在住。

【大会の歩み】

平成22年10月15日(金) 大分合同新聞朝刊

## 第一部 象徴 ⑥



第30回大分国際車いすマラソン

けがをする毎は「努力と根  
性」が信条だった。  
今は違う。「やられた感じ」感覚は  
をやめた。「心が決めた」  
昨年、生まれ育った福岡市  
から大分へ移り生んだ。今大  
会が初挑戦だ。

\*  
15歳で「人生のひび壁」を  
くじわった。事故から蘇る  
うじ、障害の天井が見えた。あ  
る。大谷を卒業し、地元・鹿  
児島市内で就職したもの。  
「何が行き詰まっていた」。  
退院後、車いす生活が始ま  
った。

## 好環境「強くなれそう」

### 初挑戦 有屋田 智香(28)

「楽しい生活になる前、一番苦手なスポーツが  
マラソンだった。人って不思議ですよね」

【アプロフィル】2009年秋から大阪銀行太  
陽の家支店(別府市)に勤務。同10月には  
県外レースでデビュー。今晩から本格的に  
マラソンを始める。今大会はハーフに出場。

即決。昨年8月に退職願を出  
し、9月には新しい制服に身  
に着けた。入って不思議  
マラソンだった。今年5月、佐賀ヤマハ!!シ  
トボートで車いすバスケ  
マラソンや。友人は説かれ  
てたが、バランシングのメ  
タリストや有名選手がハーフ  
ロード車いすマラソン大会  
を包んでいた。

今年5月、佐賀ヤマハ!!シ  
トボートで車いすマラソン大会  
を走った。大会で10kmを走  
た。有屋田智香(28)が走った。  
十勝溝の脇を走った。  
クローバーが咲く。うまここ  
ソーンなどやるんやなかつ  
てや。バランシングのメ  
タリストが走る。下り坂のカーブで横  
一列となり走る。「女子子」  
「アラブ」が待つてた。

【アプロフィル】ハーフだけだったクランクをフ  
ルにも乗り、距離の距離に応じて42.195mを走る。大  
会で200人弱・地元から211人が出場。アンドレ・ビジエ選手(カ  
ナダ)がY4を飾る。

【大会の歩み】

平成22年10月16日(土) 大分合同新聞朝刊

【第一部・終わり】

九月九日望鄉台  
獨在異鄉為異客  
每逢佳節倍思親  
遙知兄弟登高處  
遍插茱萸少一人

第2部 附 ①

大会提唱者の妻 中村 広子(71)



「大分大会は未来に続いてほしい。そして自分に挑戦する人がもっと出てきてくれれば…」

**【プロフィル】**京都市の大学に通っていた19歳の時に中村裕博さんと結ばれる。元「中村裕記念身体障害者福祉財団」理事長。現在は明野中央病院(大分市)理事長。福岡市出身、大分市在住。

第1回の「壁」はおもに「心」  
がある。第2回では「大分大会  
の『壁』を絶してやれた人々の方  
と思ひたつ。

ノワル・バラ五輪で活躍した多くの選手の国・地域から271人が出場。

人会の歩み

二重宿。参加年齢を18歳から16歳に引き下げ

平成22年10月17日(日) 大分合同新聞朝刊

平成22年10月18日(月) 大分合同新聞朝刊

第2部 健②

A black and white photograph of a man with short, light-colored hair, wearing a white t-shirt over a dark vest. He is standing in a room with a piano visible in the background. He is gesturing with his hands, possibly speaking or explaining something.

大会発表者 小林 順一(59)

『小林順一』(5)高知県立 豊島義久は、『スケイシヤキ』と書かれていたが、もしかして「スケイシヤキ」ではないか。大谷  
豊島義久は、『スケイシヤキ』と書かれていたが、もしかして「スケイシヤキ」ではないか。大谷

「まずやってみろ」継承

長、当時、理学療養士として太陽の家で働いていた。大会発表者の一人が、第一回大会の4年前、健闘者の大会と一緒に「車いすロードレース」を開催して初めて開催したのですよ。県内から多くの車いすランナーが参加して、会員費が元走りながらも、車いすを運転する。大会を欠かさず開催する。初めてフルマラソンが加入して、車いすを運転する。中村さんは、「でも、太陽の家を壊して、高知県に移り生んだ。でも毎年、その精神が受け継がれていくからこそ、走っています。」と語る。この大会が30周年にして、車いすを運転する。今でも毎年、その精神が受け継がれていくからこそ、走っています。

第9回大会（1989年） 常磐宮さまが観戦される。山本行（柳本與）がフルで前人未到の脚内7連鄭。この年、

14

大分合同新聞朝刊  
成22年10月18日(月)

八  
前

30回大分野馬車いすマラソン



「大分大会」は福祉行政のシンボル。警察は裏方だ

大会にヨーサイン 神尊 六合男(79)

いえ、全國的に編集部はまだなんの気になつていつたです。官民合同の協力態勢が弱いね。『書籍企画部の反対意見は帳簿に残りました』。口座は全国規格外で、出版社が運営無理だとしたが、やれることはやれることで、運営にあつた。

11時、スタートの号砲を電

1時、スタートの号砲を蜀

# 知恵と工夫、乗り切る

「大会選手権者の故」。中村裕博先生は決闘の言葉を避け、車に付いた運転者が走ることによって、運転者は自らの可能性を示したらしい話だ。あれだけ熱心な医師（中村博士）がいつまで一生懸命やっている。熱意と無駄死ねが競争された。どうか、何回も駆除されたので乗り切ろううなづかせる。当陸上競技場で水を飲むたまではまだいいが、「安全運転」でから車に跳ねついたりして車を運転するといふ車の人が田んぼに田んぼへといひながら、車の腰をくすぐるほど運転前に扉が開けあしめた。

いた。世界は万国から参加  
した。一人一人のランナーが  
一音に走りだした。  
みんなの眼晴が離れないで見  
た。音節に付けて順序から人生  
を扱へた。充実感に満ちた運  
手の表情。。。コース終盤無  
事に走りだす。『やめて良か  
たなあなた』って。

第10回記念大会（1990年） 秋篠宮ご夫妻がご臨席。77の園・地域から最多の441人が出場した。ハイソフライ選手（スイズ）が1時間39分35秒で初優勝。

平成22年10月19日(火) 大分倉回新置朝刊

卷八

30回大分四駆車いすマラソン



アルマランのコース認定 神体 記載(7)

第12回大会（1992年） 国内から史上最多の362人が出  
場。30の県・地域の計430人が疾走した。山本行選手（日本選手）が2年ぶり8回目の国内1位に輝く。

平成22年10月20日(水) 大分合同新聞朝刊

「うーんのコースせがれ」と聞かれて  
「うーん」ってうーんの船一般競  
争をやめてしまったからね。」  
『神木紙風(6)』大分市

## 危険な坂避ける“裏技”

大会を擬議した脚本者は、ルの実施を切望していまし  
「いよいよ開園の名がやがていた。」  
（ハーフドア）誰も、事務局によるコース選定の検討  
異議のつぶやきが、ドアノブを抱むお嬢御の回合金の直

ねやう思つ。「本編をかぶせた  
腰こし者」について著者名のイーモー  
ン・シキを曰く十度腰こしやむ。  
ゆづり 大会がねらひだらひ  
腰こし者すが やくひ 日本  
の腰こし者すがひ腰こしらふ  
じやなひだりやく。

100

N



失われたものを感じるのです。  
残されたものを感じる大學生は生む  
せ。」大谷の提唱者は、中村裕  
博士が影響を受けたトーマス  
ヒューム。  
「草は土に生え、木は土に育つ(英國)  
の言葉。好んでよく言つてゐる。

「草は土に生え、木は土に育つ」  
添へてじつに繁殖化した。  
理学発達史の高齢實行(=)

山口県。レーザー（競技用車いす）や走り方のフォームなどを研究してきた一人だ

## 日本人優勝のロマン

敬称略

卷六

平成22年10月21日(木) 大会全国新聞開催



第15回大会（1995年） 433人がエンター。大会史上最多の42カ国・地域から集った。大会新記録が続出する中、女子フルアーチャー和歌子（近藤園）が日本人初優勝

平成22年10月33日(金) 十分会同新聞朝王



第三部 疾走 ③



第30回大分国際車いすマラソン

その日も笑っていた。  
東京都内のアコムショールームで、トカミトの彼女に会つたのがなぜか、あなたはそんなに  
米国でのレースを終えて元気なのですか？  
国際化宣伝の朝だった。国内唯一の女性アコム  
アコムを見せず、腰をキラキラ。「前回も生れねば人間らしく生産命、今を楽しく  
楽しきて自分の未来」、それは変わることなく、世の大事を語りますから」  
そして「車いすマラソンの将来」中井選手は全  
話を語り続ける。然後静しながら思つ。それく

## 世界の扉開いた笑顔

女王 土田 和歌子 (36)

「大体はスピードレースになるでしょう。二  
次競争が負ければ自己記録を塗り替えたい」

【プロフィル】競走会社「ソノフィ・  
アベントス」所属。スボンサーは「不滅」。日本  
今年はブトン、ロンドン、ベルリンなど  
を制覇。東京都在住。

には計11回出場し、フルマラ  
は5回。第2回で出した1時  
高校時代、友人とのライ  
事今のすべてをばかげど、成功を販売した  
事な活方に生まれて大  
事な大会のロードと挑戦。レースは生き物です。け  
では大分の第1回大会。ハーフ当に強い人は常に勝ち残  
で散々な結果に終わり、「もう一度」という意願には自分は本  
う一度走りたくない。マジでマラソンを極められない。だから  
から…やめられたら」

第30回大会の記念セレモニ  
してか、レース後のファンとの  
の隣に食いじわきこと彼女  
は笑つていただろう。そこには女王・土田和歌子  
五輪金メダリスト。大分大会「世界の扉をひらけた」  
=敬称略=

第18回大会(1998年)三笠宮殿下ご夫妻が観  
観された。大分駅前初めでラシオ中継。ハーフ  
で地区別選手権選手(当時別府市)が総合2位。27の  
国・地域から434人が出場。

平成22年10月26日(火) 大分合同新聞朝刊

第三部 疾走 ④



第30回大分国際車いすマラソン

府第26回大会。笠置正喜(前  
市)が日本人初優勝を決  
めながら1時間23分後だつた  
後、両腕を振り下ろす。大分市長  
が握手を握り、両腕を振り下ろ  
す。その後の1時間に大分市長  
が握手を握り、両腕を振り下ろ  
す。51歳の優勝者井上聰(32)=愛媛  
県)で、井上聰(32)=愛媛



## 国内初の「T5」フル完走者 井上 聰 (32)

【プロフィル】国立精神衛生研究所監修  
障害者セイシナーの監修で、2000年に地  
方、ドライバーとして活動する。  
「自転車に乗る手がいいから走り出したら」ときた。

県は国内初のフル完走者。起き上がり訓練、着替え…  
などだ。口技もらう。ソリから車いすの移乗…。  
青な航空が広がつてい自然とがわいた。  
真っ直ぐが広がつてい自然とがわいた。  
た。真っ直ぐが広がつてい自然とがわいた。  
1年後、レーサー(競技用車椅子)に乗つていた。  
いを19歳の時、\* 車いすに乗つていた。  
1年後、レーザー(競技用車椅子)に乗つていた。  
別クラスで走りはじめある。今年2月、ドライバーアラ  
寝かされたまま、世界の走りだけ。介助を必要なし、国際レースに「T5」の足跡  
=敬称略=

「T5」のレースは技術的にも減  
りつつある。\*

第19回大会(1999年)ハインツ・ライ選手(スイス)  
が世界最高記録を樹立。障害者、被災者、被災地の  
同時入賞。大分西海岸グランプリが障害者も選手扱い。  
=敬称略=

平成22年10月27日(水) 大分合同新聞朝刊

### 第三部 疾走 ⑤

前へ  
新30回大分合同新聞いすマラソン

夢は遠らぬ。夢であつてほしく。りりかがにに向度う。そん体が自由に動かない。そんあなたが腰こじり、深がくほれそうしないたことは教われ長崎裕也(28)=東京都=はならない。それから「近づいた度は?」「トロッソおもむき」にならぬ!「トロッソおもむき」がある。

腰力のない手を縦縛に振り



車いす半抱ひで走る。  
\*  
車いす半抱ひで走る。

## 根性「泣いてたまるか」

「マラソンを始めたから何となく『現美』とは言ふべきだよ」と走りたい」

【プロフィール】印西陸連会社への就職  
が決まり、昨秋から新規として開拓者となりハピリティーを今月19日に退職。都内で新生活を始めた。高齢出走。

### 「丁」フル初挑戦 長崎 裕也(28)

作りの垂れ幕もあつた。  
「県内の頃は呑んでいた。いつか死んでく」。2普段の作業で来るときは知らないで…思ねず自腹が継くなつた。今年は記念レース。「同じ人。山人や出走し、完走者は42分56秒)だった。フル挑戦を決意した。

大学時代、姿を隠す母の生れ海で人生が変わった。だ。その距離は躊躇でも走つ

【プロフィール】印西陸連会社への就職  
が決まり、昨秋から新規として開拓者となりハピリティーを今月19日に退職。都内で新生活を始めた。高齢出走。

第20回記念大会(2000年)、小田急セントチューリーホテル(当時)が外岡人選手の「選手料」に「部分放送がラジオ中継を九井川河畔で実施する」ことなどが判明。

大会の夢みる

平成22年10月28日(木) 大分合同新聞朝刊

### 第三部 疾走 ⑥

前へ  
新30回大分合同新聞いすマラソン

2歳の「若孫」である。腰に描いた雄鶴に沿つて、車いすのペンドリム(駆動用の脚)でペースを走る。そのペースは腰に激しく、陸に美しく、腰に腰やか。たまにまじいや車いすマラソンを抜きにして大分大会の歩り感づけたり。



ハインツ・フライ(32)  
\*  
ハインツ・フライ(32)  
\*  
ハインツ・フライ(32)

## 度肝抜く“常勝の旋律”

「とにかく健闘に感謝している。大分大世界記録を握つスースースー走り感づけたり。どちらに手を取つても走り続けた。」=今月29日の第29回大会

【プロフィール】フル・ハーフマラソンや1万などの世界記録を握つスースースー走り感づけたり。地元の外人名鑑大分県民語選手。スイス出身者会の車いすスバーツ管理指導員。

### 世界王者 ハインツ・フライ(32)

うすがチャンスが訪ね、幸運もついてくる。この30回大会で日本王者を獲得した。これまでの人生が終わつた。その後の名で埋まるところにならぬ。山岳での滑落事故で人生が終わつた。大分では、第4~7回大会を目標としている。王王者としての運命が決まる。太分は組織もボランティアも、泊宿の旅館も井浦館にては最も大切な大会だ。

【プロフィール】(2001年)、土田和歌子選手(健常)が日本全国記録で初の女王。男子ではハインツ・フライ選手(出走)が初V。金剛が強くて、それがとても想議か。

大会の夢みる

平成22年10月29日(金) 大分合同新聞朝刊

# 人立のラマ

## 前へ

第30回 大分国際車いすマラソン

「日本のケイ」として轟かれていた。彼女がいるから大分を走る——その音で外国人の常連選手も少なくない。

後藤恵子(58)=大分市 第一回大会から通訳ボランティアをしてくる。

もちろん、無事。時に体



第25回大会の時にもらった盾には選手のメセージがびっしり。

第4部 並走① 通訳ボランティア 後藤 恵子(58)

## 「真の強さ」に魅了され

錢をやりとり始めた。それでもボールを支えたのは後藤だった。やめられたのは「車いすアスリート」が放きたから。

選手の壁といふ、いつかはシーンには出ない。

20代のころ、欧洲に留学。英

ある年。総合優勝した王者は

自分より優秀な選手の力走

をだして、自らのトロフィーを

車いすアスリートの世局。

そこと脇の、チャレンジオンの

どんな優秀な方々が関係なし

て感

眞の強さを見た気がした。

郎の年少の、「日本に車い

きなくね」とあわててした

外国人選手のひと言が、國內最初の

人間然の腰を引つ張られた。

大会を福岡県に生み出すきっかけ

車いすに縛られ、足を一歩踏み入れて壁面から離

かけになつた。会話のキヤチ

ンスを壁面に踏んだ。ちゃんと

れるまで、行動を共にする。

「歴史的な瞬間」は立ち会えた。運手をサムライ精神で、

かり戦士がいた。組織ば」「やがれ人間やる」

955年には連隊トントニアを

一派、「やがれ人間やる」

年の戦いと「壁面」の読みを組

組織ば」「やがれ人間やる」

955年には連隊トントニアを

一派、「やがれ人間やる」

## 第4部 並走 ③



第30回 大分国際並走マラソン



## 「丁引」用のグローブ開発 小橋 雅也(37)

「小橋雅也」と言えば、日本モトクロス界の風雲児として知られています。

22歳で「1995年度ジャパンスーパークロス・250ccシリーズ」のチャンピオンに輝く。翌年、日立丸を背負つて改名を経た。

翌年、奈良県でのイベントに参

加し、奈良県でのイベントに出展した。奈良でジャパンに失敗。首から後頭部を傷めた。

「これが治るわ。はるかに手足」「ホンマ、奈良の

「腕の力がない」「51の選手は、ハンドル

(手の握り)が苦しいです」

【プロフィール】バイク専門店「R.S.タチム(大阪府大東市)」のモトクロスチーム。2005年にIMSAヨーロピアンクローバー賞受賞。東大阪市出身、八尾市在住。

## 「丁引」用のグローブ開発 小橋 雅也(37)

「車いすに乗った元ライダーは、別府市でハンドル

送った。汗で蒸れる車いすのグローブも特殊なんですね」

【プロフィール】バイク専門店「R.S.タチム(大阪府大東市)」のモトクロスチーム。2005年にIMSAヨーロピアンクローバー賞受賞。東大阪市出身、八尾市在住。

## 走る苦労、喜びに共感

サカセストーリーが愛愛  
したのは珍重だった。

中、奈良県でのイベントに参

加し、奈良でジャパンに失敗。首から

後頭部を傷めた。

て機器に寝ねる。まひで動かた。何でやねん? ど...!』

「これが治るわ。はるかに手足」「ホンマ、奈良の

\*

\*

\*

\*

「腰痛がまたじと感つかず  
いいかく腰こまでせきつ? 平

常じて腰痛は必ず百ペーパン

トの方が出来ます」

37歳。今年も大阪から「大

阪」に工具を運ぶ。

品するなかつたランナーといふ

【歌詞】

## 第4部 並走 ④



第20回 大分国際並走マラソン



## 20回大会で先導 简井 基治(40)

選手たちが疾走する。車いすのヘッドレス競輪の隣

をたたく音が幾重にも重な

り、大型オートバイのエンジ

ン部を鳴らしだした。

爆轟が脇を震えださま。

激しいコース展開を、背中で

(40)大分市。第20回記念大

会で休憩を務めた。

「白バイに乗れば誰かが一

選手は必ず機器して大がかりな金を送りたい  
バイクの上から携いつばい工具を送りたい」

【プロフィール】日田原、大分ココナラの齋藤を経て95年

に交通機動隊へ。2002年ま

で26回大会の齋藤を相

当。雨のレースなどなった所年の第29回大会では6

年ぶりに、ハイドアードで交通安全

隊員として出走。

初めて開けて見るレース。先達経験のある先輩にう

を聞き、ペアを組む隊員と同

じでコスを下見した。「間違

うめこづけ前へ! 前へ! 進

進されない」。機器は重

もつすさんランナーの姿に胸

を期して感心した。

「腰痛がまたじと感つかず  
いいかく腰こまでせきつ? 平

常じて腰痛は必ず百ペーパン

トの方が出来ます」

37歳。今年も大阪から「大

阪」に工具を運ぶ。

品するなかつたランナーといふ

【歌詞】

## 「光榮」あこがれの舞台

選手たちが疾走する。車いすのヘッドレス競輪の隣

をたたく音が幾重にも重な

り、大型オートバイのエンジ

ン部を鳴らしだした。

爆轟が脇を震えださま。

激しいコース展開を、背中で

(40)大分市。第20回記念大

会で休憩を務めた。

「白バイに乗れば誰かが一

度は競走したいと思つた。節

目の大会にかわわきこめて

バイクのハンドルを握つて6年

\*

\*

\*

\*

今年は世界3カ国から30人  
しかかる。その選手は近畿記念大会。近畿は大勢の人  
にくになつた。

「腰痛がまたじと感つかず  
いいかく腰こまでせきつ? 平

常じて腰痛は必ず百ペーパン

トの方が出来ます」

37歳。今年も大阪から「大

阪」に工具を運ぶ。

品するなかつたランナーといふ

【歌詞】

【第20回大会 (2003年) 笹原広輔選手 (別府市) が日本人初V。初Vでは越辺智輔選手 (日出町) が優勝。選手 (兵庫県) が6年ぶり、5度目の優勝。】

【大会の歩み】

平成22年11月4日(木) 大分合同新聞朝刊

平成22年11月3日(水) 大分合同新聞朝刊



番外編 ①

日本身体障害者陸上競技連盟会長 芝田 勲造(61)

**前へ**

第30回大分国際車いすマラソン

車いすランナーが競技力を上げるために、地域の資源が大事だ。大分はそれを非常に続けてきた。国内外選手が世界で活躍する大物がいるからには、だと言つても過言ではない。

接吻した故・中村裕先生(大分県の孫の御馳走)のおかげだが、背後には大会を支えてきた行政、ボランティアの団体等の立々たちが熱意がある。本当に頭り抜けステータスが麗しい。それを見て離しが、日本では

「大分大会ではいつも選手の自力に庄重さも含め、世界レベルで自信を表す30回大分国際車いすマラソンに寄与してほしい」

世界レベルの事いすランナーが多くいる。彼らが共に切磋琢磨しながらも日本のみならず世界で力。大分大会を通して世界の障害スポーツ界をリードしていく所存だ。

そして大分はいつも車いすランナーが多くの大会で競合する世の中におけることを、同じく車いすランナーが区別されず、同じく車いすランナーが一緒に競合で競う車いすランナーが強く育んでいく。

## 世界をリードし続けて

車いすランナーは障害のある人々が「生き方」を学ぶ。選手たる大きな自己超越を感じてもらう。数ある世界のレースの中でも、勝利の喜びはどちらかとも言はず。競技人口を減らしてしまったからこそ、競争意識の高揚が世界の「これから」として関係者に図られる。(6回参戦)

平成22年11月17日(水) 大分合同新聞朝刊

番外編 ②

I-P-C 陸上部門スポーツ技術委員会審査委員長 タレック・シウェイ(48) アラブ首長国連邦

**前へ**

第30回大分国際車いすマラソン

大分大会は名実共に世界ナンバーワンのレースだ。行政、地元、ボランティアの尽力が大会を総括させ、30回の歴史を経ての底堅さになっている。

車いす選手はぐるぐる回転の上での距離を走る。しかし、車いす選手たる運転部はヨコサカやチキンを競争する場所の壁。しかし、車いす選手たる運転部はヨコサカやチキンを競争する場所の壁。それがなぜか。非常に体力を消耗する体力的負担が大きい。しかし、車いす選手たる運転部はヨコサカやチキンを競争する場所の壁。

「常にこれから世界一のレースです」

「常にこれから世界一のレースです」

委員会は、この理念を持って大分に注目し、期待を寄せている。これらをもたらす大会を世界中の人にから伝承してもらいたい。

たゞ、これが日本の選手は行政の財政支援だけで大会を運営する在をもつて企業に売り込み、さながら車いすランナーが車いすランナーを真の「アスリートスが主」に引き受けられる。

## トップ選手PRに力を

車いすランナーが、出場が容易ではないのが背景にある。そこで大会を開催してもらうのをひいてお意義深い。しかも出場選手が多く、その数は世界選手権の10倍の規模がある。

HPC(国際パラコングレス)が欠かせない。HPC(国際パラコングレス)が欠かせない。

平成22年11月18日(木) 大分合同新聞朝刊

番外編 ③

オムロン会長 立石 義雄(71) 京都府

**前へ**

30回大分国際車いすマラソン

競技場のメインスタンド上で選手たちのファニッシュを冒頭いた。

「大会を振興した中村裕博士（大蔵の家創設者）をはじめながら80年の歴史と感謝に胸にいた」

第1回大会の10年前、1971年だった。中村博士が京都市の立石電機（当時）を訪れ、「障害者が働く工場をつくりたいので協力してほしい」と。創業者である父の故・立石一基氏などをうかり立石さん。

翌年、「福祉工場」であるオムロン大蔵が開所式に誕生。以後障害者が働く企業が全国各地に誕生されてしまった。

「大分大会の開催は、工場設立と同時に障害者の自立・自律を促し、社会参画のきっかけを作つくる原点になつた。その意義是非常に大きい」

「大会の趣旨を願つていて、それがアーバンな街づくりと連携していくつもりだ」

「勝負立場の人には想像を絶する。『大分大会はまことに先駆けた場だ』といふ人が個性をいくぐる尊重な環境になつてゐる」

大会のメーンスポンサーとして金銭的に支援する一方、毎回100人を超える社員がボランティアとして参加する。「人間性の尊重」を経営理念の一つに掲げる同社ならではの「教育」でもある。

平成22年11月19日(金) 大分合同新聞朝刊

番外編 ④

国際パラリンピック委員会ラス分け委員 指宿 立(45) 大分市

**前へ**

30回大分国際車いすマラソン

この30年で時代は変わった。日本人選手が強くなる競技場内に海外レースに出場するなど、劇的な変化を遂げた。

大会も変化すべきだ。今回、クラス分けに「アビ」台（女性）が加わり、賞金レースが導入された。出場生年齢も16歳以上から14歳以上と見直された。これは、より強烈な進化が必要なのではないか。

海外の会場レースで1駆けには手がかりや手がかりで走れる環境をつなぎ、「アビスタート」と「アビスタート」の導入も一歩だ。男女別、クラス別に30秒~1分の差をつけスタートしていく方法で、運営にやりがいがありました。

「新たな時代にマッチした大会になれば」

「競技性」と「競技の幅広さ」の両方に備えているのが大分大蔵の特徴である。だが、今年大蔵選手との接觸という危険性もある。フランスの参加者は、ヨーロッパのスポーツ文化に慣っていなかったり、アビスタートは多様化してしまった。

「アビスタートは車いす競争の重要性を示す一つの象徴だ」

新たな時代にマッチした大分大会を創出していく所を運営している。

平成22年11月20日(土) 大分合同新聞朝刊

番外編 ⑤

障害者スポーツの第一人者 坂元正人(58)、りつ子(57)【大阪府堺市】



夫「劣化事故で車輪を壊したのが一ヶ月。車いすバスケットボールの日本代表をも年間務める傍ら、大分大会には、誰かが第一回から10回まで出場したくやなかつたからな」妻「この人(夫)は経営する前の80年にホノルルマラソンを日用品用の車いすで走った。わたしら大分は第2回から10回まで口だらけ。しかし今から10



2人は車いすバスケットボールが縁で31年に結婚。障害者の楽しさで、車いすで街に出でる。マラソンで大分に行くのが大分の常識となり、「世界を駆駆する車いすの夫婦」として知られる。大会参観が進む前から国際会議がいつかに障害を負つた。それがうれしかつた。要は「今はスキー、テニスを楽しめばいい。わたしたちはおりで生かつからん。やつぱりだいさうに自由に街に出られるかどうかが運がいい。車いすランソンは木が温かい。車いすランソンは木に大きな存在をうご想う」

夫「運手たるは皆、自分に負けないで、何度も一緒に海外にでもいくべきだよ。どうかいつまでもいつまでも、当たり前の

にでも健闘を貢献するように大分大会が継りますよ。あそこには…」

## 特別視されぬ温かい街

平成22年11月21日(日) 大分合同新聞朝刊

番外編 ⑥

アスリートからの提言



連載「前へ」は今回で29回。最後は「○○○」に集めたアスリートからのメッセージで締めくく。

△くわはら・ロバート(22)ーストライス 「障害者はどうしてもアスリートからの賛美の聲を向こうせねえ。そもそも他の選手が挑戦しやすい環境を整えてくれるのが大切だ。大分は素晴らしい。今後も出場を続けたい」

△国内7連覇の記録を持つ山本行文(29)熊本市 「多くの

選手と情報交換ができるのも大分大会の魅力。昔のうつに『交換のタグ』をレース後に譲けてはどうか

△ハーフマラソンに初出場した仲元ゆかり(20)兵庫県

△川添謙輔 「国内選手が力をつけなければいけない。海外勢に負けない、能力ある大会にすることが今後の課題ではないか」

△第1回大会王者、ケオルグ・フロイント・オーストリア 「大分大会は車いすアスリートの歴史の中でも庄重の存在だ。選手は障害者の社会参加を推進する使者(セラピスト)である。さらに今後30年頃までは、

△第26回大会で日本人初優勝の西原伝喜(38)・福岡市 「大

分大会はチャンジング精神を磨いてくれる。若い選手、障

普の若い子たちに希望を与える大会であり続けてほしい」

△松井裕一 「(この連載は報道部・菅原康

藤原留美が担当しました)

## いつまでも希望与えて

平成22年11月22日(月) 大分合同新聞朝刊



懸命に力走する選手たち＝大分市の舞鶴橋付近

# 女王はマクグローリー



マラソンT34／53／54男子でトラック競走を制し、初優勝したマルセル・フグ=14日午後、大分市営陸上競技場

「**フライ超え**  
**大きな誇り**

ドアリードを繰り広げた偉大な日本の先駆者ハイム・ライ(53)から、夢にまで見た出来ある月桂冠を鮮やかに奪い取ってみせた。 伏兵ではない。2年前の第28回大会で準V。今年6月に陸上(トラック)の800㍍の世界記録を軒並み塗り替え、「フライ」を破った人生にどうして大きな勝つのはフグしかいない。アスレチックたちからそう目されてきた。 大分大大会は6回目の挑戦ヒーローの誕生である。

「ハースがこれまで序盤からてもいなかった。序盤から仕掛けのプランを途中で変更し、スタジアム(競技場)で勝負をかけるために体力を温存した」

が彼を求めていたのかもしれない。世界が見守った第30回のメモリーアルレース。車いすマラソン界の新旧交代をミックで強烈な「ビートリ」一ラン」だった。そのままライバルたちを弱冠24歳の新星、マルセル・フグ（スイス）が大激戦のマラソン男子下34／53を制した。〈54を制した。「非常に満足している。でもうれしい。ベリー、ルセル・フグ〉の名を歴史

競技場に入った途端に、気は前へ。〈短距離なら自分は絶対的な自信がある。印射する力が強くなる。ターナーも勝つた〉と確信した。そのままライバルたちを寄せ付けず、太い両腕を秋空に突き刺しながら豪快にフィニッシュ。ラインを駆け抜けた。その瞬間、10人の「世界王者」として「マ

平成22年11月15日(月) 第30回記念大会翌日の大分合同新聞朝刊(1面)



第30回記念  
大分国際いすマラソン大会

第30回記念大分国際車いすマラソン大会(県)、日本障害者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会・大分合同新聞など主催は14日、大分市の県庁前をスタートし、大分市営陸上競技場をフィニッシュする42.195km、ハーフ21.0975kmの日本陸運公認コースで開かれた。T34 53/54のマラソン男子はマルセル・ラグ(24)【スイス】が1時間23分28秒で初優勝。同女子はアマンダ・マクグローリー(24)【米国】が2年ぶり2度目の優勝を果たした。(10、11、20面に関連記事)

ハーフでは男子T44/53  
54で大分県勢が上位3位  
を占めるなど活躍した。  
選手は男女共に障害の程度に応じてクラス分けされ、マラソンとハーフで熱戦を開戦。20カ国から男女307人が出場し、2人

## Voice～大会へのメッセージ

### Voice1～記念式典「受賞者代表謝辞」

平成22年11月12日(金)に開催された「記念式典」内の受賞者代表謝辞から

#### ○吉松時義（大分県、選手／30回連続出場）

本日は、第30回記念大分国際車いすマラソン大会記念式典の開催にあたり、功労者への感謝状ならびに連続出場選手等への表彰状を賜り、受賞者を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

大分国際車いすマラソン大会は、ここ大分県で、1981年「完全参加と平等」をテーマにした国際障害者年に相応しいイベントとして、故中村裕博士の提唱により始まりました。

私は、毎回「自己記録の更新」を目標としています。今年、30回連続出場をいたします。「大分国際車いすマラソン大会には絶対に出場するんだ」という強い思いを持って、これまでの大会に参加し、すべて完走することが出来ました。

第3回大会よりフルマラソンが行われ、そして、世界初の国際ストーク・マンデビル車椅子競技連盟の公認大会となり、大会のステータスは高いものがあり、世界の強豪選手が参加し、幾度も世界記録を更新してきた素晴らしい大会です。

世界のトップランナーのスピードと力強さ、逞しさ、迫力に驚嘆し、歯を食いしばり必至にゴールを目指す重度の障がいのある選手には、沿道をうめた多くの県民の皆さんのが熱く大きな声援が追い風になります。

「30年の歴史と感動！そして、羽ばたけ、次の時代へ！」のスローガンのように、大分国際車いすマラソン大会をいつまでも世界に発信し続けてほしいと願っています。

そのために、私たち受賞者は本日の受賞を機に、それぞれの立場役割を見つめてさらに一層努力してまいりたいと思っています。

本日は有難うございました。お礼の辞とさせていただきます。

### Voice2～「車いすマラソンセミナー」（基調報告、パネルディスカッション）

平成22年11月12日(金)に開催された「車いすマラソンセミナー」出席者の発言から（一部を抜粋）

#### ○田島文博（和歌山県立医科大学リハビリテーション医学教授／基調報告）

車いすマラソンでは、高い「心肺能力」の土台の上に、バランスの取れた「筋力」と「技術」の支えがあって、速い選手が生まれます。障がい者の健康維持・増進のためにも、障がい者スポーツは重要ですが、我が国における障がい者スポーツは課題だらけです。選手に一層の援助をお願いします。

#### ○廣道 純（大分県、選手／パネリスト）

このレースに出会って、僕の人生は変わりました。今は、走ること中心の生活ができます。

大分マラソンは、今回の30回を通過点として、50回、100回と目指してほしいです。僕もずっと出場し続けたいし、大会の発展を今後も期待したいと思います。選手の側も、病院などで「一緒に走ろう、練習しよう」という勧誘、普及の活動を全国でやっていただきたいです。

#### ○山本行文（熊本県、選手・日本身体障害者陸上競技連盟理事長／パネリスト）

大分のマラソンは、ずっと末永く続いてもらいたいです。今は障がい者スポーツが多様化するなど、新たな選手たちの発掘が課題となっている中、ジョギングの感覚で走れるような車いすマラソンの環境を整えることが重要です。そのための普及活動などを通じて、この大会を目標にするような選手が出てくれるとありがたいです。

#### ○ハインリッヒ・クーベール（ドイツ、選手／パネリスト）Mr.Heinrich Köberle/Germany

大分のマラソンは非常にレベルが高く、最も障がいの重いT51のクラスを他のクラスと対等に扱ってもらえる大会で、感謝しています。名前が世界に通用しているから、大分を走る選手は今後も増えてくるだろう信じています。

### **Voice3 ~「OITA 発！世界のランナーたちのインタビュー集」**

第30回記念大会で特別に企画されたWebサイト（大会公式ホームページ内）に掲載された、フィニッシュ直後の各選手、役員らのインタビューから

#### **○マルセル・フグ（スイス、選手） Mr.Marcel Hug/Switzerland**

とてもいいレースで満足しています。

#### **○ミシェル・スタイルウェル（カナダ、選手） Ms.Michelle Stilwell/Canada**

大会組織もボランティアも素晴らしく、いいレースができました。ぜひ来年も来たいと思います。

#### **○ステファン・ストローベル（ドイツ、選手） Mr.Stefan Strobel/Germany**

最高でした。こんないいタイムが出るなんて信じられません。

#### **○渡辺習輔（大分県、選手）**

今回は前半スプリンターの戦いだったので、追いつくので精一杯で、途中駆け引きが入りながら、最後、下りを利用して思いっきり潰れる覚悟で逃げてみました。

#### **○木山由加（岡山県、選手）**

1位になって嬉しいんですけど、自己ベストがでなかつたのでちょっと悔しいのと、お兄ちゃん（佐藤仁志選手）に負けてしまったというのが悔しいんですけど、兄妹で初めて優勝できたというのが、すごい記念に残る大会になったなあと思います。

#### **○マニュエラ・シャー（スイス、選手） Ms.Manuela Schar/Switzerland**

初めての日本で、こんなにたくさんの応援の方がいて、素晴らしいレースがてきて良かったです。とても楽しく走れました。

#### **○洞ノ上浩太（福岡県、選手）**

なんとか国内1位を取ることができました。総合でも2位になることができました。来年はぜひ、優勝を目指して頑張りたいと思います。応援よろしくお願ひします。

#### **○山本浩之（福岡県、選手）**

今回、第30回記念大会ということで皆狙ってきていて、調子も上がってきただので、あと、1個の集団が7人位で大きくて、非常に大変なレースでしたが、その7人の中でいろいろ駆け引きしながら、楽しく素晴らしいレースができました。

また来年もこの大分に帰ってきて、もっと上位の成績を狙えるように頑張りたいと思っています。

#### **○マイケル・ミルズ（アメリカ、選手） Mr.Michael Mills/U.S.A.**

今まで経験した中の最高のレースでした。何もかも素晴らしい。ありがとうございます。

#### **○西原宏明（京都府、選手）**

30回という記念の大会で走れて、とても気持ちよかったです。皆さんの応援も非常に心に響いて、ゴールを目指して頑張りました。また来年も参加したいと思います。ありがとうございました。

#### **○ダイアン・ロイ（カナダ、選手） Ms.Diane Roy/Canada**

ニューヨークマラソンが終わった直後で体力的に辛かったけれど、良いレースができたと思います。大分のコースは、平坦で走りやすいので、好きです。

女子3人で競いながら全行程を走り切りました。アマンダ（・マクグローリー）選手もサン德拉（・グラフ）選手も、思ったとおり、今年も強敵でした。私は腕に疲れが出て、最後の競り合いで前に出られませんでしたが、1時間44分でゴールだったので、満足しています。

### ○イアン・ゲイニー（オーストラリア、選手） Mr.Ian Gainey/Australia

ここ大分に来るのは、この大会運営がとてもしっかりしていて、世界一の大会だからです。オーストラリアでも、出会う選手皆に薦めています。何もかもが最高の大会です。

### ○永易久和（神奈川県、選手）

手首を故障していたので思う存分は走れなかったんですけども、最後までケガをカバーしながら、なんとか走りきることができたので、とても良かったと思います。

リポートがしっかりしていて、さすが世界に誇る大会だけのことはあって、1番気持ちよく走れる人会でした。ありがとうございます。

### ○カルロス・オリベイラ（ブラジル、選手） Mr.Carlos Oliveira/Brazil

この車いすマラソン大会に、怪我を乗り越え参加することができ、すばらしい大分の皆さんにまた会うことができとても幸せです。このマラソン大会はとてもすばらしく、この大会に出場することは私にとって重要な事でした。大変長い時間をかけやってきました。来年も会いましょう。

### ○藤原 修（大分県、選手）

今回30回記念の大会なので、普段よりも沿道の方の応援が多く感じて、それが後押しとなり、無事ゴールできました。本当にありがとうございます。途中向かい風、追い風、いろいろ風が回っているような状況でしたが、無事ゴールできて良かったです。応援に駆けつけてくれた方々に本当に感謝しています。また31回目でも同じような応援、声援が頂ければ、選手の励みになりますので、これを機に、どんどん足を運んで応援してもらえるようになれば良いかなと思います。

### ○アーロン・ゴーディアン（メキシコ、選手） Mr.Aaron Gordian/Mexico

メキシコシティから来ました。マラソンを楽しめた一日でした。風がほとんどなかったのもよかったです。実は15キロ付近でグローブがおかしくなり少し時間がかかったものの第1集団の中で素晴らしいレースができました。大分の大会は組織がしっかりしており人々もいつも私たちを暖かく迎えてくれます。参加させていただき大変ありがとうございます。

### ○チェン・シンリエン（中国、選手） Mr.Chen Xinglian/China

今回初めて車いすマラソンに参加しました。とてもいい印象を持ちました。大分市もとても好きです。もしできればまた参加したいと思っています。

### ○平野勝博（熊本県、選手）

連続23回休まず出場できたということは、健康ということで感謝しています。年に1回の大会ですけども、全国、世界各国から集まるので素晴らしい。皆が楽しめる大会と思っております。

### ○ハロルド・リラガン（フィリピン、選手） Mr.Harold Lilagan/Philippines

今回の30回記念大会は素晴らしい大会だったと思います。私個人もベストが出ました。受け入れて下さってありがとうございます。

### ○山田武一（鳥取県、選手）

1年の終わりというか総決算！走り始めから走り終わりということで、1年間の健康貯金ができました。来年も頑張りたいと思います。73才だからね。1年1年が勝負だね。楽しいです。全国の皆さんにね、ご機嫌伺いができるのも楽しみにしてたからね。これが何よりの夢です。来年も来させていただきます。

### ○中嶋知春（宮城県、選手）

目標は完走だったので、完走はできたんだけど、思ったよりも大変久しぶりのこの大分の風は辛かったです。それ以上に沿道の皆様の声援が嬉しかったです。また来たいと思います。

○ピーター・パーク（アメリカ、選手） Mr.Peter Park/U.S.A.

大分は素晴らしい。車いすマラソンの最高峰だと思います。

○渡嘉敷直秀（沖縄県、選手）

59才です。今年で7回目のチャレンジですが、まだ第一関門5kmを30分以内に突破したことがありません。でもこういう障がいですから、目標は純粋にここまで来れるということを心に留めて、もし意識障がいがなく、自分自身の意志で行動を選べる間はずっとチャレンジしていきたいと思っています。ありがとうございました。

○ポール・エルウェイ（アメリカ、選手） Mr.Paul Erway/U.S.A.

13回目のレースです。レースに参加するのが生きがいです。死ぬほど疲れましたが、大分はとてもきれいな所で、人が温かくて、大好きになりました。トレーニングして、また来たいと思います。ありがとうございます。

○田中秀夫（山口県、選手）

3年ぶりのレースだったので、ちょっとしんどかったんですけども、大分はいつも沿道の声援が多くて大変力になり、なんとか完走できました。ありがとうございました。世界最大の車いすマラソンなので、続いて欲しいと思います。

○川路昭男（鹿児島県、選手）

完走できただけで最高！良かった。完走できることは最後の達成感。これでリタイヤしたことがないのが自慢かな。14年間。いつもパンクとかするし、気にはなるし、どうなんだろうと思うし、途中でやめたいと思うんだけど、やめたいという所で、皆が頑張ってという声。ゼッケンではなくて、名前で言わると、うつらうつらしているのがシャキッとなる。誰って。ここはこういうふうなつながりができる。もう一回まわって、ありがとうございました挨拶するのもいいなという気がします。

○三井利仁（Technical Delegate（技術代表）・国際パラリンピック委員会）

スタートの時は無風で気温も17.8度とマラソン日和だったので、世界記録が更新されるのではないかと思うくらい選手もいい感じで走っていたが、途中からの向かい風で思った程タイムが出なかった。

世界中のマラソンを見ているが、大分が1番運営もしっかりしていて今年からは選手に賞金も出るようになり、より一層この大会が世界に広まっていくんじゃないかな。

それとT51、52の重度の選手たちも多数大分に来るので、運営側からはいろんな形で世界に発信し、女性ランナーや重度の選手の活躍の場にしていきたい。そしてもっともっと世界にアピールしていきたいと思っている。来月からアジア大会が始まり、1月に世界選手権がある。今大会のように日本の選手がマラソンで2位、3位、ハーフマラソンで1、2、3位を取り、世界の強豪と言われるよりも、マークされる存在の選手が増えてきたと思うので、これをいい形でトラックにも展開していき、1つでも多くのメダルを取って欲しいと思う。

最後に、皆さん見に来てください！大分まで！

○後藤昌一（マラソンの部審判長、大分陸上競技協会）

30年の大会で初めての賞金レースとなり、しかも350名という人数の出走の中、クラッシュもなく、当時の気温が18度と絶好のコンディションの中で始まったスタート。先頭集団7名が形成され、ほとんど最後まで競ったわけですが、日本人がその中に3名いるということで、沿道の方達も日本人に対する応援というのが非常に多かったです。

私ども審判団も、できれば日本人が優勝して欲しいということで応援しましたが、最後に頑張ったのがフグ選手でしたね。振り返ってみて、本当にいい大会だったなと思いますし、30回にふさわしい、いいレースが見れたと思っております。

ぜひ多くの皆さんに大分で素晴らしいレースを展開していただけるように、またおいでいただけることを楽しみにしております。ぜひ大分においでください。

### ○安藤靖浩（大分身体障害者陸上競技協会会長）

30回という大会が続いている事の素晴らしさ、これだけの選手が集まるのはこの大会だけじゃないかと思うので、今後とも引き続き続いていると思います。若手にもう少し体を大きくしてもらって、第2の笠原（廣喜）になってもらいたい。佐久野（利明）君にはまだまだこれから厳しいレースをいっぱい経験して、トップアスリートと呼ばれる選手になってもらいたい。

また来年も大分の選手のみならず、日本人を応援してください。ありがとうございます。

### ○荒井秀樹（日立ソリューションズスキーパー監督）

たくさんの方から応援いただいて日立ソリューションズチームの久保（恒造）君、長田（弘幸）君、立派に完走しました。長田君は目標にしていた日本人で5位、1時間40分台。残念ながら久保君は6位でしたけれども次につながるとてもいいレースができたと思います。長田君は今までの自己ベストに近い記録を出して、また復活できるんじゃないかなと期待しています。

来年の大分、楽しみにしてください。皆さんの応援よろしくお願いします。

### ○ボランティア（オムロン株式会社）

なかなか大変だったんですけども、選手の方の頑張っている姿や「お疲れ様」と言い合ってる、そういう友情とか見れてすごく良かったです。

### ○ボランティア（大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do）

外国人選手の通訳ボランティアをしています。もう十数回やっているんですが、毎回選手の頑張りに感動しています。そして少しでも役に立てる事を、とても嬉しく思っています。

これからも頑張って続けていきたいなと思っています。

### ○中村太郎（財団法人日本障害者スポーツ協会医学委員、社会福祉法人太陽の家理事長）

僕は医学部を卒業してすぐの時から、医療班としてこの大会に関わってきたのですが、6回目、7回目までは医者が中心で、リハビリテーションとか福祉の時代が強かった。しかし、だんだん選手が中心になってきて、IPC公認になったりとか、ドーピングコントロールが始まったりだと、あるいは今年から賞金レースという事で、本当にこの30年の中でリハビリテーションからスポーツの大会に成長してきたなと思っております。82年だったか、太陽の家ができる15年位の時にこの大会を始めたわけで、30回も続いたことを（父親である故・裕氏も）喜んでいます。

僕はパラリンピックや海外のマラソンレースに行くことが多いが、こんなにたくさんの応援が沿道、スタート、ゴールに来てくれたり、ボランティアだとかは大分以外ではありません。

本当に市民の皆さんに感謝しております。ありがとうございます。

(平成22年11月13日(土)～14日(日)に、選手、役員、ボランティア等に取材したもの)

この他の全てのインタビューは、次のサイトに収録・掲載)

<http://www.i-project.jp/stand/mobachoo/wm/oita/2010/>



## Voice4～第30回大会記念事業①「おでかけワークショップ」感想

第30回記念大会の記念事業の一環で、平成22年度に大分県内の小中学校で開催された「おでかけワークショップ」に参加した児童・生徒の感想（原文）の中から

### ○臼杵市立下北小学校 4年女子／平成22年6月13日(日)開催

ささはら（廣喜）さんは、10年前大きなじこにあって車いす生活になってしまい、北京パラリンピック車いすマラソンで銀メダルをとったすごいなと思いました。じこにあったことは、たいへんだったと思いますが、その後たくさんどりょくしたことを聞いて自分もあきらめずどりょくしたいと思いました。

### ○臼杵市立東中学校 2年女子／平成22年6月22日(火)開催

私は、「国際車いすマラソン」が日本のその中の大分県で行われていると知りませんでした。そういう、大きな大会が大分で行われて、自分にはとても遠い大会だと思っていたのが、とても身近に感じました。

### ○玖珠町立山浦中学校 3年男子／平成22年9月27日(月)開催

先日は、おでかけワークショップということで山浦中学校に来て講演をしてくださいありがとうございます。僕達は、よく福祉のことについて勉強し、車いすに乗る機会が多くあるのですが、今回は初めて競技用車いすに乗りました。車いすを全力で動かそうと思ったことがなかったので本気でこいだはずなのに14kmぐらいしか出せず、さすが競技選手だなと思いました。また、つらい過去も話していただきました。生まれつきの病気や不慮の事故で車いす生活を余儀なくされたそうですが、現在の成績はつらい現状からでもがんばった努力の賜物だろうと思いました。もうすぐ大分国際車いすマラソンがあり、2人（渡辺習輔選手・佐矢野利明選手）とも出場するということで2人で1位と2位になれるよう練習がんばってください。応援しています。

### ○豊後高田市立田染中学校（学年不明）／平成22年10月1日(金)開催

「障がい者は不自由であるが不幸ではない。」本当にその通りだと今日の講演を通じて感じました。佐藤（隆信）さんと木部（毅）さんはとても親しみやすく、握手を2回もしました。また、お会いしたいと思いました。今日の講演会で、すごく大切なことを学べたと思います。

### ○大分市立高田小学校 5年／平成22年10月28日(木)開催

今年で30周年と聞いてびっくりしました。吉川（勇）さんも、30回でていておどろきました。体育館で走っている時に、けっこ速かったです。しかも、かっこよかったです。

### ○佐伯市立上堅田小学校 5年女子／平成22年11月18日(木)開催

私は車いすマラソンはどんな競技なんだろう？ぐらいの興味でした。でもみうら（智晴）選手のおかげでいろいろなことがわかりました。これからも車いすマラソンがんばってください。

### ○大分市立上野ヶ丘中学校 3年女子／平成22年12月9日(木)開催

私は今年、車いすマラソンを母の誘いで見に行きました。人生で初めて見た車いすマラソンだったけど、勇気と感動をもらいました。たとえどんな立場でスポーツをやっていても、相手に与える感動は同じだと思います。だから、来年そして再来年も車いすマラソンを応援に行けたらいいなと思います。これからも車いすマラソン大会を支援していきたいです。

（以上の感想をはじめとした「おでかけワークショップ」等の様子については、次のサイトに掲載）

<http://www.oita-wcm.com/>



## Voice5～第30回大会記念事業②「エッセーコンテスト」優秀作品

### (最優秀賞)『スタートライン』辛島裕樹

僕が初めてレーサーに乗ったのは、車椅子で生活するための訓練を受けていた15年ほど前のことです。普段乗っている車椅子とは勝手が違い、満足に乗ることもできませんでしたが、それまで味わったことのない爽快感に、ワクワクして仕方ありませんでした。

それから数ヶ月が過ぎ、信頼できる仲間や指導者に恵まれた僕は、何とか走れるようになっていました。そこで、少しだけ自信がついてきたのと、周囲の勧めもあって、第16回大会のハーフマラソンに挑戦してみようと決めたのです。

当時の記憶は、今でも鮮明に残っています。なかでも、本番で無事に完走できたことが一番印象深く心に刻まれていて、生涯薄れゆくことはないと思います。また、そのとき感じた「ある確信」には、今を生きる指針として、日々力強く支えられています。

小学生の頃、スタート地点である県庁前で小旗を振りながら選手を応援したことがあります。しかし、当時はあまり関心がなかったのか、熱心に応援をした記憶は残念ながらありません。

それから10年、今度は選手としてスタートを待っていました。沿道を見渡すと、多くの人が目に映ります。そのとき、あのころの自分が走馬灯のようによみがえる感じがしたのと同時に、「もしかすると、何も変わらないのかもしれないな。」と思ったのです。そして、それは想像以上の過酷なレースに悪戦苦闘する中、やっとの思いでゴールの白線を越えたとき、確信へと変わっていました。

僕は、「オオイタ」と出会うまで、障がいのある今の自分が出来ることは、たかが知れているだろうと思っていました。あわせて、障がいのある人に対する世間の目は冷ややかなものだから、行動や言動で、自分を主張しないほうが無難だらうとも思っていたのです。

しかし、あきらめずに走り続けた僕は、完走という予想以上の成果と、沿道からの絶え間ないエールから、人の温かさを実感します。そこから、障がいがあっても、自分のやる気次第で道は開けるし、本気の心が伝われば、人は共感してくれることを確信しました。その後、様々なことに挑戦できるようになった僕は、15年という時を経て、就職し単身生活をするなど、社会人として自立することができたのです。

ところで、そんな今があるのは、心温かい多くの人に支えられているからにはなりません。自意識過剰な僕は、そのことをしっかりと自覚して、常に感謝の心を忘れることなく、いつまでも明るく元気でいたいです。そして、いつの日か誰かを支えられる存在になれたらいいなと思っています。

(第30回記念大会の記念事業の一環でエッセーを募集。その他の入選作の概要は以下のとおり。)

### (優秀賞)『車いすマラソンに会えて』古代紘子

事故により車いす生活となったものの、その後、大分国際車いすマラソン大会に出会ったことを機に、パラリンピック出場を夢見るまでに成長した孫の姿を書いた作品

### (優秀賞)『大分国際車いすマラソン大会の思い出』高橋ふみ子

通訳ボランティアとして大分国際車いすマラソン大会に参加した作者が、当時最高齢のアメリカ人車いすマラソン選手と出会い、その後、別れに至るまでを綴った作品

### (入選)『夢がかなった「交歓の夕べ」』山川倫子

仲間とともにゴスペルを歌う活動をしている作者が、念願かなって大分国際車いすマラソン大会の「交歓の夕べ」のステージで歌うことのできた感動と興奮を書いた作品

### (入選)『いざ、大分へ』新開俊光

1990年、大分国際車いすマラソン大会の出場めざして調整を続けた作者が、当時の練習風景から大分出発までの経過を綴った作品

(以上の各エッセーとも、次のサイトに掲載)

<http://www.kurumaisu-marathon.com/contents/history/photocon2010/photocon.html>

## Voice6～第30回大会記念事業③「写真展」来場者アンケート

平成22年9月21日(火)～27日(月)に大分市で開催された写真展の来場者のアンケートの中から

30回も本当に良く続いたと思います。これからもより素晴らしい大会になるよう応援していきます。

自分も障がい者だけど、ここまで頑張るだろうか？多くの選手の皆さん、今年も最後まで頑張ってください。

走り抜けている姿がとても格好いいです。完走目指して頑張って！

この大会は世界の中でも市民、関係者が積極的にバックアップしている盛大な競技会であるとテレビ報道されたのを見て嬉しかった。

本大会は大分の誇りです。続けてください！

毎年大分で盛り上がっているこの大会をもっともっと世界に発信できるように力を合わせてほしいと思いました。

ボランティアの方々や、お世話を下さる方々のお陰で成り立っている催し。これからも発展をお祈りしています。

テレビのニュースや新聞で見るより、外に出て生で応援する方がパワーをもらえます。1人でも多くの方に応援して欲しい。

たくさんの方の思いや協力で長く続いている素晴らしい大会。大分県人として嬉しく思います。

選手、ボランティアその他の人々の協力と公的機関の助けも必要。大分の誇れる事業として長く続けて欲しい。

今年で30回にもなるんですね。毎回感動をありがとうございます。中村先生の意志をずっと守って毎年頑張ってください。

毎年可能な限り沿道で声援しています。生きる力を味わうことができ、感動します。

私は大分市に居住する限り、毎年ボランティア参加します。人の優しさに触れることができます。

大分国際車いすマラソンの大ファンです。ずっと続いてもらいたいです。

選手の皆様の気迫を感じています。感動して涙する事が多いです。何年も何年も続けていってください。



## Voice7～開会式「選手宣誓」

平成 22 年 11 月 13 日(土)の開会式で、海外選手として初の選手宣誓（単独）を行ったハインツ・フライ選手の宣誓文から

### ○ハインツ・フライ（スイス、選手） Mr.Heinz Frei/Switzerland

第 30 回記念大分車いすマラソン大会に参加することができまして、大変名誉であり光栄に思います！本大会で 14 度優勝し、また、1999 年の大分大会では 1：20：14 の世界記録（少なくとも日曜の朝までは・・・！）を出しましたが、陸上競技、とりわけマラソン競技において最も重要な大会で競うことができるは、誠に光栄なことです！大分は高速コースであり、マラソン大会の中でも最も長い歴史をもつ大会のひとつで、最大規模の大会です！大分マラソンは通常のマラソン大会を超えてます。大分は車いすマラソンを開催してくださり、最高レベルの国際大会で競うチャンスを与えてくれています。本年も私たちを迎えてくださり、全選手を代表して心から、本当に心からお礼を申し上げます！！！・・・ありがとう、大分。

It's a great honor for me and I'm very proud to be here for the 30th anniversary race in Oita again! As 14 times winner in Oita and with the official and actually world record in Marathon (in minimum until Sunday morning...) from 1:20:14 from Oita 1999 I'm very happy to compete in one of the most important races from our athletics-scenery and Marathon program! Oita is very fast course - Oita is one of the longest history in Wheelchair marathon - Oita is the biggest and largest field of athletes in a race! Oita Marathon is finally more than a normal marathon. Oita celebrate our sport, the Marathon event - Oita give us the chance for an international event on highest level - I just like to say thank you very very very much in the name of all athletes and myself for hosting us in all this years!!! · · · Arigato OITA.



# 協力者名簿

●主 管	大分陸上競技協会		
●後 援	外務省 大分市教育委員会 社会福祉法人大分合同福祉事業団 社団法人大分県理学療法士協会 株式会社テレビ大分	厚生労働省 財団法人大分県体育協会 社会福祉法人太陽の家 N H K 大分放送局 O A B 大分朝日放送	大分県教育委員会 社団法人大分県身体障害者福祉協会 社会福祉法人大分県共同募金会 株式会社大分放送 株式会社エフエム大分
●協 賛	オムロン株式会社 三菱商事株式会社 新日本製薬株式会社 株式会社ビー・ピー・シー 株式会社九電工 キヤノン株式会社 モキチアンドパートナーズ株式会社	ソニー株式会社 株式会社デンソー 株式会社大分銀行 南九州カカ・コーラボトリング株式会社 大分みらい信用金庫 富士通株式会社	本田技研工業株式会社 株式会社本田技術研究所 株式会社ベスト電器 株式会社富士通エフサス 株式会社ジョイフル 株式会社ゾウ・ヒューマニーセンター
●協 力	大分県警察本部 日本赤十字社大分県支部 医療法人社団恵愛会大分中村病院 K L M オランダ航空会社 九州旅客鉄道株式会社	陸上自衛隊第41普通科連隊 国立大学法人大分大学 社会福祉法人農協共済別府ハピリテーションセンター 株式会社日本航空	大分市交通指導員連合会 国立別府重度障害者センター 大分県障害者スポーツ指導者協議会 全日本空輸株式会社
●その他協力	株式会社トキハ 株式会社豊和銀行 住友生命相互保険会社大分支社 九州凸版印刷株式会社 近藤晴彦 小野妙子	大分県信用組合 ソニー生命保険株式会社 有限会社イトダネーム 大分情報学習センター映像サークル大分ビデオクラブ 手島拡	社団法人大分県遊技業協同組合 ソニー生命ボランティア有志の会 株式会社菊池電氣工業 白石白雲齋 芝田豊通・エミ
	大分国際車いすマラソン通訳ボランティアCan-do 九州電力株式会社 日本テキサス・インスツルメンツ株式会社 鬼塚電気工事株式会社 楊志館高等学校 大分雄城台高等学校 大分商業高等学校 日出暘谷高等学校 立命館アジア太平洋大学 大分市立舞鶴小学校 大分県厚生連鶴見病院 大分県警察音楽隊 大分東警察署	本田技研労働組合 日本マクドナルド株式会社 大分県ボランティア・市民活動センター おおいた地域若者サポートステーション 野津高等学校 大分上野丘高等学校 大分中央高等学校 大分県立芸術文化短期大学 専修学校明星国際ビューティカレッジ 大分市立荷揚町小学校 永富脳神経外科病院 大分県警察本部交通部交通機動隊 大分県職員労働組合	連合大分大分地域協議会 株式会社N T T ドコモ九州 JX日鉱日石エネルギー株式会社 大分東明高等学校 大分豊府中学校・高等学校 大分舞鶴高等学校 爽風館高等学校 日本文理大学 智泉ライセンスカレッジ 大分県立病院 大分赤十字病院 大分中央警察署
	国土交通省大阪航空局大分空港事務所 西日本高速道路株式会社大分管理事務所 大分県地域づくり機構 大分文化会館 創価学会大分県事務局 新日本製鐵株式会社 昭和電工株式会社 大和リース株式会社 一文字渡船組合 社団法人大分県個人タクシー協会 大分バス株式会社 有限会社大分タキ 株式会社ミキ 木部清美	国土交通省九州運輸局大分運輸支局 大分税務署 大分県公園協会 大分市営陸上競技場 大分航空ターミナル株式会社 住友化学株式会社大分工場 株式会社大林觀光 ひろかわ和洗 社団法人大分県バス協会 大分市タクシー協会 大分交通株式会社 有限会社OP車椅子センター 株式会社オーエックスエンジニアリング 大分県職員駐車場運営委員会	国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所 大分土木事務所 大分県身体障害者福祉センター 大分市営温水プール 大分県医師会 王子板紙株式会社 株式会社日本アクセス 株式会社きんでん 社団法人大分県タクシー協会 社団法人大分県トラック協会 J R 大分駅 日進医療器株式会社 三井不動産株式会社
	大分市竹町通商店街 府内五番街商店街 NPO法人ダイアログ・ネット カトリック海星幼稚園	大分市中央町商店街 サンサン通商店街 NPO法人うすき竹宵 キッズスポットチャ	赤レンガ通商店街 大分駅前商店街 花キューピット大分支部会
	和歌山県立医科大学 大分市母子寡婦福祉会 大分フォーラス 倉員誠二 堀之内真児	九州身体障害者陸上競技協会 大分県糸口学園 スターパックスコーヒー大分大学医学部附属病院店 安井辰江	大分身体障害者陸上競技協会 三菱商事太陽株式会社 越智貴雄 植松桃子・日隈毅

その他沿道住民・沿線企業・学校・施設・スポーツ少年団等

(以上順不同、敬称略)

皆様のお陰をもちまして第30回記念大分国際車いすマラソン大会が無事盛大に開催できました。厚くお礼申し上げます。

## 第30回記念大分国際車いすマラソン大会 記念誌

---

企画編集 大分国際車いすマラソン大会事務局  
(大分県福祉保健部障害福祉課内)  
<http://www.kurumaisu-marathon.com/>  
TEL 097-536-1111  
097-533-6006

---

印 刷 所 九州凸版印刷株式会社  
TEL 097-569-0191









## 30年の歴史と感動!そして、 羽ばたけ、次の時代へ!

- 大分県
- 財団法人日本障害者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会
- 日本身体障害者陸上競技連盟
- 大分市
- 大分合同新聞社
- 社会福祉法人大分県社会福祉協議会
- 財団法人自治総合センター
- 大分県障がい者体育協会

協賛

**OMRON**

**SONY**

**HONDA**

**三菱商事**

**DENSO**

**FUJITSU**

**新日本製薬**

**大分銀行**

**ベスト電器**

**BPC**

**Coca-Cola**

**九電工**

**MIRAI** 畔みらい信用金庫

**Joyfull**  
Restaurant

**Canon**

**AH** アリウ・ヒューマニーセンター

**茂吉商店**  
MOKICHI & PARTNERS COMPANY

(本大会は、「赤い羽根共同募金配分金」の助成をいただいている。)